

SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。



**JAPAN
GAMES**

軟式野球競技会

2024年(令和6年)10月11日(金)～14日(月)



嬉野市 シーボルトの湯



有田町 有田陶器市



武雄市 武雄温泉楼門



唐津市 唐津くんち「青獅子」
創建 200 周年



鹿島市 祐徳稲荷神社

会場

【唐津市】SHOWAハンバーガースタジアム唐津（唐津市野球場）

【伊万里市】伊万里市国見台野球場

【武雄市】ひぜしんスタジアム（武雄市民球場）

【鹿島市】鹿島市民球場

【嬉野市】嬉野総合運動公園（みゆき公園）みゆき球場

【有田町】有田赤坂球場



伊万里市 トンデントン祭

主催

公益財団法人日本スポーツ協会 / 文部科学省 / 公益財団法人全日本軟式野球連盟
佐賀県 / 唐津市 / 伊万里市 / 武雄市 / 鹿島市 / 嬉野市 / 有田町

SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

SAGA2024 から、国体の愛称で親しまれてきた「国民体育大会」が「国民スポーツ大会」へ変わります。大会の名称が変わるはじまりの地に選ばれた佐賀県は、すべての人にスポーツのチカラを届ける新しい大会を目指し、さまざまな取り組みにチャレンジします。

リアルアスリート・ピクトプロジェクト

新しい「国民」の「スポーツ」大会だから、みんなで作りたい。そんな思いを込めて制作したピクトグラム。すべて実在するアスリートのシルエットが元になっています。



国スポ 総合開会式

10 / 5 (土)

SAGAスタジアム

佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10



国スポ 総合閉会式

10 / 15 (火)

SAGAアリーナ

佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10



(公財)日本スポーツ協会(JSPO)は、「スポーツは、もっとオモシロイ。」を掲げ、スポーツが誰にとってもオモシロくなり、幅広い世代でスポーツが身近にある社会の実現を目指す『JAPAN GAMES』構想を推進。JSPOと佐賀県は、連携・協働してスポーツの新たな価値を創造します。

大会HP詳しくはこちら

SAGA 2024





目 次

あいさつ

公益財団法人 日本スポーツ協会 会長	遠 藤 利 明	1
文部科学大臣	盛 山 正 仁	2
公益財団法人 全日本軟式野球連盟 会長	山 口 宏	3

歓迎のことば

SAGA 2024

実行委員会会長 佐賀県知事	山 口 祥 義	4
---------------	---------	---

SAGA 2024 国スポ・全障スポ

唐津市実行委員会会長 唐津市長	峰 達 郎	5
-----------------	-------	---

SAGA 2024

伊万里市実行委員会会長 伊万里市長	深 浦 弘 信	6
-------------------	---------	---

SAGA 2024

武雄市実行委員会会長 武雄市長	小 松 政	7
-----------------	-------	---

SAGA 2024

鹿島市実行委員会会長 鹿島市長	松 尾 勝 利	8
-----------------	---------	---

SAGA 2024 国スポ・全障スポ

嬉野市実行委員会会長 嬉野市長	村 上 大 祐	9
-----------------	---------	---

SAGA 2024

有田町実行委員会会長 有田町長	松 尾 佳 昭	10
佐賀県軟式野球連盟 会長	木 原 奉 文	11

授与規程

天皇杯・皇后杯授与規程	12
会長トロフィー授与規程	13

競技会名簿

大会役員	15～18
競技会役員	19～22
競技役員（共通）	23
会場地別競技役員・競技補助員	24～29
実施本部（競技会係員・競技会補助員）	30～35



実施要項

総則	37～55
軟式野球競技実施要項	56～60

開始式・表彰式

開始式次第・要領図	63～64
第1位・第2位表彰式次第・要領図	65～66
第3位～第8位表彰式次第・要領図	67～68

競技日程・組合せ表・練習会場

競技日程	71
組合せ表	72～73
練習会場	74

競技会場

全体会場案内地図	77
各会場案内地図	78～83
各会場配置図	84～95

参加者名簿

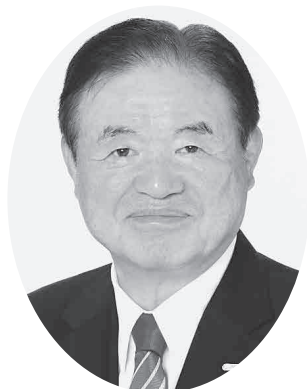
都道府県別参加人数一覧	97
監督・選手名簿	98～129

軟式野球競技の案内

軟式野球競技の沿革	131
競技の見方・競技成績採点方法	132
栄光の跡	133～134
過去3大会結果一覧	135～137

関係機関連絡先

競技会関係連絡先一覧	139
医療機関情報	140



あいさつ

公益財団法人 日本スポーツ協会

会長 **遠藤 利明**

国の特別史跡に指定されている「吉野ヶ里遺跡」をはじめとする重要文化財や、ユネスコ無形文化遺産に登録された「唐津くんち」などの伝統的行事が根付く、ここ佐賀県において第78回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りであります。

スポーツを通じた明るく豊かな国づくりを目指して昭和21(1946)年からスタートした国民体育大会は、今日まで多くの関係者のたゆまぬ努力と情熱に支えられ、我が国最大のスポーツの祭典として発展を遂げ、本年から「国民スポーツ大会」へと名称を変え、新たなスタートを切ります。

今大会は、幅広い世代の人々が、スポーツが身近にある生活を体験出来る社会の実現を目指した「JAPAN GAMES」の取組を本格化し、すべての人に「スポーツの力」を届けることができる大会を目指しております。

スポーツを「する」人、「みる」人、「ささえる」人、すべての方々がスポーツのオモシロさを体現し、スポーツで日本を元気にする大会となることを願っております。

さて、国民スポーツ大会を巡っては、今後の在り方に関して様々なご意見が寄せられておりますが、より魅力ある持続可能な大会とするため、幅広い分野の皆様に参加いただいた有識者会議を設置しております。

今後、検討を進めるに当たっては、今回の佐賀大会における「JAPAN GAMES」をはじめとする新たな取組の成果も充分活かしていきたいと考えております。

今大会は、当初から1年遅れての開催となりましたが、佐賀県の関係者の皆様をはじめ、開催を控えていた各県の皆様方のご協力なくしては実現できなかったものであり、改めてお礼申し上げます。

結びに、今大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元佐賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あいさつ

文部科学大臣

盛山 正仁

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ佐賀県において第78回国民スポーツ大会「SAGA2024国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

佐賀県は玄界灘、有明海という多くの恵みをもたらす2つの海に面し、広大な佐賀平野やラムサール条約湿地に登録された「東よか干潟」「肥前鹿島干潟」等豊かな自然の魅力にあふれ、国の特別史跡である「吉野ヶ里遺跡」や400年以上の歴史を誇る「有田焼」を有する等、歴史と文化が息づく県です。

昭和51年の若楠国体以来48年ぶりの佐賀県での開催となり、「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」をメインメッセージに、エンタメ性の高い式典、ナイトゲームの開催、スポーツホスピタリティ等、スポーツの可能性を追求する「新しい」取組に挑戦し、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、トップアスリートの育成を通じ、県民がスポーツを「する」「育てる」「観る」「支える」「稼ぐ」というスポーツ文化の裾野拡大を目指し、スポーツのチカラを生かした人づくり、地域づくりを進める「SAGAスポーツピラミッド構想」という「新しい」仕組みも広がっています。国民体育大会から国民スポーツ大会への名称変更後初めての開催にふさわしい、今後のモデルケースとなる魅力的ですばらしい取組となっております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や佐賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

本年はパリオリンピック・パラリンピック競技大会が開催され日本代表選手が大活躍し、国民のスポーツへの関心はますます高まっています。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「SAGA2024国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元佐賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶いたします。

令和6年7月29日



あいさつ

公益財団法人 全日本軟式野球連盟

会長 山口 宏

第 78 回国民スポーツ大会 S A G A 2 0 2 4 が、玄界灘の海と山々の深い緑に囲まれ、伊万里焼・有田焼・唐津焼などの伝統工芸品、日本の近代化を先導した幕末維新期の歴史遺産など、豊かな自然と文化・歴史を有するここ、佐賀県において盛大に開催されますことに心から感謝申し上げます。

厳しい予選を勝ち抜き見事、都道府県代表になられた精鋭 32 チームの選手の皆さん、ご出場おめでとうございます。本大会は、地域スポーツの振興と地方文化の発展に大きく寄与し、国民生活を明るく豊かにすることを目的に昭和 21 年より開催され、国内最大のスポーツの祭典として、スポーツの普及とスポーツ精神の高揚ならびに国民の健康増進と体力の向上を図ってきました。今大会は、スポーツの価値を共有しスポーツを通じた社会変革に向けて世界各国と協調していくため、世界的に広く用いられている「スポーツ」の語を用いて、大会名称が「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」に変更され、新しく改革された最初の大会となります。選手の皆さんにおかれましては、都道府県代表として正々堂々とフェアプレイを心がけ、これまで積み重ねてこられた練習の成果を存分に発揮し、トップクラスが集う本大会の頂点を目指して大熱戦を繰り広げていただくとともに、思い出深い大会となることを念願しております。

去年はワールドベースボールクラシックで日本代表が優勝し、日本国内で一気に野球に注目が集まりました。また、本年は BFA U12 アジア選手権大会が愛媛県にて開催されます。この好機を捉え、当連盟は引き続き、安全で安心、誰とでも・いつでも・どこでも・楽しみ・親しめる軟式野球を目指し、会員競技者の皆様のニーズに沿った運営や環境整備に努めるとともに、野球をしたい・続けたい子どもたちへの支援事業を通して、軟式野球の普及振興を推進してまいります。

結びに、本大会の開催に際し、多大なるご尽力を賜りました佐賀県軟式野球連盟をはじめ、唐津市、伊万里市、武雄市、鹿島市、嬉野市、有田町の関係各位には、深甚の敬意を表するとともに、本大会が全ての皆様との絆が深まる素晴らしい大会となりますよう御祈念申し上げ、ごあいさつといたします。



歓迎のことば

SAGA 2024 実行委員会会長

佐賀県知事 山口 祥義

「すべての人に、スポーツのチカラを。」新しい大会へようこそ。

感動する。魂が揺さぶられる。年齢や国境を超えて、人と人がつながる。心身ともに健やかになる。スポーツには、人間の根源的な喜びを生み出すチカラがあります。

こうしたスポーツの真の価値を大切にする佐賀県では、「SAGAスポーツピラミッド(SSP)構想」と銘打ち、アスリートの人生にコミットした人材育成、セカンドキャリア支援やスポーツビジネスの創出を進めて、アスリートが現役時代も引退後も、キャリアを活かして輝き続けることができる社会の実現を目指してきました。

その中で開催する「SAGA 2024」は、スポーツ新時代を多くの方に実感できる大会として、日本に世界標準のスポーツ文化が根付く転機となると確信しています。

「SAGA 2024」軟式野球競技会、いよいよスタートです。

日本に野球が伝わったのは明治時代。早稲田大学を創設し、二度総理大臣になった佐賀の偉人大隈重信が日本で初めて始球式でボールを投げたのが1908年のことです。そうした中で、野球を身近なスポーツにしてくれたのは大正時代に考案された軟式ボールの功績であることは間違いありません。

「SAGA 2024」は“国体”から“国スポ”へと変わる大会です。

競技会では、選手個人にスポットを当てた表彰制度やメダルの授与、ナイトゲームや動画配信により選手の活躍を称え、熱戦をより多くの方に届けます。式典でも新たな演出に取り組みます。総合開会式の自由で楽しさあふれる選手団入場、音と光、映像を最大限に活かした総合閉会式など、大会に関わるすべての人と感動を分かち合います。

選手の皆様には、日々の練習に打ち込んできた情熱と、磨き上げてきた技を、この舞台上で披露していただければ、これ以上の喜びはありません。

佐賀県は、「弥生時代の吉野ヶ里遺跡」、「日本文化が花開いた肥前名護屋城」、「明治維新の礎を築いた偉人の輩出」と三回にわたり日本史転換の舞台となりました。これは「挑戦なくして、伝統なし」のマインドがこの地で培われているからだと考えます。有田焼、佐賀牛、佐賀酒といった文化・食材が世界で高い評価を受けていることもその証です。スポーツの世界も例外ではありません。佐賀県は、先人達の積み重ねに想いを馳せながら、新たな挑戦を続けていきます。

スポーツ新時代の幕が上がる、その瞬間を一緒に体感できることを嬉しく思うとともに、開催にあたり、多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

SAGA 2024 国スポ・全障スポ 唐津市実行委員会会長

唐津市長 峰 達郎

第 78 回国民スポーツ大会「SAGA 2024」軟式野球競技会が、ここ唐津市において盛大に開催できますことは誠に光栄です。

市民を代表して、全国各地からお越しいただいた選手・監督並びに関係者の皆様に心から歓迎申し上げます。

「国体」の愛称で親しまれた「国民体育大会」は、今回の第 78 回大会から「国民スポーツ大会（国スポ）」へと生まれ変わり、佐賀県は新たな「はじまりの地」となります。

ここ、唐津市は、約 430 年前に太閤豊臣秀吉が大坂城に次ぐ規模で「肥前名護屋城」を築き、全国から名だたる戦国武将たちが参集し、能や茶の湯を楽しむなど、今につながる文化や交流が生まれた「はじまりの地」として語り継がれています。

歴史や文化が息づくここ唐津市で、群雄割拠しながら全国の都道府県代表選手の皆様が、日ごろの鍛錬とたゆまぬ努力の成果を十分に発揮され、熱い戦いを繰り広げていただき、競技を「する人」「観る人」「支える人」、すべての人にスポーツのチカラが届く、新しい大会となることを期待しております。

本市では、軟式野球競技をはじめとする正式競技 6 競技、公開競技 1 競技、デモンストレーションスポーツ 3 競技を行います。

大会期間中は本市を訪れるすべての皆様に、市民一体となり心のこもったおもてなしでお迎えできるよう準備を進めてまいりました。

また、本市は、特別名勝「虹の松原」や特別史跡「肥前名護屋城並びに陣跡」、「唐津城」、伝統工芸の「唐津焼」、ユネスコ無形文化遺産に登録された「唐津くんちの曳山行事」など、風光明媚なロケーションと多くの歴史や文化を有しています。

あわせて、「呼子のイカ」や「佐賀牛」など新鮮な海の幸、山の幸も豊富に取りそろえておりますので、本大会をとおして唐津市のさまざまな魅力を十分に感じていただき、「自然・歴史・食の宝庫 からつ」を満喫していただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なるご尽力を賜りました関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、選手の皆さまのご健闘を祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

SAGA 2024 伊万里市実行委員会会長

伊万里市長 深浦 弘信

第 78 回国民スポーツ大会「SAGA 2024」軟式野球競技会が、ここ伊万里市において盛大に開催できますことは、誠に喜ばしく、伊万里市民を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

SAGA 2024 国スポは、これまでの「国民体育大会」から新たに「国民スポーツ大会」へ名称が変わるはじめての大会となり、スポーツ文化の新時代に向けたスタートを最高のものとするため、伊万里市一丸となって準備を進めてまいりました。

来訪される選手の皆様が、郷土の誇りを胸に期待を背負い白熱した試合が繰り広げられることを祈念いたしますとともに、本市としましては、選手の皆様が万全の状態で競技に専念できるよう、心からのおもてなしでお迎えさせていただきます。

さて、本市は、江戸時代に「千軒在^{せんげんざいしよ}所」と呼ばれるほど多くの白壁土蔵が立ち並び、国内はもとより遠く東アジアやヨーロッパ諸国、南米まで運ばれた肥前磁器「伊万里焼」の積み出し港として栄えた一方、大川内山では佐賀藩の御用窯が築かれ、国内最高の技術、意匠を用いて将軍家に献上する特別あつらえの焼物「世界の至宝鍋島」を作り出すなど、現代まで続く伝統と文化が息づく肥前窯業圏の一翼を担う都市です。

そのほか、豊かな自然環境で丹念に育てられた日本屈指の黒毛和牛「伊万里牛」と、フルーツのまちが誇るシャキッとした果肉にみずみずしい果汁の「伊万里梨」は焼物とともに伊万里ブランドとして高い評価を受けており、本市ふるさと納税の返礼品の中で全国的にも大人気となっております。

ぜひ、この機会に 30 軒もの窯元が集まる秘窯の里・大川内山で、高度な技法を現代に受け継ぐ「伊万里鍋島焼」を実際に手に取り、また、ぜいたくな味わいの伊万里牛や伊万里梨をご賞味いただけると幸いです。

結びに、本大会を開催するにあたり、ご尽力を賜りました関係の皆様にご心から深く感謝を申し上げますとともに、選手の皆様のご活躍をお祈りし、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

SAGA 2024 武雄市実行委員会会長

武雄市長 小松 政

清秋の季節となり、いよいよSAGA 2024国民スポーツ大会軟式野球競技会が開幕します。こうして全国各地から来会される皆さまを心から歓迎申し上げます。

それぞれの生活スタイルや周りとのつながりなど、コロナ禍の影響もあり変化してきた今、“国体”から“国スポ”へ名称が変わるSAGA 2024では、「する」「観る」「支える」といった様々なかたちで携わる人たちが一緒に楽しめ、一人でも多くの方に最高の笑顔、最高の思い出が生まれるよう、軟式野球連盟の皆さまをはじめたくさんのお力添えをいただきながら開催地6市町が一緒になって準備してきました。

都道府県を代表として出場される皆さまにおかれましては、その栄誉を胸に、チームの力、個人の力を存分に発揮され、お互いに親睦が深まる素晴らしい大会となりますことを願っています。

会場となります、ひぜんスタジアム（武雄市民球場）は、野球伝来から150年の節目となった令和4年夏、県内初の全面人工芝野球場としてオープンしました。そうしたなか、本市ではSAGA武雄温泉スポーツコミッションを設立して、各種スポーツの大会や合宿、イベント誘致に取り組んでおり、プロ野球選手をはじめ全国各地から多くの皆さまをお迎えしています。

また、こうして本市にお越しいただきました皆さまとのご縁は、本当にありがたく、ぜひ、この機会に温泉や焼物、食、パワースポットなどたくさんの魅力であふれる武雄市を満喫していただき、合宿やプライベートでの旅行など再び武雄の地にお立ち寄りいただければ大変嬉しく思います。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました全ての皆さまに深く感謝申し上げますとともに、大会の成功と軟式野球界の更なる発展を祈念いたしまして、開催に寄せての歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

SAGA 2024 鹿島市実行委員会会長

鹿島市長 **松尾 勝利**

第78回国民スポーツ大会「SAGA 2024」軟式野球競技会が全国各地から多くの選手並びに大会関係者の皆様をお迎えし、鹿島市で開催できますことは誠に光栄であり、心から感謝申し上げます。

「SAGA 2024」は、国民体育大会から国民スポーツ大会へと名称が変わる初めての大会となります。本市といたしましても、「すべての人に、スポーツのチカラを。」を体感していただける「新しい大会」として、市民一丸となり鋭意準備を進めてまいりました。

選手の皆様には、これまで積み重ねてこられました練習の成果を十分に発揮され、気迫あふれるプレーを見せてくださることを期待しております。そして、本大会を通じて交流を深めていただき、思い出に残る大会となりますことを心より願っております。

さて、本市は良質な水と米に恵まれ県下でも有数の酒どころであり、日本一の干満差である有明海が育む有明海苔やムツゴロウ、ワラスボなどの有明海珍味など豊かな食文化があります。また、年間300万人の参拝客が訪れる日本三大稲荷神社の一つ「祐徳稲荷神社」や国の重要伝統的建造物群保存地区として指定され、白壁土蔵造りの町家や茅葺町家が残る「肥前浜宿」など、魅力的な観光地が多数あります。

ぜひ、この機会に鹿島市の自然や伝統、文化、新鮮な農産物、海産物などの魅力に触れていただき、再び本市にお越しいただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力いただいた関係者の皆様方に深く敬意を表しますとともに、選手の皆様のご健闘と本大会の成功を心から祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

SAGA 2024 国スポ・全障スポ 嬉野市実行委員会会長

嬉野市長 村上 大祐

第78回国民スポーツ大会「SAGA 2024」軟式野球競技会が盛大に開催されることをお喜び申し上げます。また、遠路はるばる佐賀県嬉野市へお越しいただいた選手ならびに関係者の皆様を心より歓迎いたします。特に選手の皆さんにとっては、日々の厳しい練習や予選での熾烈な戦いを乗り越えて立つこの大舞台。喜びをかみしめながらの全力プレーに彩られた熱戦を期待しています。

佐賀県嬉野市は「日本三大美肌の湯」と称えられる名湯・嬉野温泉を有し、全国茶品評会で令和5年度に続き、令和6年度も、蒸し製玉緑茶、釜炒り茶の2部門で、最高賞である産地賞と個人賞を連続受賞した「日本一」の銘茶「うれしの茶」の産地です。重厚感ある白壁土蔵の街並みが美しい国重要伝統的建造物保存地区の「塩田津」では、世界を魅了した陶磁器「伊万里・有田焼」の原料となる陶石を荷揚げする川港として栄えた時代の面影を残しています。文化庁認定「日本遺産」の「砂糖文化を伝える長崎街道～シュガーロード」の構成文化財でもあり、今も和洋問わず数多くの菓子店が軒を連ねる文化の薫り高いまちでもあります。この機会にわがまちの魅力にも触れていただけると幸甚でございます。

さて、試合会場のみゆき球場は昭和天皇行幸啓を機に整備された公園の一角にある施設で、中堅125メートル・両翼100メートルの本格的な野球場です。プロ野球2軍戦をはじめ社会人・高校の各種大会のほか、嬉野市観光大使でもある福岡ソフトバンクホークスの本多雄一コーチが現役時代の自主トレ会場や女子野球オランダ代表の強化合宿にも使用されて参りました。こうしたご縁もあって嬉野市は野球熱の高い地域であり、近年では全国初の女子野球タウン宣言や九州独立リーグへの本格参入を目指す佐賀インドネシアドリームスのホームタウンとして、野球普及のすそ野拡大にも取り組んでいます。

今回大勢の皆様をお迎えして本大会を開催できることは私たち嬉野市としても無上の喜びでもあります。選手に提供される食事の一部には地元の子どもたちが苗から育てた「SAGA 2024米」が使用されるほか、昨年西日本で初めて公道での走行実験に成功した自動運転車両も大会期間中予約なしで乗車が可能となっています。何かと至らぬ点もあるかも知れませんが、心尽くしのおもてなしを差し上げたいと存じます。そしてダイヤモンドで躍動する姿に精一杯のエールを贈り、感動を受け取りたいと願っています。うれしいをいっしょに一。嬉しいまち嬉野市で多くの「うれしい」を「いっしょに」感じてください。多くの「うれしい」を「いっしょに」創りましょう。皆様のご健闘を心から祈っています。



歓迎のことば

SAGA 2024 有田町実行委員会会長

有田町長 **松尾 佳昭**

第 78 回国民スポーツ大会「SAGA 2024」軟式野球競技会が、全国各地から多数の選手・監督、並びに大会関係者の皆様をお迎えし、有田町で盛大に開催できますことは誠に光栄であり、心から歓迎申し上げます。

また、能登半島被災地域の皆様には、御見舞いと一日も早い復興をお祈り申し上げます。

コロナ禍の生活様式の変化の中で、私達はあらためてスポーツの力の必要性を感じたところですが、平静を取り戻しつつある中、このように無事大会を迎えることができますことに、ご参加いただく各県の皆様、関係者の皆様には重ねて感謝申し上げます。

佐賀県では、昭和 51 年の若楠国体以来 48 年ぶりとなる開催で、国民体育大会から国民スポーツ大会へ名称が変わる記念すべき大会にあたり、スポーツ文化の新しい時代を創れるよう「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」の大会スローガンのもと、知恵と工夫を凝らし、一丸となって準備を進めてきました。

選手の皆様におかれましては、日々の努力を重ね、郷土の代表としてこの栄えある大会へ出場されますことに敬意を表しますとともに、その成果を遺憾なく発揮され、高いパフォーマンスをもって、観客や動画配信で応援する全国の方々へ、元気と勇気、感動を与えていただき、皆様にとっても有意義な大会となりますよう切に願っています。

有田町は創業以来 400 年を誇る「有田焼」の産地です。重要伝統的建造物群の「有田内山の町並み」や日本の棚田百選に認定された「岳の棚田」など、伝統と歴史、豊かな自然に恵まれた町です。佐賀県は小さな県ではありますが、玄界灘や有明海といった海の幸、佐賀牛や有田鶏など多彩な食材も溢れています。どうぞ大会を通じて、有田町や佐賀県の魅力にも触れていただければ幸いです。

結びになりますが、本大会の開催にあたり御尽力いただきました全日本軟式野球連盟をはじめ関係者の皆様に感謝申し上げ、選手団の皆様の御健闘と御活躍を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

佐賀県軟式野球連盟

会長 木原 奉文

SAGA 2024 国民スポーツ大会軟式野球競技会が、全国各地から多くの選手・監督及び大会関係者の皆様をお迎えし、唐津市を中心に、伊万里市・武雄市・鹿島市・嬉野市・有田町の6市町において、盛大に開催されますことを心から歓迎申し上げます。

この大会は、開催年度が順送りになりましたが、国民スポーツ大会に名称を変更した最初の大会として、スローガンに『新しい大会へ。すべての人に、スポーツの力を。』掲げて実施されます。佐賀県軟式野球連盟としても、これまで、西日本軟式野球選手権、天皇賜杯全日本軟式野球大会、リハーサル大会の西日本軟式野球大会（1部）等、数々の大規模大会を誘致して、開催に向けて運営面における準備を進めてまいりました。

また、施設面におきましても、大会に合わせて会場地となる野球場の新築・改修工事を行い、国民スポーツ大会に相応しい会場に整備されております。役員関係者一同、記憶に残る佐賀らしいおもてなしで、選手の皆様をお迎えしたいと期待に胸を膨らませております。

一方、監督・選手の皆様は、日ごろの練習の成果を発揮し、厳しい予選を突破して出場を勝ち取られていますので、郷土の誇りを胸に込めたご活躍を祈念申し上げますとともに、最後まで諦めない姿を見せていただき、感動溢れる大会になることを期待申し上げます。また、得点競技ではありますが、試合が終わった後は、お互いの健闘をたたえ合い友好の輪を広げていただきますようお願い申し上げます。

さらには、試合の合間には、海や山に囲まれた風光明媚な観光地、佐賀が誇る食材や日本酒、焼き物の伝統工芸品、良質な源泉から湧き出る温泉等を楽しんでいただけたら幸いに思います。

結びに、本大会の開催にあたり多大なご支援を賜りました公益財団法人全日本軟式野球連盟はじめ、開催地実行委員会・行政関係者の皆様、開催地の競技団体の皆様にお礼を申し上げ、歓迎の言葉といたします。



国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改訂

令和6年1月1日一部改訂



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行うものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定

A large circle representing a softball field, with dashed lines forming an 'X' shape from the center to the edges, dividing the field into four quadrants.

軟式野球競技会 競技会名簿



SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

大会役員

令和6年7月31日現在
(順不同・敬称略)

名誉会長

盛山 正仁

会長

遠藤 利明

副会長

越川 均
室伏 広治

坂元 要
山口 祥義

益子 直美

森岡 裕策

顧問

伊藤 雅俊
大野 敬三
今井 純子
勝田 隆子
國吉 美子
靈池 恵量
丸山野 満代
草金子 日出澄
金石丸 元国子
長谷川 淳司
安藤 健津
佐藤 永野 淳
宮野 崎洋
大山 田村 衛
村中 村上 弘
井大 澤山 美
中田 邊村 行人
布谷 藤 彦雄

森本 善朗
山浦 千浩
今屋 信正
角井 憲保
高瀬 志人
東伏 義佳
室田 裕司
藤川 和之
湯川 伸男
石吉 長寿
上田 治郎
馬場 美香
千加 健一
加眞 昇
眞建 彰
建齋 良
齋今 啓
古衣 資
城笠 久
城門 剛
茂野 文
熊谷 久一

安西 孝之
岩田 史昭
上島 しのぶ
刈谷 好孝
高野 瑞洋
坂東 美紀
山倉 紀子
森井 じゅん
若月 等
坂巻 男子
齋木 仁
湧永 宏
山口 也
中里 彦
田村 正
山野 己
市部 和
谷藤 重
近野 賢
小念 か
知川 お
前島 典
生葉 玲

岡崎 助一
池田 めぐみ
鹿島 丈博
工藤 保子
田畑 綾美
松井 守裕
山田 泰信
室下 信之
土城 登志
鬼頭 有紀
多賀 恒雄
上原 絵美
南本 和文
岡田 友章
蒔中 実
田石 伸博
丸木 博美
池谷 正成
園山口 夫
出杉 弘之
上大 晃
奥山 陽雅

之夫広浩三治三敏藏樹隆美郎彦地泰子文室郎夫正智司士裕世剛章次男政郎志親平一
昌二智繁誠英浩英康正久宗一大和裕恭玄一達安清元英秀明昭嗣太豪和雄伸

子中本橋本尾邊戸成原良林枝野木須屋丸丸田老野木村野角野村野岡部山田下上
田田松高山横渡城宮藤奈小今矢鈴三三金千松福不清柏北大花高大牧林村服春岩山井

昭仁平樹実晃一泰子治子一子夫貢一志治也満郎郎英生子司浩治二俊平英男直博磨雄展
英清宏秀祐章秀朝廣幸俊章東直良正誠一光裕美祐伸達多隆周知岩益一資律弘

松見村永嶋田村木木良藤へ原縣田田岡田井匠城川村藤田本谷脇本田塚生口岡田口
石塩中福中奥河青辛平佐菊あ藤尾坂藤砂河村丸番岩荒吉遠岡杉中西岸荊大麻原福奥山

已夫一雄伯彦洋希彦成弘子子夫真郎一弘二豊人堯薰信司一博浩隆典也昌實博一康美一
知成博則和一祐勝幸隆妙純伸成一俊益光雅勝有富義英誠孝隆二直健

田崎西部田田寺越柳元上津木口江門西合場道宅田川川藤田田本口本田宗田斐城川斐島
藤山今南増船小馬小岩川宇山安寺山川馬安三土笹北加鶴福山馳田河池越楨甲玉古甲田

哉美仁博子幸幸稔之格朗司孝子明三信明子一宏成子之也彦人朗一光彦也市吾一志博次
哲正喜端恭一康嘉正顯正幸貞英聖真忠弘素良拓和俊八守弘元達愼賢康博芳秀

本保出山口本藤中生本原菅澤田條嶋田山本村代耕保井増井川谷田部井藤山内石田串場口
穂久井森河松近田旗藤大小寺本西田内富橋中綱世久石達大熊新阿向齋丸柿大塩大大江

参与

橋場 武藤 江口 青木 桃崎 下田 猪村 藤木 古川 石倉 牟田 荒木 末次 深草 中村 西久 平保 谷川 秀島	健 美 紀 功 介 寛 子 郎 紀 郷 敬 薫 裕 明 人 敏 雄 司 寛	大杉 木原 古賀 木村 酒井 野田 石丸 池田 宮原 定松 加藤 長村 陣内 竹田 峰川 寄松 吉田 小松	住子 奉文 陽三一 雄盛 幸人 勝郎 太恭 正一 真生 一子 雅世 順也 芳博 敬道 英太 和郎 彰正 孝友 政	西久保 徳光 中本 富田 指山口 岡井 土井 石賀 古合 落盛 飯野 愛田 野重 廣田 園志 志大 山竹 口	弘克 清孝 正一 幸樹 清範 重文 敏行 秀夫 和浩 裕二 清彦 時興 昭亮 太博 正典 義治 七重	留守 藤崎 一ノ 田瀬 中 弘村 坂川 八口 原谷 南里 飯盛 岩瀬 吉松 吉田 大島 南里 牛島 内田	茂幸 輝樹 裕子 秀和一 圭紀 貴樹 祐幸 克雄 寿隆 裕介 豐美 幸宏 信聖 玲之 英子 伸人
--	---	--	--	---	--	---	---

委員長

山 本 浩

副委員長

岩 田 史 昭 日 比 謙 一 郎 宮 原 耕 史

総務委員

川原 加藤 森丘 宮野 野口 森岡	貴 国 典 也 里 之	菅原 松田 守屋 樋口 加藤	哲朗 基子 志保 和彦 弘和	ヨーコ 松永 辻敬 出睦 小崎 澤大	子弘 夫樹	二宮 ケ田 三廣 宇野 塚原	智礼 暢弘	浩一 実武 幸幸
----------------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------------------	----------	----------------------------	----------	----------------

委員

夫孝淳則広祐幸雄亘子三太宏元忠清史人行司二二夫成和也和定彦也恵
康芳 秀章大正久 由美雅純尚 直貴克隆健浩秀一美雅延芳徳吉

本泉澤梶木口原辺本田口竹丸村木橋埜田澤田橋部木野山葉内平吉部原
松小寺中鈴田菅渡井吉川小吉宮鈴高岩金井藤高渡青中横千竹木住綾川

弘史勉修輔茂男輔史司徹也紀幸大博規久香樹也將郎生二哉司己門之要
政光 良 斗司敬博浩 佑雅宏雄利正裕晶直哲 啓一哲宏信和知衛通

村野野野川泉原藤中前中澤口木本丸野島玉井原中藤谷保藤貝田部嘉敷戸
吉細濱高宮岡西衛山越田富田鈴坂金高矢兒松木田伊三佐遠細武田渡瀬

一崇義生二潔之生吾男子子映司樹幸已紀郎孝哲久也幸宏人男博彦二帆彰
聖 奥信憲 剛哲信二真恵百卓直定直祐一文 利新英昌直忠正嘉浩志

橋原田喜藤田川南木山野治河原口井泉久谷野村上伏口岡本城司村崎村村藤
高栗品舟加和岸長鈴中東品小西松大神深江大井田田辻濱宮庄北山西北遠

了卓司男美巖治昇壽子二裕太郎平樹之一暢彰典聖之司良信晃樹広治博美
裕重正 宏 千明好和航太匡茂信雄 義 浩浩度清裕善良健俊真

野村久間川藤口井橋井根本子岡田階田形林保本島崎本邊山田間野井木塚久保
平能佐黒安川平高三関杉金政宇高見山小新近西宮山渡松徳菅北今荒木田

競 技 会 役 員

令和6年7月31日現在
(順不同・敬称略)

競技会名誉会長

峰 達 郎 村 上 大 祐	深 浦 弘 信 松 尾 佳 昭	小 松 政	松 尾 勝 利
------------------	--------------------	-------	---------

競技会会長

山 口 宏

競技会副会長

堺 充 廣 吉 武 幾二郎 久保田 誠 嶋 江 克 彰	藤 原 庸 介 杉 原 豊 喜 伊 藤 浩 和 金 田 正	木 原 奉 文 織 田 正 道 梶 原 貴 英 千代田 一 茂	岩 本 真 二 深 村 勉 山 北 太
--------------------------------------	--	--	---------------------------

競技会顧問

木 下 宗 昭 中 村 敏 治 安 岡 豊 実 菊 池 徳 男 遠 藤 喜 志 古 川 俊 治 向 山 敏 宏 川 田 達 男 猫 田 孝 進 佐 藤 靖 之 蓮 岡 佳 久 十 川 成 志 馬 場 民 人 又 吉 村 博 紀 徳 松 本 定 吉 永 淳 一	遠 山 昌 夫 長 野 昭 彦 加 藤 廣 美 北 澤 一 衛 葉 梨 井 一 白 井 正 章 山 本 智 宏 戸 野 村 三 奥 川 村 樹 下 川 邊 夫 山 渡 藤 志 後 笹 山 彦 辻 辻 茂 成 松 尾 文 一 雄	石 原 廣 士 小 林 三 郎 本 間 俊 三 大 久 保 正 樹 中 島 宏 久 長 島 昭 久 赤 尾 正 雄 大 森 輝 英 河 村 正 雄 本 田 一 理 橋 本 尚 隆 三 石 文 豊 井 料 田 義 中 山 光 義 今 泉 藤 一 郎 中 村 和 彦	武 内 繁 和 富 永 茂 巳 井 戸 端 隆 雄 土 田 良 雄 樋 口 半 司 山 口 宏 砂 塚 隆 広 千 田 喜 久 堺 充 廣 今 岡 一 朗 宮 本 欣 貞 八 江 利 春 稻 葉 直 寿 吉 川 里 己 栗 原 宣 康 杉 崎 士 郎
--	--	--	--

競技会参与

石 井 秀 行 丹 尾 喜 裕	小 野 元 樹 阿 部 泰 尚	菊 池 徳 男 栗 原 久 治	高 野 秀 喜 宮 下 護
--------------------	--------------------	--------------------	------------------

作章彦人樹治弘浩賢克郎和史生二雄行成子治次郎成一幸子憲夫子彦勇二浩子貞博宏子平
喜智和弘滋丈 忠義恒俊大庸靜敏茂美宏壽一大敬博二繁孝泰清 幸勝征弘元幸典良

泉本田柴見良井側田藤藤松田保田島田井山路藤下村本水本玉本月利長口田尾屋原崎塚崎
小山北羽細奈南菰衛佐植坂久池中福土笹大古山吉熊白塚兒坂香盛毛朝山牟松勝杉宮芦宮

一夫彦文郎吾信隆隆三治紀則平生守弘朗樹郎一夫介次幸德人介年健司義宏典美二吾司二
進幹豐裕良太眞政 健末貴秀修弥 雅富美一健関健幸博智常真久 新盛昌和一作健政聖

田島川野田田富岡岷渕川閑口松川村山保村田藤川添口尾田崎原川口村田口継中内
森成宮小飯金鶴光村澤溝弘空山峰古今西久原中浦進中林川山松前山吉古山中角樋笠田川

幸浩浩高男正唯二弘勉夫樹廣治則行郎治海之茂初治子作子郎幸勲理成一幸雄茂堯代也子
和 顯光眞和英浩昭 照健安哲義宣一由辰一 俊悦晋智一邦 珠康雄正一 一出陸朝

嶋木田中賀田本知田枝部木本山下川上渡原藤木木崎本原寺田田手賀口田藤原東村村原田
大鈴山田志竹松武森四阿大藤内山北井樋宮伊青黑石宮金木西前井古江上末江伊中中梶増

訓男一満夫也彦夫弘美満次明廣久子郎光義広男彦之夫実郎人範太秋稔司伸喜正太志子彦
武公 良晋勝一正常一勸政八重 和達義勝高孝泰康三千津一伸勝 初 貴敏豊 義廣津明 勢

口田川 島本田野原脇沖 田戸嶋森岡 元上部里藤西崎藤武尾武山尾山村橋原井田田尾田
野宇北山市前原篠森下島池世中栢光峰森水岡江伊大檜加力松力梶松中豊石杉福松池釘森

也輔次士介和司毅明美子明敬彦三勝一俊郎洋夫寿生吾和正到司夫豐人弘伸郎昭子広雄美
卓洋榮人洋美良弘正由津秀広輝泰真克聖征一逸松敏守祐一和光寿寛文秀孝利清

口山田島隈崎見庭田田串山飼武山村熊崎寺尾々木卷原江場泉野永崎村本場上旗田石良口口
山水池福諸宮酒大池永大脇鳥力青中岩岩木黒佐弦川永馬今丹富山奥坂馬池小早諸吉野山

大則則宏郎彦郎樹子子美人次穂則彦三美紀則和淳治則章史介一道浩雄吾已正彦稔生博子
栄友貞一達和一玄史知治直政千孝雅大弘友義正新康幸啓清善俊英省辰敏智和英

上串原田島川伯田中口武島川田田頭島山崎月崎木上浦上野原島田部田瀬木口田村場村口
諸大梶原中浦佐藤田山荒三北藤柴江八林岩秋山庭江山井中木宮吉阿野牧高山前今馬北江

人子郎和徹匡子子朗人郎輔司美治夫介誠一和太嗣未和彦也志浩尚興広司磨登郎利宏佳彦
義英一俊貴佳太和憲大成政栄将恵陽憲真幸公和伸泰義時和秀琢一成一彰千鎮

井川永渡尾山山尾田崎崎本田吉山下山嶋北場口崎池本田邊辺野口下石川田原渕藤
諸古藤松樋岩石西松岡宮岩桑福岩西木中東峯山馬野山小山永渡渡愛坂山立鶴古前中片近

郎子則男樹豐文月俊子治子人範隆陽幸文也朗一明一郎孝博美博隆満樹朗樹康久樹香一之秋
太愛文三英智萩久美砂構朋行宏寿宏哲敏謙英一善八昭金直史直和義直彩寿孝光

口部尾原塚田原口田田島川山瀬家野中井口武尾藤賀下野井重本本本野本田原代塚中口島
山阿松蒲手久篠山牟吉中古脇早藤草田宅樋力松後古岩小筒廣岡坂坂小山藤笠田篠田江中

幸尾 鶴村 中富 納場 馬田 村井 岩	和浩 克次 邦子 貴 悦郎 敏樹 章	片測 中山 島本 光武 峰松 深川 原口	清次郎 孝義 正彦 伸次 祐次 誠	釘尾 吉牟 山本 占部 諸岡 川尻 田中	學悟二 晋浩幸 康男 文雄 初佑也	森堀 中森 竹松 木	孝政一 雄良 宏 俊典 壽	一海 郎助 紀典 壽
---------------------------------------	--------------------------------------	--	----------------------------------	--	-------------------------------	---------------------	---------------------------	---------------------

競技会委員長

小山 吉男

競技会副委員長

鶴阿 池部 品田 川	登夫 照修 安一代	溝測 副島 井手 松尾	末治 良昭 秀貴 良孝	馬場 松尾 峰松 立林	敏夫 文則 幸弘 仁志	小柳 松尾 村中	義和 貞裕 亮太
---------------------	-----------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------	----------------

競技会委員

宮川 小倉 古島 石井 田中 北村 古賀 西山 西尾 荒田 土井 廣嶋 中尾 増永 宮地 高木 大尾 西石 打谷	良輔 弘守 美三 子裕 和博 芳博 清則 義孝 美里 寛人 幸喜 啓司 幸俊 耕太郎 太文 淑伸 嘉也 欣純 弘桂子	鎌田 宮本 頓所 石川 畑中 幸島 古賀 光武 驚尾 福山 石橋 松尾 川口 多島 荒木 田中 大宅 福場 馬	暢彦 英加 忠理 智淳 英英 益清 佳佳 加敏 邦幹 一秀 誠一 藤三 米清 隆	前西 荆元 元岡 西阿 大西 吉小 大筒 前牧 末川 池松 大川	原尾 木田 田蘇 石田 形森 井田 瀬次 棚田 尾串 尻	裕之 志理 夫則 三彦 和嗣 博樹 吾郎 則子 典子 輔	長岡 谷本 山田 岸我 園山 曾島 本鄉 中新 池田 古川 中野 吉田 松本 小旗 前田 佐藤 末永 長	信隆 貴輝 正順 憲庸 友幸 みず 純十 寛和 春智 真浩 浩	広博 己美 広一 一二 英一 守誠 ほ一 郎久 孝子 司
--	--	---	---	--	---	---	---	---	---

競 技 役 員 (共通)

(順不同・敬称略)

競 技 委 員 長	鶴 登						
競 技 副 委 員 長	前西原 裕						
競 技 委 員	宮本 忠彦	細見 滋樹	田中 裕	谷 隆博			
	森田 昭弘						
綜合成績計算委員長	松岡 一男						
綜合成績計算委員	森脇 正弘	田崎 大善					
審 判 委 員 長	元木 三十志						
審 判 副 委 員 長	井上 辰巳	吉野 弘則	菰田 浩				
派 遣 審 判 員	三輪 匡史	大城 誠	岡本 浩和	岡安 要			
	猿渡 篤	山下 英一郎	隈部 祐介	八坂 和也			
	甲斐 研一	蛭川 裕二					
審 判 員	小川 義隆	松尾 房男	小池 茂徳	百武 英樹			
	山内 健三郎	大串 孝浩	松尾 潤	東島 貴彦			
	七田 浩二	松岡 信孝	高塚 多把左	森 敏明			
	阿津坂 輝正	池田 博樹	松本 直樹	上田 真史			
	世戸 龍介	牛丸 豊	加茂 裕基	福島 厚			
	前田 和良	峯 貴史	松尾 洋太郎	桃崎 久人			
	井上 義孝	笠原 信心	佐藤 裕秀	西村 真寿生			
	原田 靖孝	川原 隆宏	田中 弘一	平野 正和			
	江藤 信広	高尾 真一	藤木 時雄	原 悠平			
	測上 仁	有田 竜二	加藤 貴弘	久我 大輔			
	唐島 祐介	田代 範之	片渕 英昭	井上 誠一郎			
	内田 圭二	江頭 暢博	相川 勲	栗原 正文			
	待永 勝則	川崎 明	瀬戸 慎也	廣瀬 央			
	大砂 宏	長野 治樹	佐々木 洋行	馬場 利弘			
	土谷 直樹	久富 憲弥	古川 大智	東島 渉			
	江越 伸弘	関 正毅	田代 大樹	小野美 康			
	小野美 賢祐						

会場地別競技役員・競技補助員（唐津市）

【A SHOWAハンバーガースタジアム唐津(唐津市野球場)】

(順不同・敬称略)

〔競技役員〕

会場長	溝渕	末治								
副会場長	駄原	博美	幸島	英俊	大森	久嗣	池田	幸一		
会場主任	阿蘇	靖則								
会場副主任	中村	勝								
会場委員	本山	憲一								
	藤瀬	英樹	萱木	俊江	池田	英二	岡部	好孝		
	宮本	勝也								
総務委員長	小形	昌和								
総務副委員長	松口	重幸								
総務主任	田代	健二								
総務委員	坂田	恒和	世戸	政明						
会場審判長	江頭	卓								
会場副審判長	富田	幸樹								
報道主任	生方	秀則								
記録主任	川野	慎平								
記録委員	幸地	満	石井	弥生	盛田	幸	稗田	友香		
	矢筒	未南	岡本	幸	松本	愛香				
放送主任	荒田	美里								
放送委員	前田	寛子	北島	歩	舛田	慈美				
点示主任	有須田	和彦								
点示委員	濱村	宜弘								
スコアボード主任	篠原	正彦								
練習会場主任	牟田	茂典								
練習会場委員	辻	正剛								
記録送受信主任	川野	慎平								
記録送受信委員	岡部	和則								

〔競技補助員〕

佐賀県立唐津東中学校 野球部
 佐賀県立唐津西高等学校 野球部
 佐賀県立唐津南高等学校 野球部
 佐賀県立唐津工業高等学校 野球部

会場地別競技役員・競技補助員（伊万里市）

【B 伊万里市国見台野球場】

（順不同・敬称略）

〔 競技役員 〕

会 場 長	馬 場 敏 夫	
副 会 場 長	土 井 寛 人	古 賀 益 喜
会 場 委 員	塚 本 増 治 郎	
会 場 主 任	丸 尾 靖 司	
総 務 委 員 長	西 尾 義 孝	
総 務 副 委 員 長	松 田 英 雄	
総 務 主 任	中 島 悠 貴	
総 務 委 員	川 上 政 幸	
会 場 審 判 長	松 尾 房 男	
会 場 副 審 判 長	松 尾 潤	
記 録 主 任	黒 川 祐 喜	
記 録 員	田 中 謙 志 郎	澁 谷 剛 史
報 道 委 員	山 田 隆 博	
放 送 主 任	畑 元 春 日	
放 送 員	橋 本 里 恵	
点 示 委 員	中 島 悠 貴	
スコアボード委員	松 尾 伸 人	
記録送受信主任	黒 川 祐 喜	
記録送受信委員	田 中 謙 志 郎	

〔 競技補助員 〕

伊万里市立伊万里中学校 野球部

伊万里市立啓成中学校 野球部

伊万里市立国見中学校 野球部

佐賀県立伊万里高等学校 野球部

会場地別競技役員・競技補助員（武雄市）

【C ひぜしんスタジアム（武雄市民球場）】

（順不同・敬称略）

〔競技役員〕

会 場 長	佐藤 忠克								
副 会 場 長	西田 彰夫	古賀 芳博							
会 場 主 任	曾我 順一								
会 場 委 員	青木 雄祐								
総務委員長	光武 清之								
総務副委員長	河内埜 修司								
総務主任	古川 祐太朗								
総務委員	平田 涼太								
会場審判長	百武 英樹								
会場副審判長	東島 貴彦								
記録主任	森 清孝								
記録員	東島 史夏								
報道委員	知北 大寛								
放送員	林田 恵利	小柳 紗里	吉村 愛未	柴田 彩希					
点示委員	木寺 裕一朗								
スコアボード委員	木寺 裕一朗								
記録送受信主任	東島 勇成								
記録送受信委員	福田 志織								

〔競技補助員〕

佐賀県立武雄高等学校 野球部
武雄市立武雄中学校 野球部
武雄市立武雄北中学校 野球部
武雄市立川登中学校 野球部
武雄市立山内中学校 野球部

会場地別競技役員・競技補助員（鹿島市）

【D 鹿島市民球場】

（順不同・敬称略）

〔競技役員〕

会 場 長	阿 部 照 夫	
副 会 場 長	吉 田 稔 彦	瀧 上 直 人
会 場 委 員	栢 森 久	
会 場 主 任	中 島 正 親	
総 務 委 員 長	北 村 和 博	
総 務 副 委 員 長	小 野 原 隆 浩	
総 務 主 任	中 村 福 夫	
総 務 委 員	西 村 英 美	
会 場 審 判 長	小 池 茂 徳	
会 場 副 審 判 長	七 田 浩 二	
記 録 主 任	吉 村 俊 也	
記 録 員	貞 松 菜 々 子	
報 道 委 員	小 柳 吉 幸	
放 送 主 任	小 池 伊 津 美	
放 送 員	野 中 未 稀	山 口 佳 代 子
点 示 委 員	松 本 留 美	
スコアボード委員	松 本 由 里	
練習会場主任	笠 継 明	
練習会場委員	井 手 国 昭	
記録送受信主任	中 尾 悦 次	
記録送受信委員	小 野 原 佳 苗	

〔競技補助員〕

谷 川 康 昭 森 田 良 穂 小 野 原 栄 東 亜 工 機 野 球 部 員

会場地別競技役員・競技補助員（嬉野市）

【E 嬉野総合運動公園（みゆき公園）みゆき球場】

（順不同・敬称略）

〔競技役員〕

会 場 長	副 島 良 昭		
副 会 場 長	島 一 満	園 田 正 広	
会 場 委 員	小 野 彰 一	宮 崎 康 弘	
会 場 主 任	筒 井 俊 博		
総 務 委 員 長	中 島 庸 二		
総 務 副 委 員 長	大 石 耕 三	坂 本 賢 一 朗	
総 務 主 任	柴 田 正 也	中 野 暖 久	
総 務 委 員	藤 田 昭 平		
会 場 審 判 長	山 内 健 三 郎		
会 場 副 審 判 長	松 岡 信 孝		
記 録 主 任	小 野 求		
記 録 員	野 田 あ か り	中 川 紀 久 子	
報 道 委 員	古 川 保 則		
放 送 主 任	太 田 佳 苗		
放 送 員	大 久 保 恵	福 山 加 織	
	林 田 恵 利		
点 示 委 員	山 口 篤 史		
スコアボード委員	松 尾 誠 也		
記録送受信主任	江 口 博 司		
記録送受信委員	八 田 浩 志		

〔競技補助員〕

佐賀県立嬉野高等学校 硬式野球部

大 山 晴 生	古 川 大 咲	山 口 瑛 大	金 丸 昌 太 郎
佐 熊 倖 拓	古 川 達 也	山 本 陸 駈	笹 川 祐 聖
田 崎 雅 也	光 武 侑	一 ノ 瀬 蓮	林 龍 之 介
原 口 琉 斗	宮 崎 秀 大	江 里 口 遼	福 田 真 輝 人

会場地別競技役員・競技補助員（有田町）

【F 有田赤坂球場】

（順不同・敬称略）

〔競技役員〕

会 場 長	松 尾	文 則							
副 会 場 長	深 町	和 彦	西 山	清 則					
会 場 委 員	中 村	明 広	平 川	広 海	福 田	修 司	土 谷	寿	
	松 永	芳 和	下 野	資 美					
会 場 主 任	川 崎	貞 祐							
総 務 委 員 長	鷺 尾	佳 英							
総 務 副 委 員 長	古 川	守							
総 務 主 任	松 尾	俊 典							
総 務 委 員	池 田	光 弘							
会 場 審 判 長	大 串	孝 浩							
会 場 副 審 判 長	高 塚	多 把 左							
記 録 主 任	松 山	凌							
記 録 員	河 浪	真 音	清 水	康 雅					
報 道 委 員	北 濱	隆 史							
放 送 主 任	手 島	詩 織							
放 送 員	林 田	恵 利	福 山	加 織					
点 示 委 員	山 口	翔							
スコアボード委員	山 口	翔							
練習会場主任	吉 田	剛							
練習会場委員	飯 田	慎 一							
記録送受信主任	松 山	凌							
記録送受信委員	河 浪	真 音							

〔競技補助員〕

有田中学軟式野球クラブ

有田町立西有田中学校 野球部

唐 津 市 実 施 本 部

〔 競 技 会 係 員 〕

唐津市実施本部係員

〔 競 技 会 補 助 員 〕

唐津市運営ボランティア一同

伊 万 里 市 実 施 本 部

〔 競 技 会 係 員 〕

伊万里市実施本部係員

〔 競 技 会 補 助 員 〕

伊万里市運営ボランティア一同

武 雄 市 実 施 本 部

〔 競 技 会 係 員 〕

武雄市実施本部係員

〔 競 技 会 補 助 員 〕

運営サポーター	副 島	直 哉	馬 場	好 彦	前 田	幸 彦	古 賀	珠 理
	鶴 田	玲 那	川 口	真 緒	永 尾	照 子	山 田	幸 男
	下 平	明	松 林	さ ゆ り	岩 永	理 恵	宮 崎	瑠 菜
	石 永	優 稀	飯 盛	久 子	藤 瀬	智 雄	平	智 矢
	城 井	弘 恵	江 口	八 千 代	北 島	佳 子	城 井	彩 花
	力 武	咲 樹	坂 村	美 佐	坂 村	詩 織		

総 合 案 内 所	井 上	妙 子	馬 場	好 彦	江 口	康 彦	原 口	清 美
	円 田	富 美 代	山 口	孝 代	下 平	直 美	宮 崎	善 宣
	平	智 矢	佐 田	久 子	池 田	由 美 子	杉 光	結 花
	石 井	民 子	坂 村	美 佐	坂 村	詩 織	城 井	弘 恵
	城 井	彩 花	力 武	咲 樹	江 口	由 美 子		

鹿 島 市 実 施 本 部

〔 競 技 会 係 員 〕

鹿島市実施本部係員

〔 競 技 会 補 助 員 〕

鹿島市運営ボランティア一同

嬉 野 市 実 施 本 部

〔 競 技 会 係 員 〕

嬉野市実施本部係員

〔 競 技 会 補 助 員 〕

嬉野市スポーツサポーター

嬉野市行政区長会

嬉野市身体障害者福祉協会

嬉野市文化連盟

嬉野地区交通安全協会

嬉野市消防団

有 田 町 実 施 本 部

〔 競 技 会 係 員 〕

有田町実施本部係員

〔 競 技 会 補 助 員 〕

有田町運営ボランティア一同

A large circle representing a softball field, with dashed lines forming an 'X' shape from the center to the edge, dividing the field into four quadrants.

軟式野球競技会 実施要項



SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

総 則

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

佐賀県で開催する第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」は「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」をメインメッセージに掲げ、「する」「観る」「支える」の視点から、選手も、選手でない人も参加できる大会、エンターテインメント性の高い大会、みんなで力を合わせ、つくる大会をコンセプトに、体育からスポーツに変わる、今だからこそ、すべての人にスポーツのチカラを届ける新しい大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

(1) 正式競技（37競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレ射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技（5競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストラレーションスポーツ（28競技）

合気道、アジャタ、いごてだま、ウォーキング、草スキー、クップ、皿かぶり競走、さわやかグラウンド・ゴルフ、3B体操、室内ペタンク、シャッフルボード、スカットボール、スケートボード、スポGOMI、スポーツウエルネス吹矢、スポーツチャンバラ、ソフトバレーボール、滝登り、チャレンジ・ザ・ゲーム、パークゴルフ、バグジー、ビリヤード、フライングディスク、マリンスポーツ、ユニカール、ラージボール卓球、ラダーゲッター、ロープ・ジャンプ・X

(4) 特別競技（1競技）

高等学校野球

2 会期及び会場地

(1) 正式競技・特別競技（13市、11町：計24市町）

会 期	会 場 地
2024年10月5日（土） ～10月15日（火） 〔11日間〕	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町、玄海町、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町、大分県日田市、兵庫県三木市
2024年9月5日（木） ～9月17日（火） 〔13日間〕	佐賀市、伊万里市、鹿児島県湧水町 ※ 水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレー）、体操（体操競技、トランポリン）、カヌー（SL・WW） 競技会は上記会場地で実施
2024年9月21日（土） ～10月1日（火） 〔11日間〕	佐賀市、唐津市、鳥栖市、神埼市、大分県由布市 ※ サッカー、テニス、体操（新体操）、セーリング、ソフトテニス、ライフル射撃、剣道、クレ射撃競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技（6市、1町：計7市町）

会 期	会 場 地
2024年8月24日（土） ～9月22日（日）	佐賀市、唐津市、鳥栖市、武雄市、鹿島市、嬉野市、基山町

(3) デモンストレーションスポーツ（7市、8町：計15市町）

会 期	会 場 地
2024年4月21日（日） ～10月13日（日）	佐賀市、唐津市、鳥栖市、武雄市、鹿島市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2024年4月1日から2024年12月31日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」(TUE)の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が18歳未満の場合、本人の署名及び親権者の署名がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第78回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に1年以上在籍していること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ)bについて、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）と体育・スポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 第77回又は2023年開催の特別大会（都道府県大会及びブロック大会を含む）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第77回又は2023年開催の特別大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

[注] a及びbは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）

[注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

d JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）

e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。）

f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督並びに本部役員帯同のスポーツドクター及びアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ア) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。

(ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 勤務地

(ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）

(ウ) 勤務地

(エ) 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2024年4月30日以前から本大会終了時（2024年10月15日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

b 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c 別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2006年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2006年4月2日から2009年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2024年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2009年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する。

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	————	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

[注] 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

- (1) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。
- (2) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。
- (4) 各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (5) 各競技の各種別及び各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、更にその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県体育・スポーツ協会会長（代表者）及び競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込み方法」を併せて確認すること。

(3) 参加申込締切日

締 切 日	競 技
2024年8月15日（木） 【5競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、カヌー
2024年8月28日（水） 【12競技】	サッカー、レスリング、セーリング、自転車、ソフトテニス、相撲、ライフル射撃、剣道、クレール射撃、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2024年9月4日（水） 【22競技】	陸上競技、テニス、ホッケー、バレーボール（6人制）、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ SAGA2024実行委員会事務局

ウ SAGA2024各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

- (1) 大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県体育・スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	3, 0 0 0 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	6, 0 0 0 円

〔注〕 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金を行わない。

- (2) 大会参加負担金は、都道府県体育・スポーツ協会に取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2024年9月5日（木）

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、SAGA2024実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12 都道府県選手団本部役員編成

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア 参加選手500名以上の場合、団長、総監督及び総務ほか、計20名以内とする。

イ 参加選手300名以上500名未満の場合、団長、総監督及び総務ほか、計15名以内とする。

ウ 参加選手300名未満の場合、団長、総監督及び総務ほか、計10名以内とする。

- (2) 上記役員のほか、5名以内の顧問を設けることができる。

- (3) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。

なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。

- (4) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。

なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

- (5) 都道府県選手団本部役員の1日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。

- (6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2024年9月4日（水）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 視察員

- (1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2025年以降の国民スポーツ大会の開催が決定又は内定している県については、滋賀県100名以内、青森県及び宮崎県60名以内、長野県及び群馬県40名以内とする。
- (2) 都道府県の視察員の参加申込は、2024年 9 月 4 日（水）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 大会参加章、記念章及びADカードの交付

大会参加章、記念章及びADカードは、次の者に交付する。

(1) 大会参加章

都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員

(2) 記念章

公開競技・デモンストレーションスポーツ参加者

※ 公開競技参加者への交付は、中央競技団体との協議による。

(3) ADカード

都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督及び役員、大会役員・競技会役員及び競技団体が指定した競技役員、大会主催者及び競技会主催者が認めた者にはADカード（Accreditation Card）を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付されたADカードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、SAGA2024実行委員会、SAGA2024各競技会場地市町実行委員会及び国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載
- (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載
- (エ) 大会関連ホームページへの掲載
- (オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) S A G A 2 0 2 4 実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
 - (イ) 国スポ関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載
 - (ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
 - (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】
- (2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。

なお、参加は1人1競技に限る。

- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式

は日本スポーツ協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。
- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。
- (7) 競技運営に差し支えない限り、佐賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会及び都道府県体育・スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員並びにその他選手団役員とする。
- (2) 大会参加の都道府県体育・スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。
- (3) 納入締切日及び納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県体育・スポーツ協会へ通知する。

19 SAGA2024の取り組み

- (1) 選手の活躍にスポットを当てた表彰

選手の活躍は、観る人、支える人などにとって「感動する。魂が揺さぶられる」など「スポーツのチカラ」を多くの方に届けることができる。それぞれの選手の活躍にスポットを当てた「称える・伝える」表彰制度を創設し、表彰する。

- (2) 観戦機会の拡大

「すべての人に、スポーツのチカラを。」の実現に向け、全国で大会の観戦・応援ができる環境づくりとしてインターネットを活用した正式競技の動画配信に取り組む。また、「一人でも多くの方に会場で観戦・応援を楽しんでほしい。」という思いから、夕方以降の試合が可能な一部の競技においてナイトゲーム開催に取り組む。

- (3) 健康づくりの推進

健康増進法（平成14年法律第103号）の趣旨に鑑み、開・閉会式会場及び競技会場を原則禁煙とする。また、望まない受動喫煙を生じさせることがないように、大会参加者は、会場周辺の道路や駅、一般の店舗等における受動喫煙防止についても十分な配慮すること。

20 その他

- (1) 参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。
- (2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。
- (3) その他の事項については、国民体育大会開催基準要項及び同細則による。

別記１ 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

１ 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項〔国民スポーツ大会開催基準要項第８項第１号及び第１０項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

- (１) 居住地を示す現住所
- (２) 勤務地
- (３) ふるさと

２ 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOCエリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第３項により取り扱うものとする。

３ 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の４月３０日（冬季大会は前年の４月３０日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。

４ 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。

５ 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－(１)－１)－③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。

６ ふるさと選手制度の活用については、原則として、１回につき２年以上連続とし、利用できる回数は２回までとする。

７ 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③）に抵触しないものとする。

(1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。

(2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。

なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

ア 親の転勤による一家の転居

イ 親の結婚、離婚による一家の転居

ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居

(3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。

ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。

イ 報告を受けた都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。

2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。

(1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。

ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合

イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合

ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合

(2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。

ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOCエリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕及び別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民体スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-2)-②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規程する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会(都道府県大会を含む)と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容がJOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4「トップアスリーの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリーの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第32回オリンピック競技大会（2021年・東京）に参加した者。
- (2) 2024年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者
 - ア JOCオリンピック強化指定選手
 - イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者
 - ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2024年4月30日以前から大会終了時（2024年10月15日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2024年4月30日以前から大会終了時（2024年10月15日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督は、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2024年4月30日以前から大会終了時（2024年10月15日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第77回または2023年開催の特別大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2024年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場す

ることができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から2023年開催の特別大会または第78回大会に参加した者が、第79回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

＜例＞ ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記6 「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2024年4月30日以前から当該大会終了時（2024年10月15日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第77回大会または2023年開催の特別大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2024年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場

することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から2023年開催の特別大会または第78回大会に参加した者が、第79回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

＜例＞ ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

軟式野球競技実施要項

1 期 日 2024年10月11日（金）から10月14日（月）まで（4日間）

種 別	10 月 11 日（金）	10 月 12 日（土）	10 月 13 日（日）	10 月 14 日（月）
成年男子	1 回 戦	2 回 戦 準 々 決 勝	準 決 勝 5～8位決定戦	決 勝 3・4位決定戦

2 会 場 唐 津 市 A SHOWAハンバーガースタジアム唐津（唐津市野球場）
伊 万 里 市 B 伊万里市国見台野球場
武 雄 市 C ひぜしんスタジアム（武雄市民球場）
鹿 島 市 D 鹿島市民球場
嬉 野 市 E 嬉野総合運動公園（みゆき公園）みゆき球場
有 田 町 F 有田赤坂球場

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	小 計（人）
成年男子	1	15	32	512

※成年選手は監督を兼任することができる。

4 競技上の規程及び方法

- 競技規則は、2024年度公認野球規則及び別に定める特別規則を適用する。
なお、大会規程は、公益財団法人全日本軟式野球連盟規程細則による。
- 使用球は、公益財団法人全日本軟式野球連盟公認球M号を使用する。
- 競技服装
監督、選手は胸に都道府県名（チーム、都市名は認めない）を必ず付けること。
- 打者、走者、次打者及びベースコーチは、競技者必携に記載のヘルメットを着用しなければならない。
- 捕手は、公益財団法人全日本軟式野球連盟公認のマスク、レガーズ、ヘルメット、プロテクター及びファウルカップを着用すること。
- 得点差によるコールドゲーム（7回以降7点差）を採用する。なお、順位決定戦（7回戦）ではコールドゲームは採用しない。
- 9回を完了して同点の場合は、健康維持を考慮し、次の方法により勝敗を決定する。
試合開始後3時間を経過するまで延長イニングを行う。3時間経過後も同点の場合は、タイブレーク方式により勝敗を決する。なお、決勝戦以外の順位決定戦は7回戦であるため、7回を完了して同点の場合は、健康維持を考慮し、タイブレーク方式により勝敗を決する。
- 指名打者制度を使用することができる。

5 予選方法

- 都道府県大会
公益財団法人全日本軟式野球連盟各都道府県支部ごとに細目を定めて実施する。

(2) ブロック大会

ア 公益財団法人全日本軟式野球連盟の各ブロック支部連合会が細目を定めて実施する。

イ ブロック大会区分及び選出チーム数は、次表のとおりとする。

ブロック名	都 道 府 県 名	成年男子
北海道	北海道	1
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	4
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	5
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	4
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	3
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	4
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	2
九 州	福岡、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	5
開催県	佐賀	1
計		32

ウ 各都道府県支部は、ブロック大会参加申込時に16名の選手（監督含）登録の他に予備登録選手として9名まで登録することができる。

なお、本大会参加申込の際は、ブロック大会時に申込みを行った予備登録選手を含む25名の枠から16名(選手・監督含)を申し込むこと。

ただし、ブロック大会参加申込以降、選手の追加・変更は認めない。

また、ブロック大会において予備登録選手と変更した選手ならびに監督は、本大会の参加については、予備登録選手とする。

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 公益財団法人全日本軟式野球連盟に登録されたチームであること。
- (2) 公益財団法人全日本軟式野球連盟に登録されていないチームは、公益財団法人日本スポーツ協会及び公益財団法人全日本軟式野球連盟の定めたスポーツ憲章並びに公益財団法人全日本軟式野球連盟で取り決めた事項の遵守を承諾したチームであること。
- (3) 未登録チームについては、参加料のほかに参加申込書並びに所定の承諾書を各都道府県第1次予選会主催者に提出することによって仮登録とみなす。
- (4) 連盟の登録に関係なく、選抜チームを編成することができる。ただし、選抜チーム以外に参加希望チームがある場合は予選会を行わなければならない。
- (5) 予選会を行って参加チームによる選抜編成は差支えない。この場合、代表権を得たチームの意見を尊重する。
- (6) 「ふるさと選手制度」で参加する者は、総則5の別記1に該当する者とし、登録及び出場する都道府県支部長に報告すること。
- (7) 選手は、2006年4月1日までに生まれた者とする。
なお、特例として、2006年4月2日以降に生まれた者でも参加することができる。
ただし、生徒は除く。なお、監督は選手として登録した場合、出場することができる。
- (8) 本大会に参加する監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認軟式野球コーチ1、公認軟式野球コーチ2、または公認軟式野球コーチ3、公認軟式野球コーチ4の有資格者であること。

7 総合成績決定方法

総合成績（天皇杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	競 技 得 点
成 年 男 子	1 位 64 点、2 位 56 点、3 位 48 点、4 位 40 点、5 位 32 点、6 位 24 点、7 位 16 点、8 位 8 点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。 なお、得点については、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分する。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

- (1) 総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 総合成績第1位から第8位までの都道府県とチーム全員（監督を含む）に、賞状を授与する。

9 参加申込み方法

- (1) 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県体育・スポーツ協会を通じて、2024年9月4日（水）までに申込み手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み後の選手・監督の変更は、疾病・傷害の場合並びに特別な事由がある場合は、資格審査の上、予備登録選手内での変更を認める。なお、選手・監督を変更する場合は証明する書類を添付し、参加選手交代（変更）届を監督会議の3日前《10月7日（月）17時》までに下記ア、イ、ウに提出すること。なお、監督の変更が生じる場合には、公認軟式野球コーチ1、公認軟式野球コーチ2、または公認軟式野球コーチ3、公認軟式野球コーチ4の有資格者とする。

提 出 先

- ア 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目27番7号
公益財団法人全日本軟式野球連盟
TEL 03-3404-8831 FAX 03-3479-2523
- イ 〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号
SAGA2024実行委員会事務局
（佐賀県SAGA2024・SSP推進局
SAGA2024競技運営チーム 国民スポーツ大会担当）
TEL 0952-25-7405 FAX 0952-25-7354
- ウ 〒847-8511 佐賀県唐津市南城内1番1号（大手口センタービル5階）
SAGA2024国スポ・全障スポ唐津市実行委員会事務局
（唐津市スポーツ局国スポ・全障スポ競技課）
TEL 0955-53-7176 FAX 0955-75-2289

なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

(注1) 仮登録により出場するチームは、連盟の規程及び規程細則により編成されたチームでなければならない。

(注2) 参加申込書の選手の記載順については、主将以下、その他の選手は背番号の若い順に記載すること。なお、選手の背番号は0番から99番（監督30番、主将10番）とする。兼任監督も選手欄へは選手として記載すること。

(4) 問い合わせ

- ア 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目27番7号
公益財団法人全日本軟式野球連盟
TEL 03-3404-8831 FAX 03-3479-2523
- イ 〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号
SAGA2024実行委員会事務局
(佐賀県SAGA2024・SSP推進局
SAGA2024競技運営チーム 国民スポーツ大会担当)
TEL 0952-25-7405 FAX 0952-25-7354
- ウ 〒847-8511 佐賀県唐津市南城内1番1号（大手口センタービル5階）
SAGA2024国スポ・全障スポ唐津市実行委員会事務局
(唐津市スポーツ局国スポ・全障スポ競技課)
TEL 0955-53-7176 FAX 0955-75-2289
- エ 〒848-0045 佐賀県伊万里市松島町391番地1
SAGA2024伊万里市実行委員会事務局
(伊万里市国スポ・全障スポ推進課)
TEL 0955-23-2198 FAX 0955-23-4943
- オ 〒843-8639 佐賀県武雄市武雄町大字昭和12番地10
SAGA2024武雄市実行委員会事務局
(武雄市国スポ・全障スポ推進室)
TEL 0954-27-7091 FAX 0954-23-3816
- カ 〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1
SAGA2024鹿島市実行委員会事務局
(鹿島市国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進室)
TEL 0954-63-2125 FAX 0954-63-2313
- キ 〒843-0392 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1185番地
SAGA2024国スポ・全障スポ嬉野市実行委員会事務局
(嬉野市SAGA2024推進課)
TEL 0954-27-7083 FAX 0954-27-7084
- ク 〒844-0018 佐賀県西松浦郡有田町本町丙1002番地2
SAGA2024有田町実行委員会事務局
(有田町国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進室)
TEL 0955-43-2314 FAX 0955-42-6309

10 参加上の注意

- (1) 2024年度版「公認野球規則」「競技者必携」を持参すること。
- (2) 監督会議には、監督または主将は必ずユニフォームを着用し出席すること。欠席の場合は原則として棄権とみなす。

11 そ の 他

- (1) 組合せ抽選会

日 時 2024年9月5日（木） 午後2時
場 所 公益財団法人全日本軟式野球連盟 会議室
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目27番7号
TEL 03-3404-8831 FAX 03-3479-2523

※ 公益財団法人日本スポーツ協会役員立会いのもと、公開抽選を行う。

- (2) 監督会議

日 時 2024年10月10日（木） 午後4時
場 所 唐津シーサイドホテル
〒847-0017 佐賀県唐津市東唐津4丁目182
TEL 0955-75-3300 FAX 0955-75-1885

- (3) 表彰式

内 容	日 時	会 場
1位・2位 表 彰 式	2024年10月14日（月） 試 合 終 了 後	A SHOWAハンバーガースタジアム唐津 （唐津市野球場）
3位・4位 表 彰 式	2024年10月14日（月） 試 合 終 了 後	B 伊万里市国見台野球場
5位・6位 表 彰 式	2024年10月13日（日） 試 合 終 了 後	C 鹿島市民球場
7位・8位 表 彰 式	2024年10月13日（日） 試 合 終 了 後	D 嬉野総合運動公園（みゆき公園）みゆき球場

memo

This image shows a full page of white paper designed for handwriting practice. It features 20 evenly spaced horizontal dotted lines running from left to right across the entire width of the page. There are no margins, text, or other markings present.

SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。



SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

開 始 式 次 第

1 日時・会場

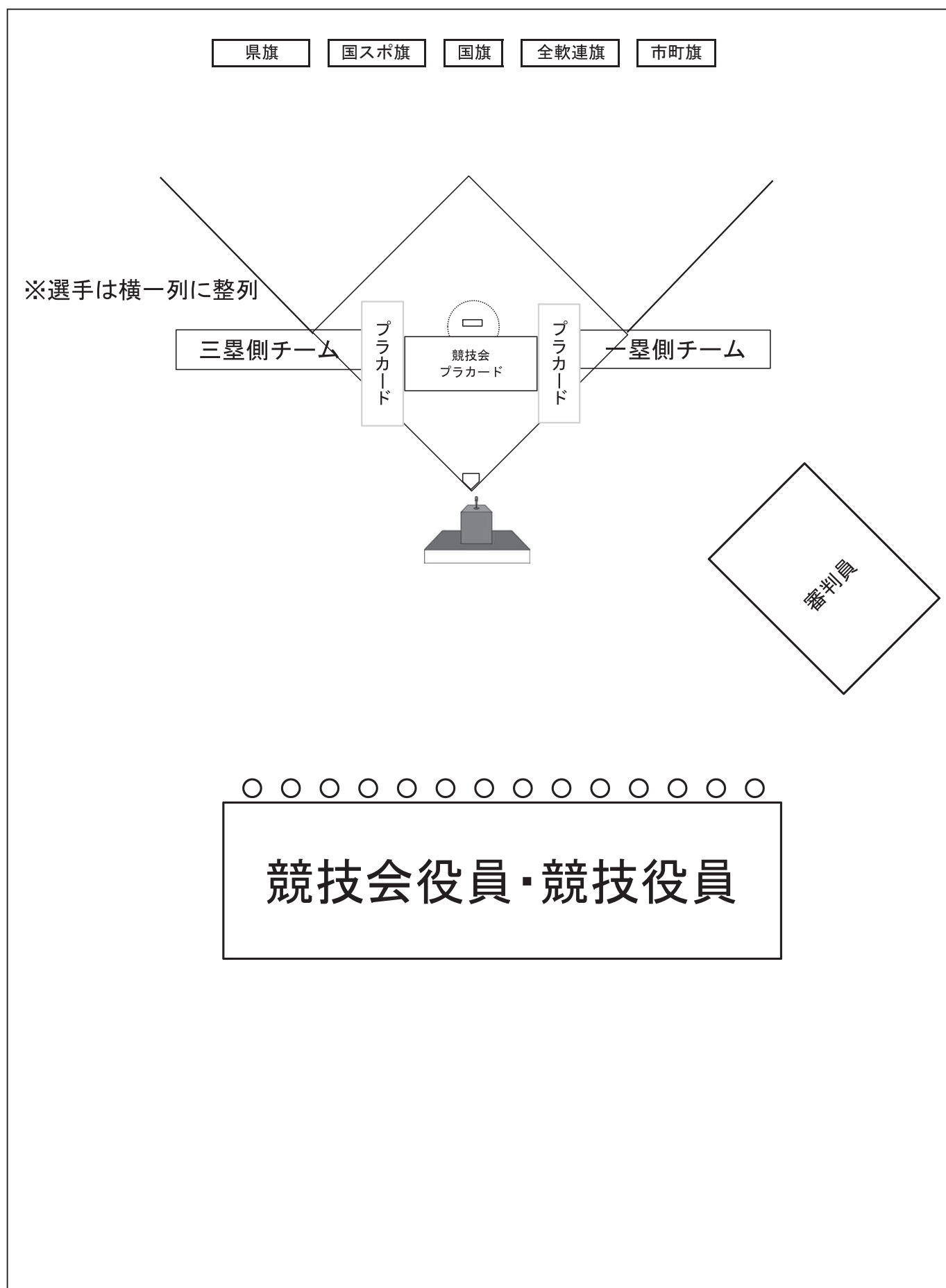
種別	内 容	日 時	会 場	
成年男子	開 始 式	10月11日(金) 午前8時20分～	唐津市	SHOWAハンバーガースタジアム唐津 (唐津市野球場)
			伊万里市	伊万里市国見台野球場
			武雄市	ひげしんスタジアム (武雄市民球場)
			鹿島市	鹿島市民球場
			嬉野市	嬉野総合運動公園(みゆき公園) みゆき球場
			有田町	有田赤坂球場

2 式次第

順序	次 第	所要時間	要 領	音 楽
1	開 式 通 告	1分	アナウンス 通 告	
2	選 手 入 場	1分	アナウンス 通 告	行 進 曲
3	競 技 会 開 始 宣 言	1分	全日本軟式野球連盟	ファンファーレ
4	国 旗 ・ 諸 旗 掲 揚	2分	アナウンス 通 告	国歌・若い力
5	歓 迎 の こ と ば	2分	会 場 地	
6	閉 式 通 告	1分	アナウンス 通 告	
7	選 手 退 場	1分	アナウンス 通 告	行 進 曲

※会場ごとでのおもてなし式典としておりますので、内容が異なる場合があります。
なお、悪天候の場合は中止となります。

開始式要領図



第 1 位・第 2 位 表彰式次第

1 日時・会場

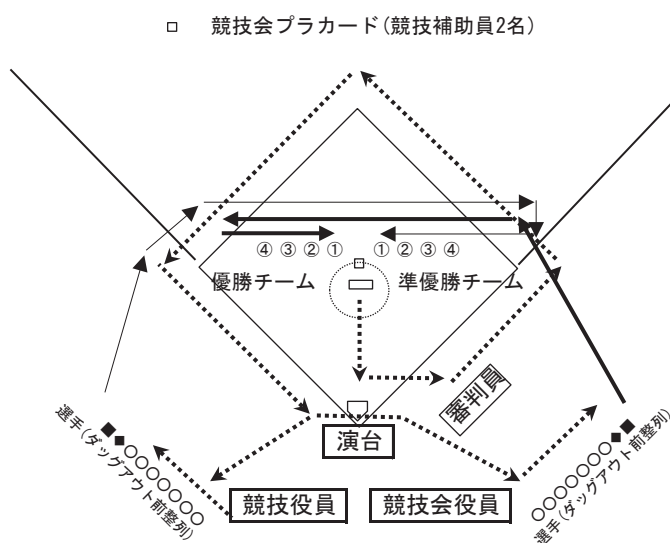
種別	内 容	日 時	会 場	
成年男子	1・2位表彰式	10月14日(月) (決勝戦終了後)	唐津市	SHOWAハンバーガースタジアム唐津 (唐津市野球場)

2 式次第

順序	次 第	所要時間	要 領	音 楽
1	開 式 通 告	1分	ア ナ ウ ン ス 通 告	
2	選 手 入 場	2分	ア ナ ウ ン ス 通 告	行 進 曲
3	総 合 成 績 発 表	2分	競 技 委 員 長	
4	表 彰 状 及 び 大 会 会 長 トロフィー、メダル授与	5分	唐 津 市	得 賞 歌
5	副 賞 授 与	3分	唐 津 市	得 賞 歌
6	個人表彰及び副賞授与	5分	唐 津 市	得 賞 歌
7	歓 送 の こ と ば	3分	唐 津 市	
8	歓 送 の こ と ば	3分	佐賀県軟式野球連盟会長	
9	お 礼 の こ と ば	3分	競 技 会 会 長	
10	国 旗 降 納	1分		君 が 代
11	諸 旗 降 納	1分		若 い 力
12	競 技 会 終 了 宣 言	1分	競 技 委 員 長	
13	閉 式 通 告	1分	ア ナ ウ ン ス 通 告	
14	選 手 退 場	2分	ア ナ ウ ン ス 通 告	行 進 曲

第1位・第2位 表彰式要領図

【一塁側チームが勝った場合】



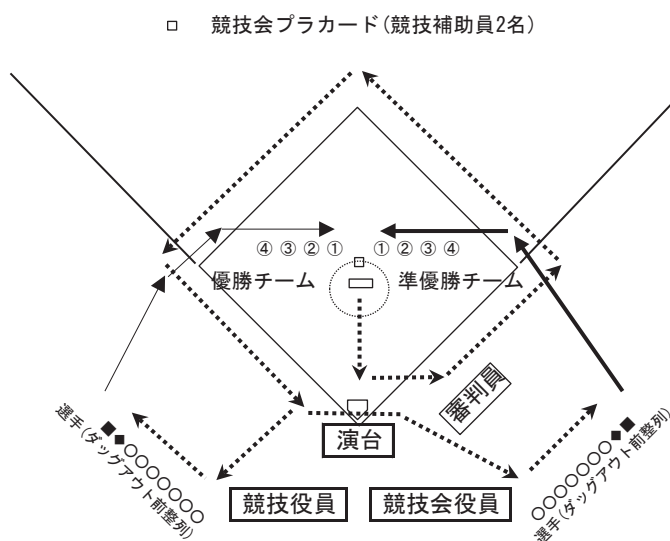
入場行進路

- 1) 優勝（一塁側）チームと準優勝（三塁側）チームが同時に入場開始。チームの先導者には競技役員がつく。
- 2) 各塁ベース（一塁・三塁）の手前で折れ曲がり、互いに反対側のベースを過ぎてから折り返す。
- 3) 両チームの先導者がピッチャープレート前に到着次第整列完了。
- 4) 先導者は、行進後各チームの最後尾につく。

退場行進路

- 1) 退場時、先導者は各チームの最後尾より先頭に移動する。
- 2) 退場は、競技会プラカードの後に優勝チームからホームベース方向へ退場開始。
- 3) グラウンドを一周し退場する。
- 4) ホームベースへ到達したら、ダッグアウトへ戻る。
なお、競技会プラカードは、一塁側ダッグアウトに戻る。

【三塁側チームが勝った場合】



入場行進路

- 1) 優勝（三塁側）チームと準優勝（一塁側）チームが同時に入場開始。チームの先導者には競技役員がつく。
- 2) 各塁ベース（一塁・三塁）の手前で折れ曲がり、両チームの先導者がピッチャープレート前に到着次第、整列完了。
- 3) 先導者は、行進後各チームの最後尾につく。

退場行進路

- 1) 退場時、先導者は各チームの最後尾より先頭に移動する。
- 2) 退場は、競技会プラカードの後に優勝チームからホームベース方向へ退場開始。
- 3) グラウンドを一周し退場する。
- 4) ホームベースへ到達したら、ダッグアウトへ戻る。
なお、競技会プラカードは、三塁側ダッグアウトに戻る。

※雨天の場合は、屋内で実施するため、行進は行わない。

(選手整列順)

【優勝チーム】

- | | |
|--------|-----------|
| 先導者 | 競技役員 |
| ①プラカード | (1) 競技補助員 |
| ②プラカード | (2) 競技補助員 |
| ③監督 | |
| ④主将 | |
| ⑤選手 | |

【準優勝チーム】

- | | |
|--------|-----------|
| 先導者 | 競技役員 |
| ①プラカード | (1) 競技補助員 |
| ②プラカード | (2) 競技補助員 |
| ③監督 | |
| ④主将 | |
| ⑤選手 | |

【プラカード種類】

- | | |
|----------|---------|
| プラカード(1) | 順位プラカード |
| プラカード(2) | 県名プラカード |

第3位～第8位 表彰式次第

1 日時・会場

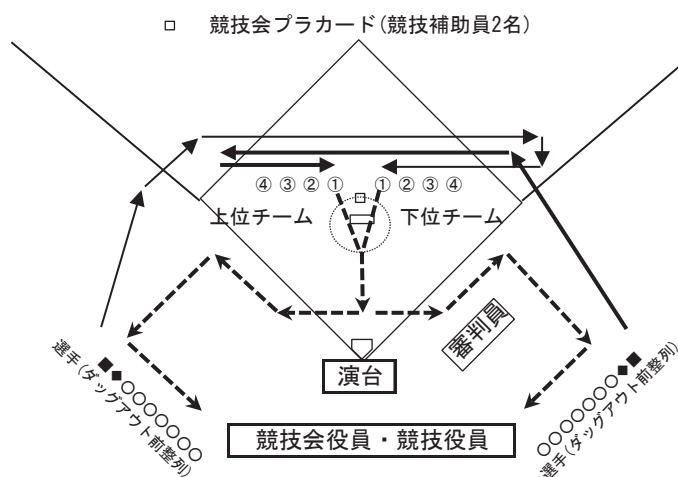
種別	内 容	日 時	会 場	
成年男子	3・4位表彰式	10月14日(月) (決定戦終了後)	伊万里市	伊万里市国見台野球場
	5・6位表彰式	10月13日(日) (決定戦終了後)	鹿島市	鹿島市民球場
	7・8位表彰式	10月13日(日) (決定戦終了後)	嬉野市	嬉野総合運動公園(みゆき公園) みゆき球場

2 式次第

順序	次 第	所要時間	要 領	音 楽
1	開 式 通 告	1分	アナウンス 通告	
2	選 手 入 場	2分	アナウンス 通告	行 進 曲
3	表 彰 状 及 び 副 賞 授 与	5分	会 場 地	得 賞 歌
4	個 人 表 彰 状 及 び 副 賞 授 与	5分	会 場 地	得 賞 歌
5	歓 送 の こ と ば	3分	会 場 地	
6	閉 式 通 告	1分	アナウンス 通告	
7	選 手 退 場	2分	アナウンス 通告	行 進 曲

第3位～第8位 表彰式要領図

【一塁側チームが勝った場合】



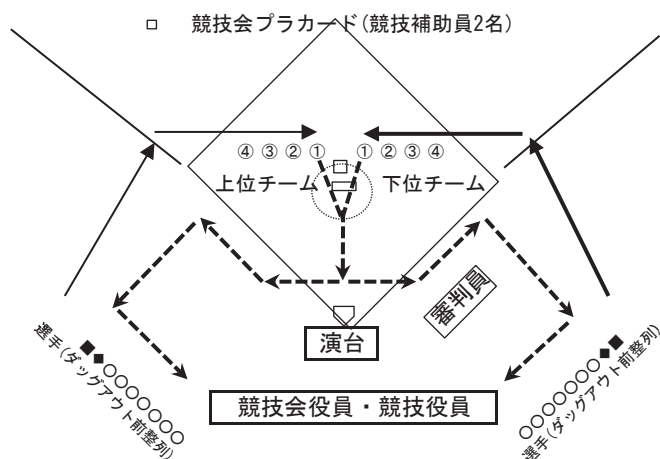
入場行進路

- 1) 上位（一塁側）チームと下位（三塁側）チームが同時に入場開始。チームの先導者には競技役員等がつく。
- 2) 各塁ベース（一塁・三塁）の手前で折れ曲がり、互いに反対側のベースを過ぎてから折り返す。
- 3) 両チームの先導者がピッチャープレート前に到着次第整列完了。
- 4) 先導者は、行進後各チームの最後尾につく。

退場行進路

- 1) 退場時、先導者は各チームの最後尾より先頭に移動する。
- 2) 退場は、競技会プラカードの後に上位チームがホームベース方向へスタート、全員通過後下位チームが続いて退場。
- 3) ホームベース手前にて各自のダッグアウトの方向に向きを変え、塁線上に沿って行進し、各ベース手前でダッグアウトへ戻る。なお、競技名プラカードは、一塁側のダッグアウトに戻る。

【三塁側チームが勝った場合】



入場行進路

- 1) 上位（三塁側）チームと下位（一塁側）チームが同時に入場開始。チームの先導者には競技役員等がつく。
- 2) 各塁ベース（一塁・三塁）の手前で折れ曲がり、両チームの先導者がピッチャープレート前に到着次第、整列完了
- 3) 先導者は、行進後各チームの最後尾につく。

退場行進路

- 1) 退場時、先導者は各チームの最後尾より先頭に移動する。
- 2) 退場は、競技会プラカードの後に上位チームがホームベース方向へスタート、全員通過後下位チームが続いて退場。
- 3) ホームベース手前にて各自のダッグアウトの方向に向きを変え、塁線上に沿って行進し、各ベース手前でダッグアウトへ戻る。なお、競技会プラカードは、三塁側のダッグアウトに戻る。

※雨天の場合は、屋内で実施するため、行進は行わない。

（選手整列順）

【上位チーム】

- | | |
|--------|-----------|
| 先導者 | 競技役員等 |
| ①プラカード | (1) 競技補助員 |
| ②プラカード | (2) 競技補助員 |
| ③監督 | |
| ④主将 | |
| ⑤選手 | |

【下位チーム】

- | | |
|--------|-----------|
| 先導者 | 競技役員等 |
| ①プラカード | (1) 競技補助員 |
| ②プラカード | (2) 競技補助員 |
| ③監督 | |
| ④主将 | |
| ⑤選手 | |

【プラカード種類】

- | | |
|----------|---------|
| プラカード(1) | 順位プラカード |
| プラカード(2) | 県名プラカード |

memo

This image shows a full page of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, providing a template for handwriting practice or general writing. There are no margins, text, or other markings on the page.

SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

軟式野球競技会
競技日程・組合せ表・
練習会場



SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。



軟式野球競技

競技日程

唐津市
伊万里市
武雄市
鹿島市
嬉野市
有田町

監督会議		10月10日（木）		16時00分～		唐津シーサイドホテル			
種 別		成年男子							
会 期		10月11日（金）		10月12日（土）		10月13日（日）		10月14日（月）	
SHOWAハンバーガースタジアム唐津（唐津市野球場）									
唐津市		A	1 回戦（3 試合） ① 9:00～ ②11:20～ ③13:40～	2 回戦（2 試合） ① 9:00～ ②11:20～ 準々決勝（1 試合） ③14:00～	準決勝 ① 9:00～ 準決勝 ②11:20～	決 勝 ① 9:00～ ◆表彰式 第1位・第2位			
伊万里市国見台野球場									
伊万里市		B	1 回戦（3 試合） ① 9:00～ ②11:20～ ③13:40～	2 回戦（2 試合） ① 9:00～ ②11:20～ 準々決勝（1 試合） ③14:00～	3・4 位決定戦 ① 9:00～ ◆表彰式 第3位・第4位				
ひげしんスタジアム（武雄市民球場）									
武雄市		C	1 回戦（3 試合） ① 9:00～ ②11:20～ ③13:40～	2 回戦（2 試合） ① 9:00～ ②11:20～ 準々決勝（1 試合） ③14:00～					
鹿島市民球場									
鹿島市		D	1 回戦（2 試合） ① 9:00～ ②11:20～		5・6 位決定 1 回戦 ① 9:00～ 5・6 位決定戦 ②12:30～ ◆表彰式 第5位・第6位				
嬉野総合運動公園（みゆき公園）みゆき球場									
嬉野市		E	1 回戦（2 試合） ① 9:00～ ②11:20～		5・6 位決定 1 回戦 ① 9:00～ 7・8 位決定戦 ②12:30～ ◆表彰式 第7位・第8位				
有田赤坂球場									
有田町		F	1 回戦（3 試合） ① 9:00～ ②11:20～ ③13:40～	2 回戦（2 試合） ① 9:00～ ②11:20～ 準々決勝（1 試合） ③14:00～					
表彰式		【1・2 位】 10月14日（月） 試合終了後 SHOWAハンバーガースタジアム唐津（唐津市野球場） 【3・4 位】 10月14日（月） 試合終了後 伊万里市国見台野球場 【5・6 位】 10月13日（日） 試合終了後 鹿島市民球場 【7・8 位】 10月13日（日） 試合終了後 嬉野総合運動公園（みゆき公園）みゆき球場							

第78回国民スポーツ大会 SAGA 2024

会 期 ◇2024年10月11日（金）～10月14日（月） 4日間

監督会議 ◇10月10日（木）16:00 唐津シーサイドホテル

※①～④は競技日程

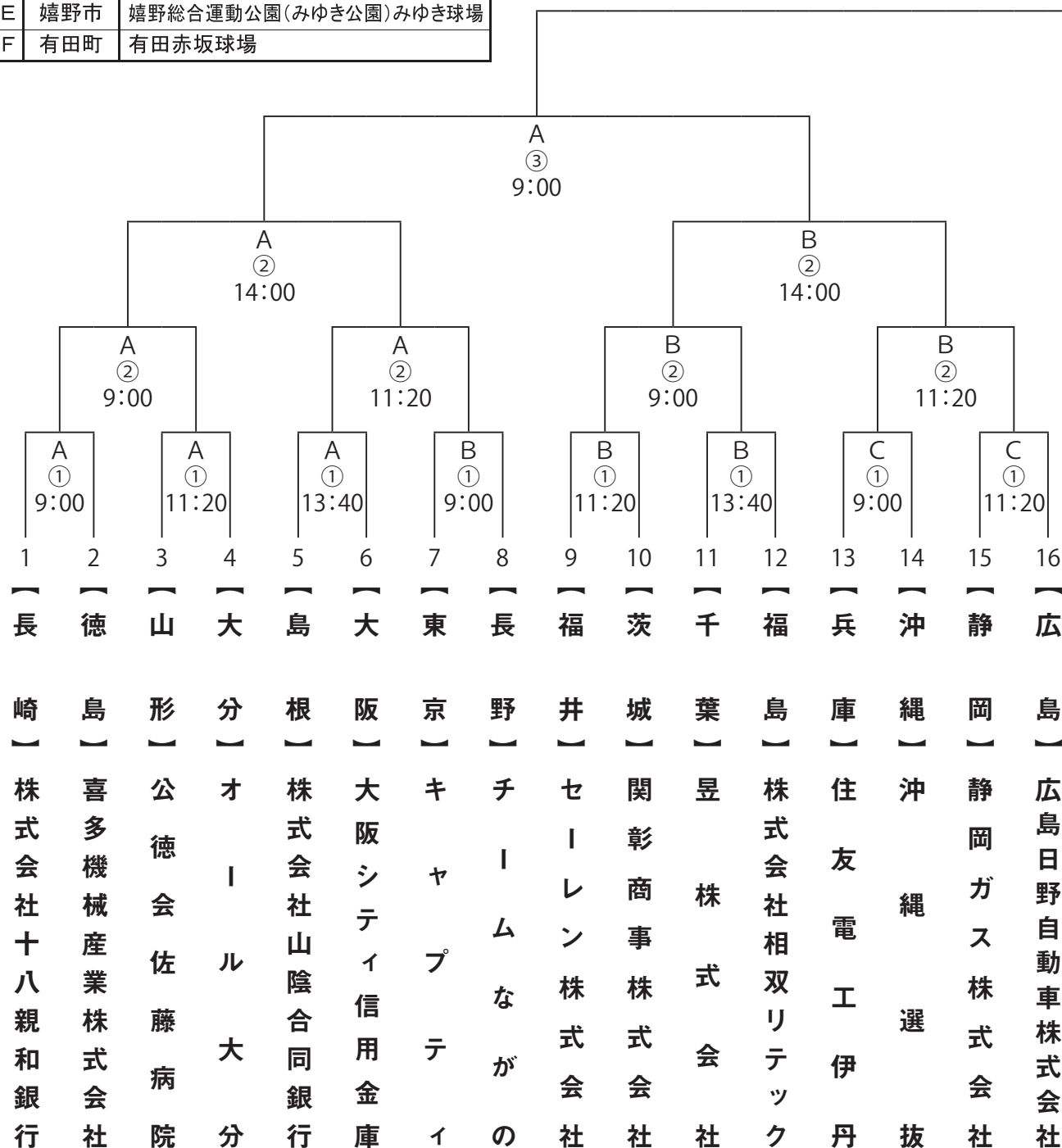
競技第1日 ① ◇10月11日（金）

競技第2日 ② ◇10月12日（土）

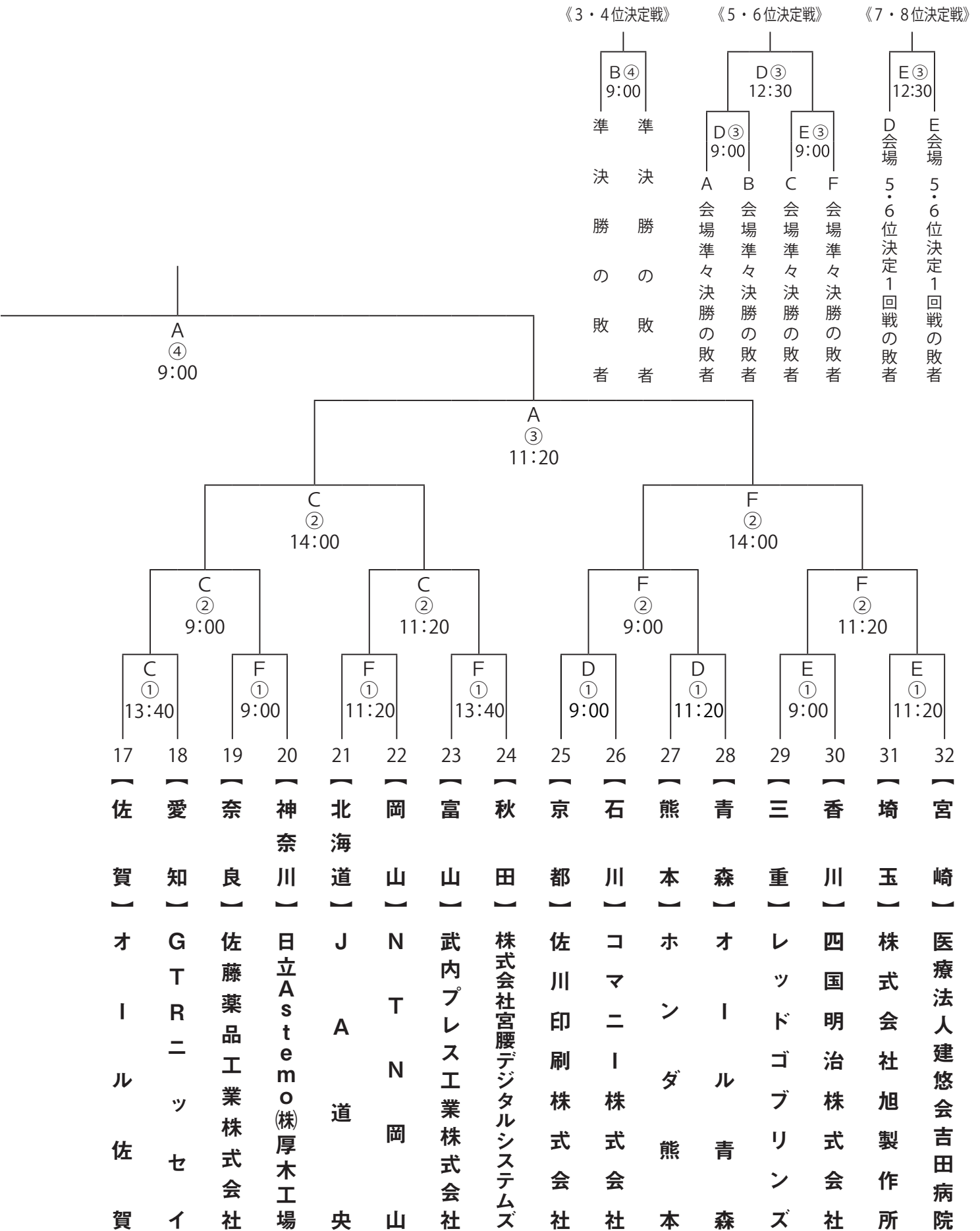
競技第3日 ③ ◇10月13日（日）

競技第4日 ④ ◇10月14日（月・祝）

A	唐津市	SHOWAハンバーガースタジアム唐津(唐津市野球場)
B	伊万里市	国見台野球場
C	武雄市	ひげしんスタジアム（武雄市民球場）
D	鹿島市	鹿島市民球場
E	嬉野市	嬉野総合運動公園(みゆき公園)みゆき球場
F	有田町	有田赤坂球場



軟式野球競技会 組合せ表



練習会場

市名	練習会場	練習会場所在地	競技会場
唐津市	松浦河畔公園野球場	唐津市鏡2988番地	A SHOWAハンバーガースタジアム唐津 (唐津市野球場)
	唐津東高等学校グラウンド	唐津市鏡新開1番地	
伊万里市	伊万里松浦球技場	伊万里市松浦町山形5451番地	B 伊万里市国見台野球場
武雄市	白岩運動広場	武雄市武雄町大字永島15057番地2	C ひぜんスタジアム(武雄市民球場)
	サンスポーツランド北方 多目的運動広場	武雄市北方町大字大崎2248番地3	
鹿島市	鹿島高等学校赤門学舎運動場	鹿島市大字高津原462番地	D 鹿島市民球場
嬉野市	嬉野総合運動公園多目的広場1	嬉野市嬉野町大字下宿甲2834番地	E 嬉野総合運動公園(みゆき公園)みゆき球場
有田町	有田中央運動公園	西松浦郡有田町立部甲192番地	F 有田赤坂球場

練習会場割当表

月日	練習時間	練習会場		備考
10月9日(水) 【2日前】	9:00～11:00			
	11:00～13:00			
	13:00～15:00			
	15:00～17:00			
10月10日(木) 【1日前】	9:00～11:00			16:00～監督会議 唐津シーサイドホテル
	11:00～13:00			
	13:00～15:00			
	15:00～17:00			

◎留意事項

- ・練習会場の使用については、割当表のとおりとします。ただし、会場によっては、練習時間の調整がある場合があります。
- ・練習会場を使用しない場合は、必ず実施本部（競技関係連絡先一覧表参照）に連絡願います。
- ・練習時間内にグラウンド整備（レーキがけ等）を行ってください。

競技会場のウォーミングアップ場について

- ・試合前のウォーミングアップ場は、各競技会場で用意しています。
- ・各会場により使用条件が異なりますので、確認のうえ使用してください。
- ・ウォーミングアップ場の使用は、試合直前のチームを優先とし、1塁側・3塁側チームで分けて使用してください。

memo

[illegible]

SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

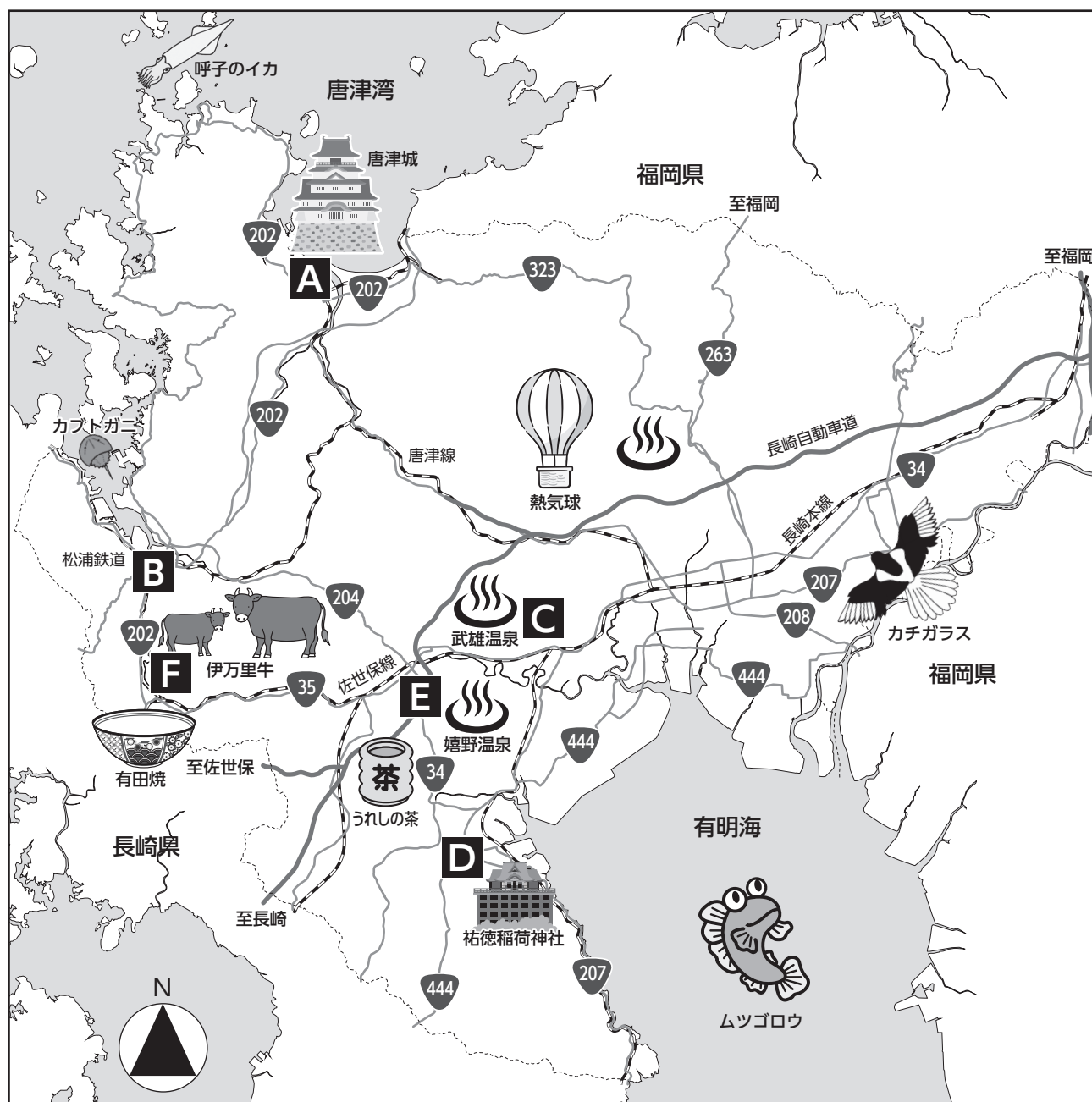
軟式野球競技会 競技会場



SAGA 2024

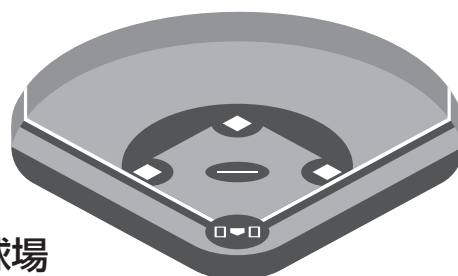
新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

全体会場案内地図



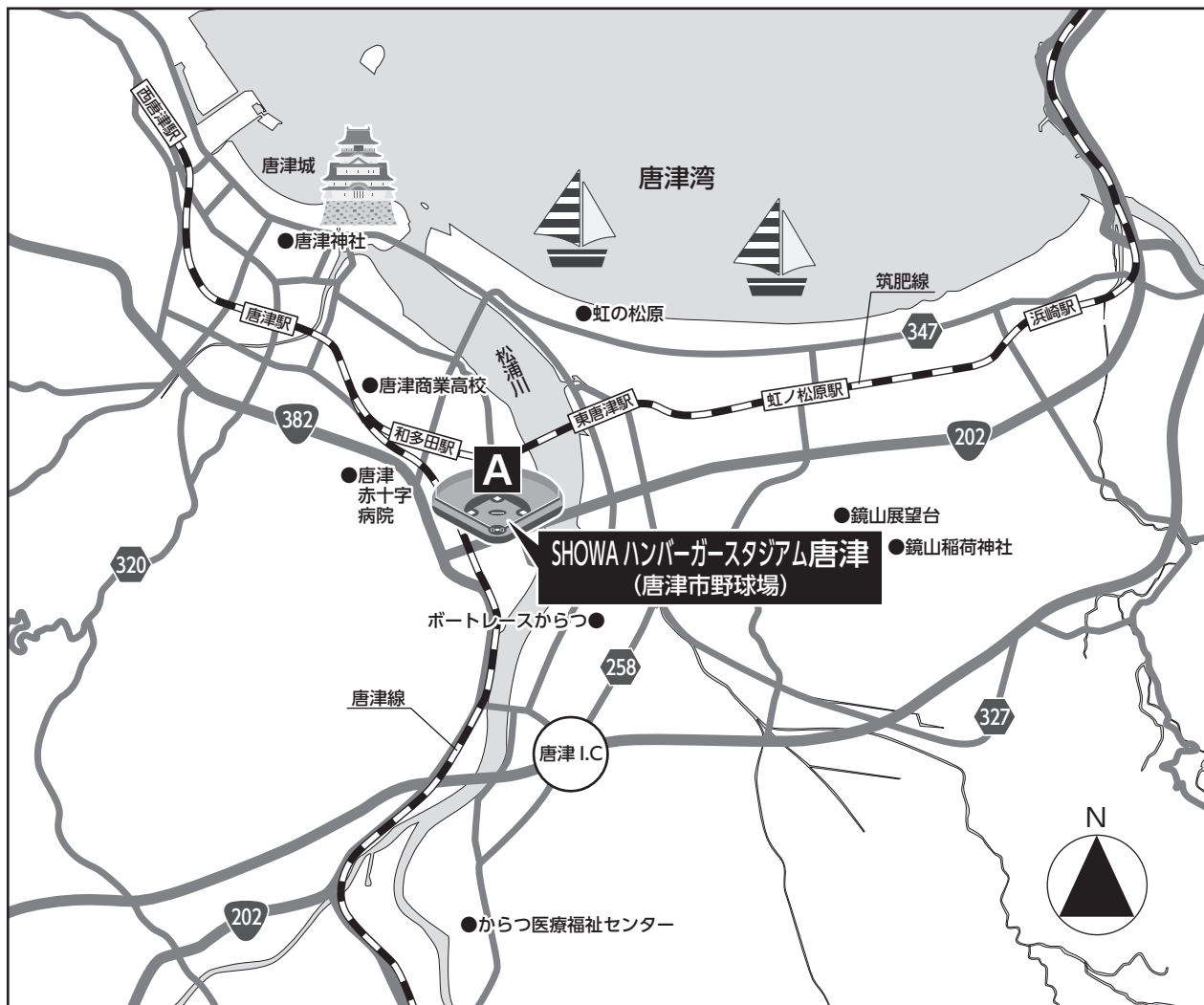
開催会場

- A** SHOWA ハンバーガースタジアム唐津
- B** 伊万里市国見台野球場
- C** ひぜしんスタジアム（武雄市民球場）
- D** 鹿島市民球場
- E** 嬉野総合運動公園（みゆき公園）みゆき球場
- F** 有田赤坂球場



各会場案内地図

A SHOWAハンバーガースタジアム唐津 (唐津市野球場)



会場所在地

〒847-0083 佐賀県唐津市和多田大土井 1-1 TEL.0955-73-1023

アクセス

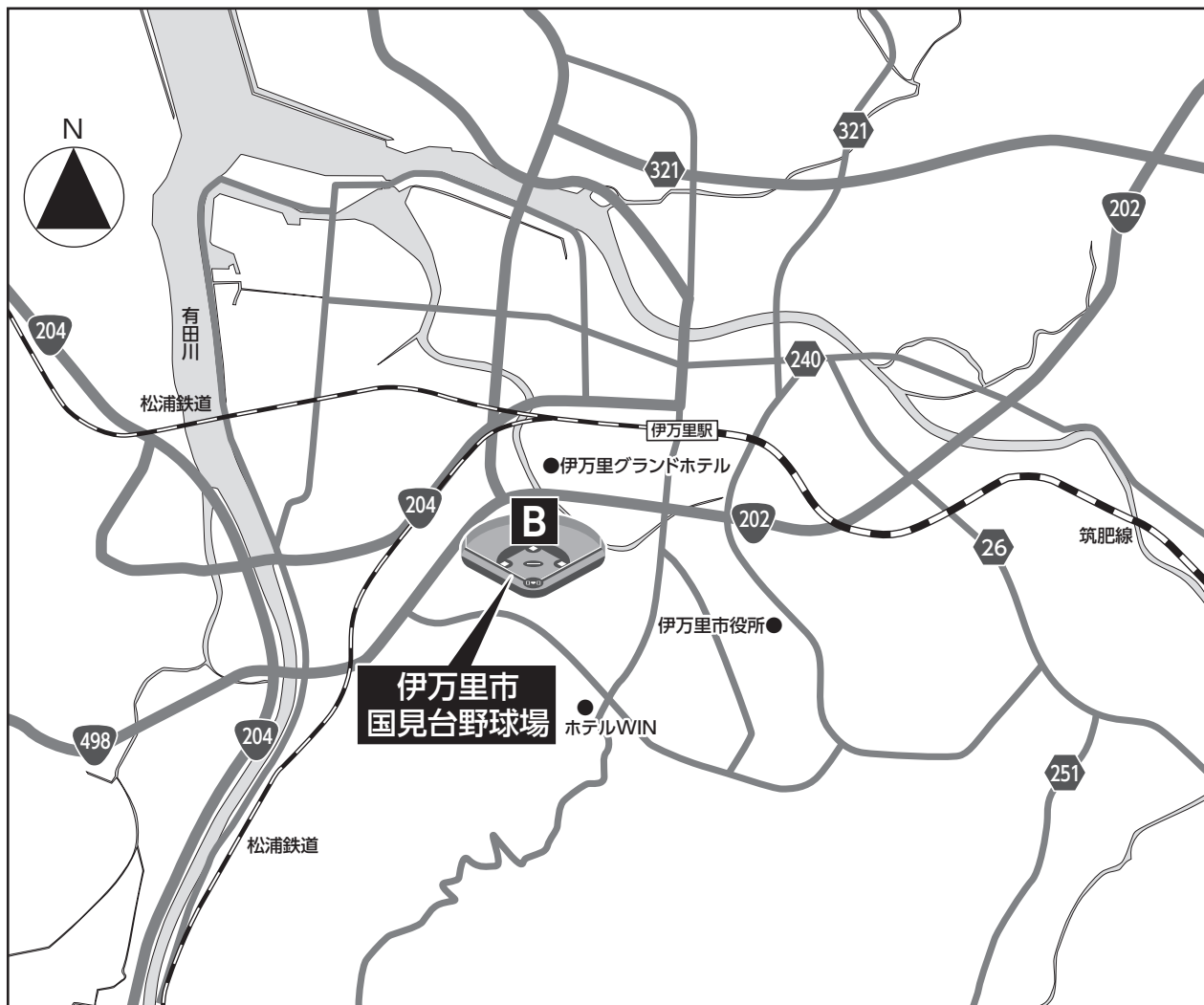
- 【鉄 道 等】 JR筑肥線「和多田駅」下車徒歩17分
- 【路 線 バ ス】 昭和バス／文化体育館前「文化体育館前」下車徒歩1分
- 【シャトルバス】 唐津駅より無料運行(60分間隔で運行)
臨時駐車場より無料運行(30分間隔で運行)
- 【自 家 用 車】 前原東ICから車で40分
西九州自動車道唐津ICから車で7分
- 【臨 時 駐 車 場】 唐津河畔公園駐車場 無料1,087台

※詳しくは唐津市実行委員会HPをご確認ください。



各会場案内地図

B 伊万里市国見台野球場



会場所在地

〒848-0032 佐賀県伊万里市二里町大里甲 2153-1 TEL.0955-23-2632

アクセス

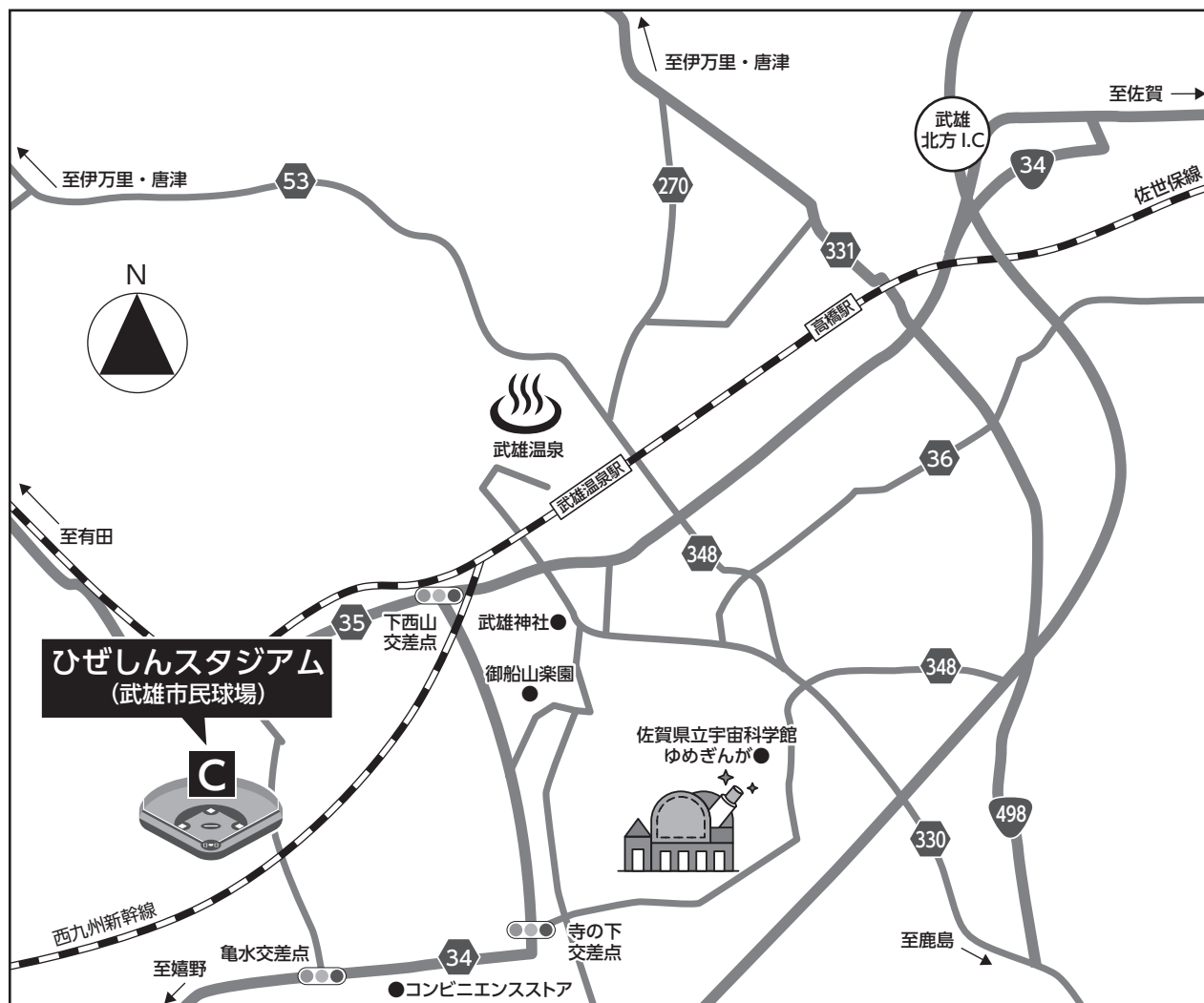
- 【鉄 道 等】 JR筑肥線／松浦鉄道西九州線「伊万里駅」下車徒歩15分
- 【路 線 バ ス】 西肥バス／いまりんバス「伊万里駅」下車徒歩15分
- 【自 家 用 車】 西九州自動車道東府招ICから車で10分
長崎自動車道武雄北方ICから車30分
- 【会場内駐車場】 無料320台
- 【周 辺 駐 車 場】 無料80台

※詳しくは伊万里市実行委員会HPをご確認ください。



各会場案内地図

C ひぜんスタジアム (武雄市民球場)



会場所在地

〒843-0233 佐賀県武雄市東川登町大字永野7927番地 TEL.0954-28-9850
(ケーブルワン・スポーツパーク事務所)

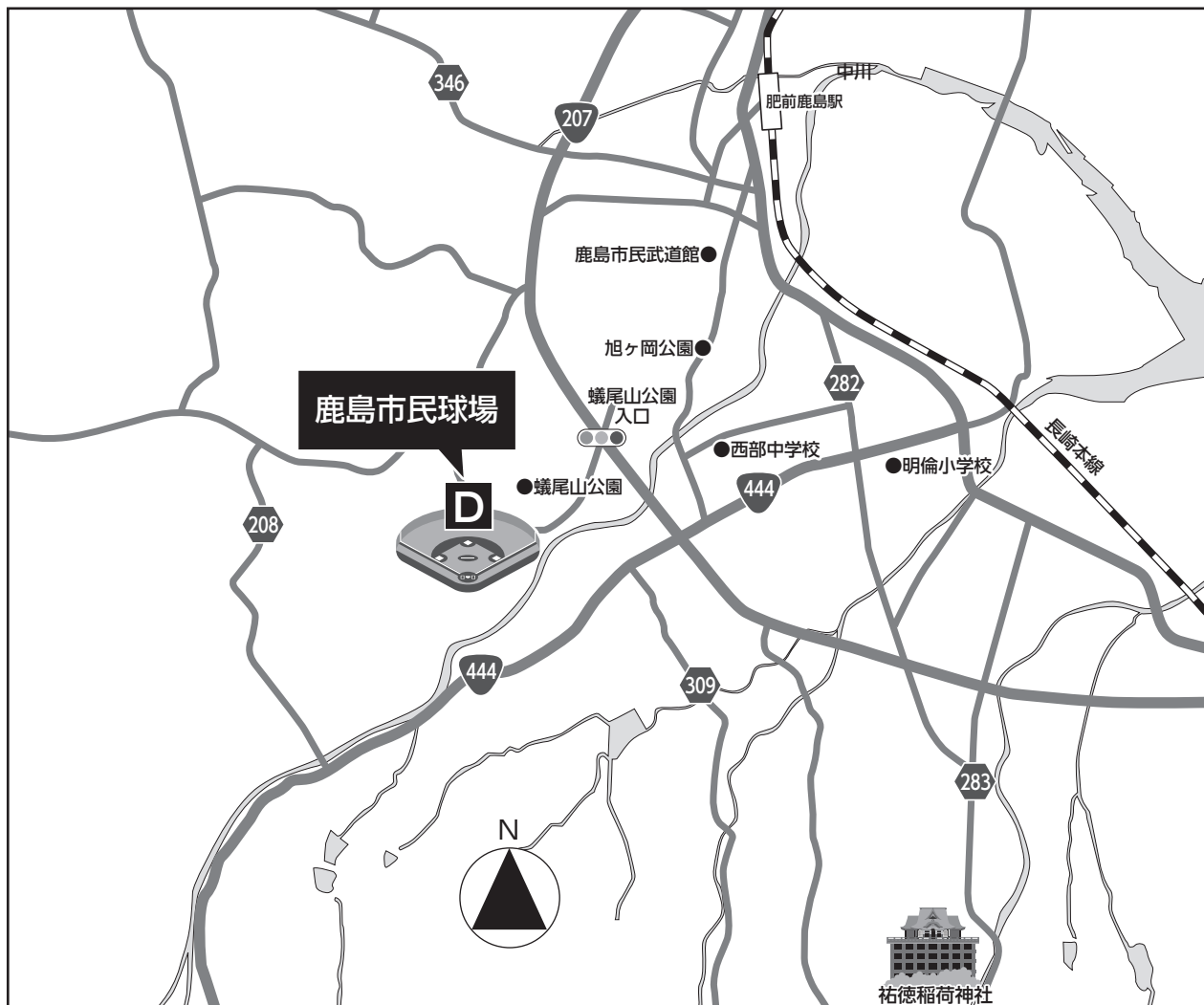
アクセス

- 【鉄 道 等】 JR佐世保線「武雄温泉駅」下車タクシー15分
 - 【路 線 バ ス】 祐徳バス／武内・武雄線、武雄線、祐徳線、武雄・三間坂線
昭和バス／多久・武雄線 JRバス／嬉野線 温泉タクシー／武雄・桃川線
「武雄温泉駅」下車タクシー15分
 - 【シャトルバス】 JR武雄温泉駅より無料運行(所要時間約20分)
 - 【自 家 用 車】 武雄北方ICから車で約20分
 - 【臨 時 駐 車 場】 白岩運動公園駐車場 無料241台(会場間シャトルバス運行)
- ※詳しくは武雄市実行委員会HPをご確認ください。



各会場案内地図

D 鹿島市民球場



会場所在地

〒849-1311 佐賀県鹿島市大字高津原2441 TEL.0954-63-6734

アクセス

- 【鉄 道 等】 JR長崎本線「肥前鹿島駅」下車タクシー8分
- 【路 線 バ ス】 祐徳バス／吉田線／嬉野温泉「伏原入口」下車徒歩7分
- 【シャトルバス】 肥前鹿島駅より無料運行
- 【自 家 用 車】 武雄北方ICから車で30分
嬉野ICから車で20分
- 【会場内駐車場】 無料122台

※詳しくは鹿島市実行委員会HPをご確認ください。



E 嬉野総合運動公園 (みゆき公園) みゆき球場



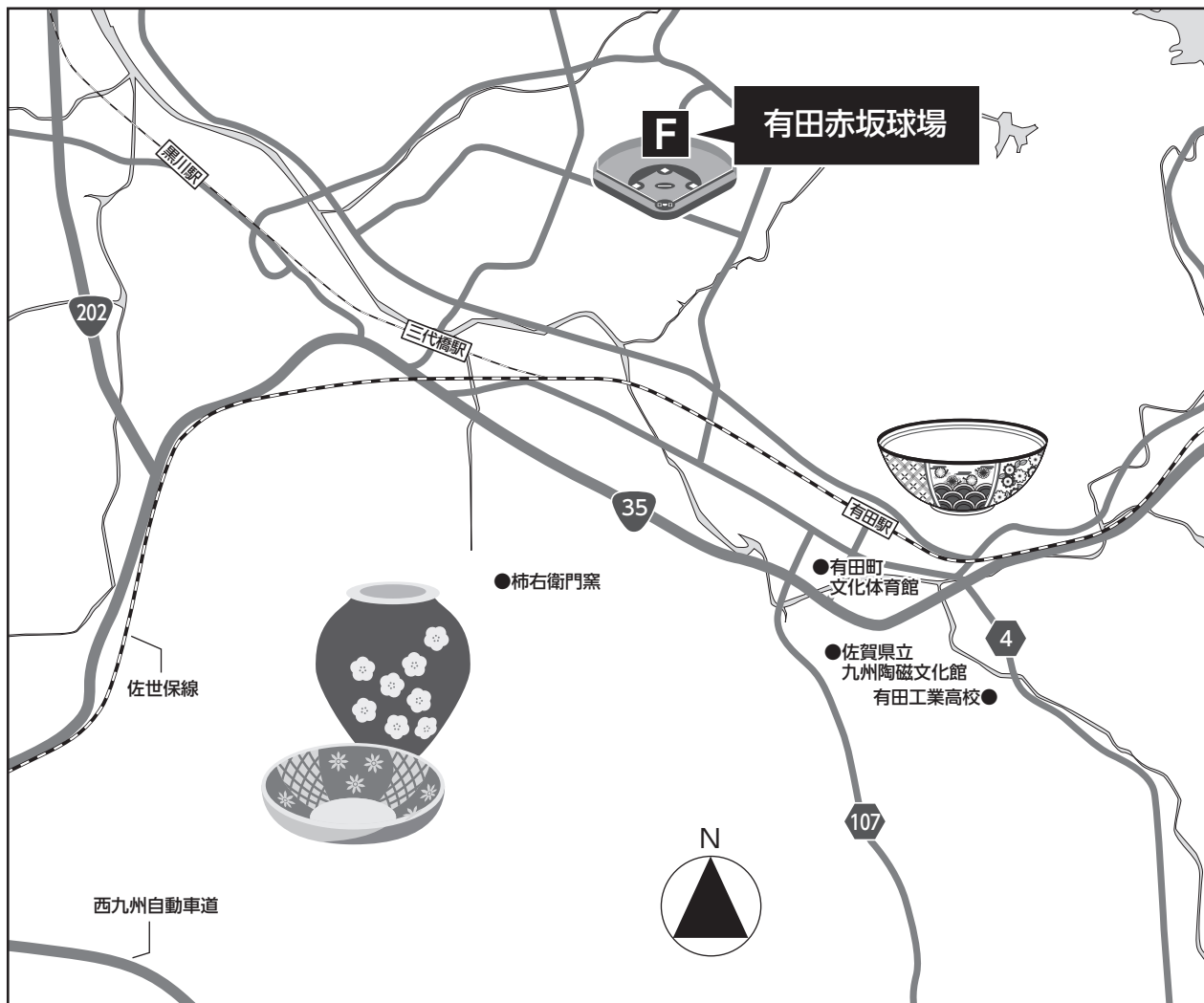
アクセス



– 82 –

各会場案内地図

F 有田赤坂球場



会場所在地

〒844-0024 佐賀県西松浦郡有田町赤坂丙2351番地164 TEL.0955-25-8003

アクセス

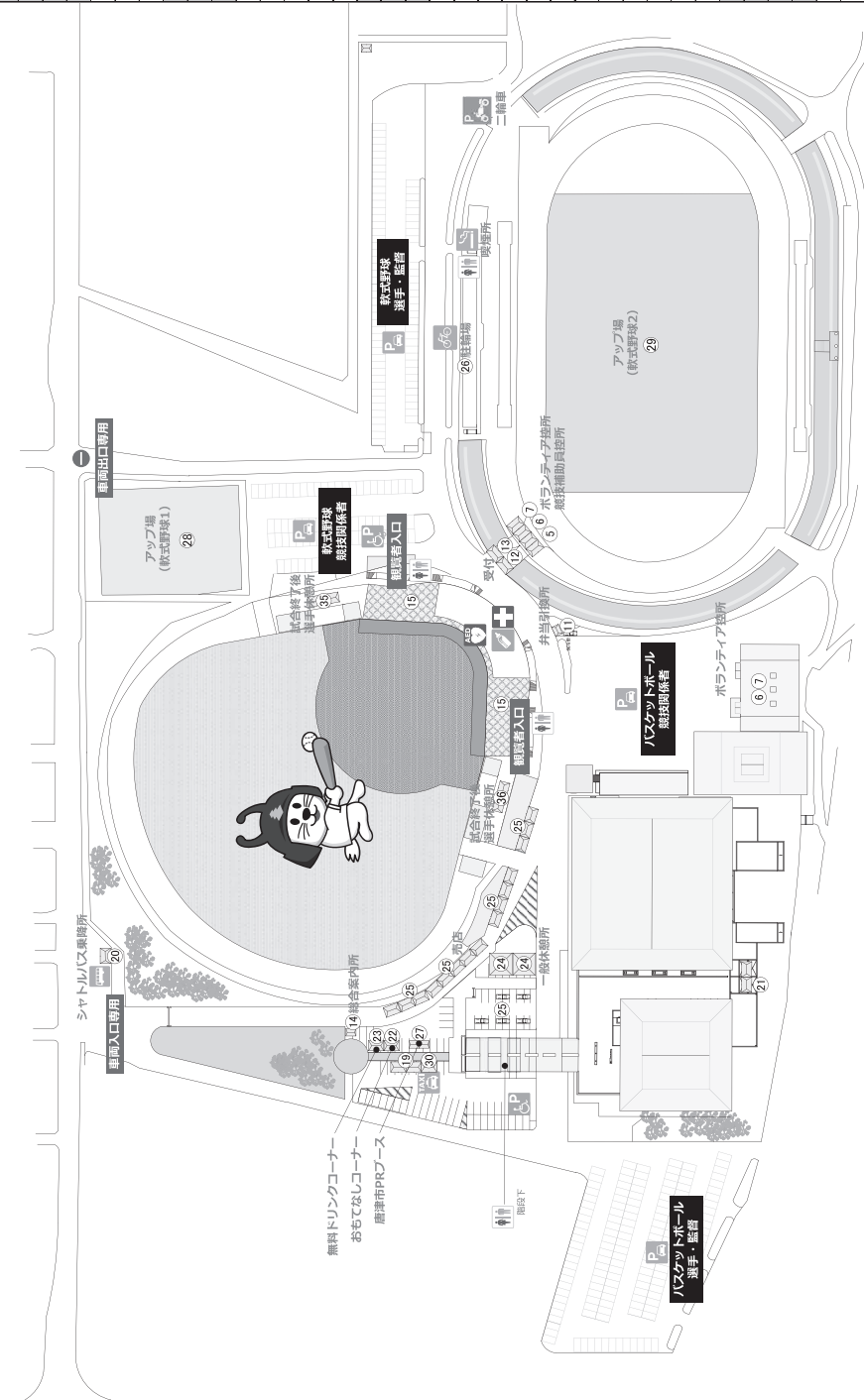
- 【鉄 道 等】 JR佐世保線「有田駅」下車タクシー5分
 - 【路 線 バ ス】 町コミュニティバス／伊万里有田共立病院前「有田赤坂団地西口」下車徒歩5分(平日のみ)
町コミュニティバス／西方線／有田駅前「有田卸団地・アリタセラ」下車徒歩5分(土・日祝のみ)
 - 【シャトルバス】 有田駅より無料運行(JR佐世保行下り到着時刻に合わせ)
 - 【自 家 用 車】 波佐見有田ICから車で10分
 - 【周 辺 駐 車 場】 アリタセラ駐車場 無料200台
- ※詳しくは有田町実行委員会HPをご確認ください。



各会場配置図

A SHOWAハンバーガースタジアム唐津 (唐津市野球場)

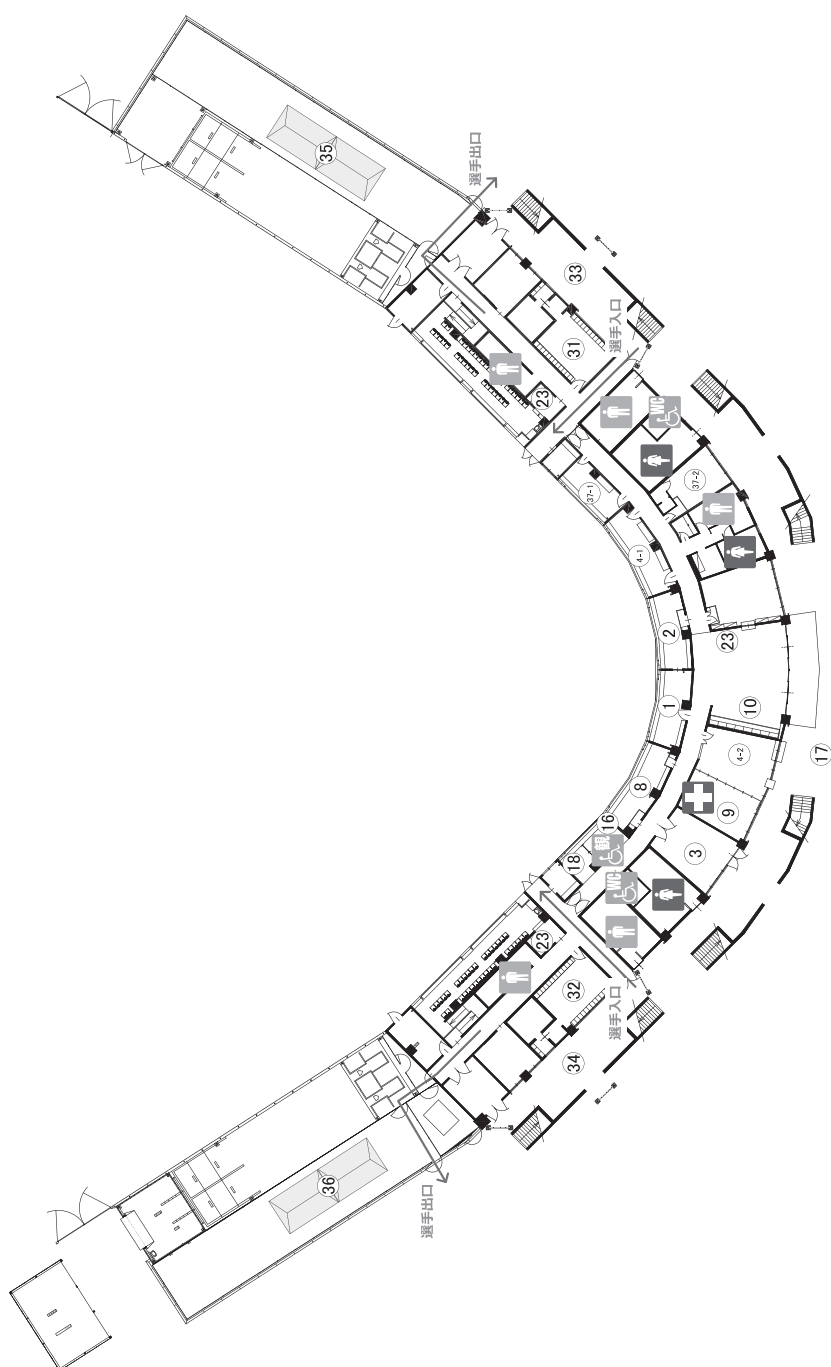
No	施設名称
1	競技本部
2	記録本部
3	実地本部
4-1	競技役員席
4-2	競技役員控室
5	競技補助員控所
6	競技会係員控所
7	ボランティアク所
8	来賓・競技役員席
9	教護室
10	オーダー交換所
11	弁当引換所
12	競技受付
13	行政等受付
14	総合案内所
15	一級観覧席
16	階席
17	記録選報・成績掲示板
18	報道員席
19	輸送交通本部
20	シャトルバス乗降所
21	環境美化係控所
22	おもてなしコーナー
23	無料ドリンクコーナー
24	一般休憩所
25	売店
26	駐輪場
27	唐津市PRブース
28	アップ場 (軟式野球1)
29	アップ場 (軟式野球2)
30	タクシー乗換所
31	選手更衣室 (1塁側)
32	選手更衣室 (3塁側)
33	次試合選手控所 (1塁側)
34	次試合選手控所 (3塁側)
35	試合終了後選手休憩所 (1塁側)
36	試合終了後選手休憩所 (3塁側)
37-1	審判員席
37-2	審判員控室



各会場配置図

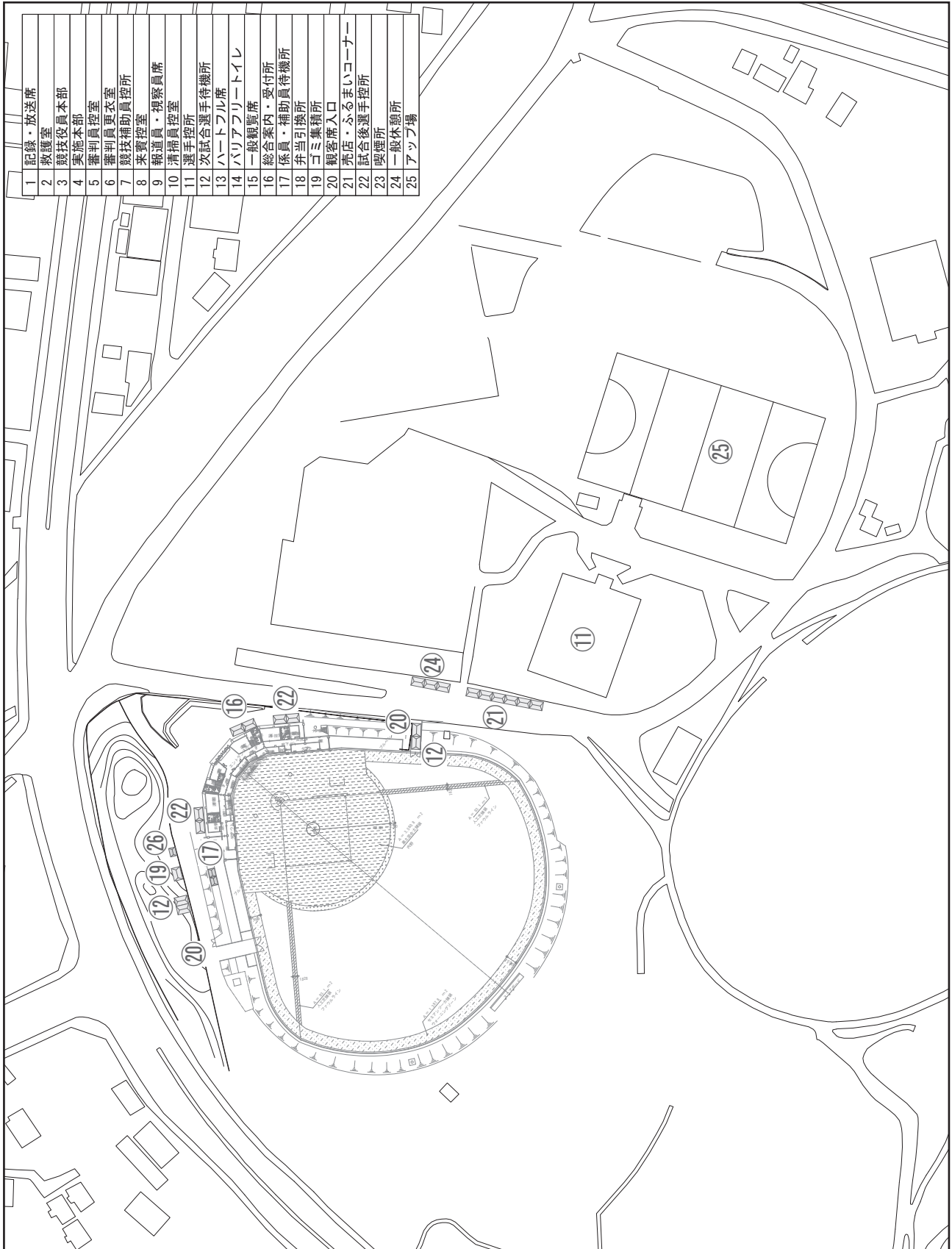
A SHOWAハンバーガースタジアム唐津 (唐津市野球場)

No	施設名称
1	競技本部
2	記録本部
3	実施本部
4-1	競技役員席
4-2	競技役員控室
5	競技補助員控所
6	競技係員控所
7	ポレンティア控所
8	米賀・競技役員席
9	控運室
10	オーター交換所
11	弁当引換所
12	競技受付
13	行政等受付
14	総合案内所
15	一般観覧席
16	福祉席
17	記録速報・成績掲示板
18	報道員席
19	輸送交通本部
20	シャトルバス乗降所
21	環境美化係控所
22	おもてなしコーナー
23	無料ドリンクコーナー
24	一般休憩所
25	売店
26	駐輪場
27	唐津市PRブース
28	アップ場 (軟式野球 1)
29	アップ場 (軟式野球 2)
30	タクシー乗換所
31	選手更衣室 (1 塁側)
32	選手更衣室 (3 塁側)
33	次試合選手控所 (1 塁側)
34	次試合選手控所 (3 塁側)
35	試合終了後選手休憩所 (1 塁側)
36	試合終了後選手休憩所 (3 塁側)
37-1	審判員席
37-2	審判員控室



各会場配置図

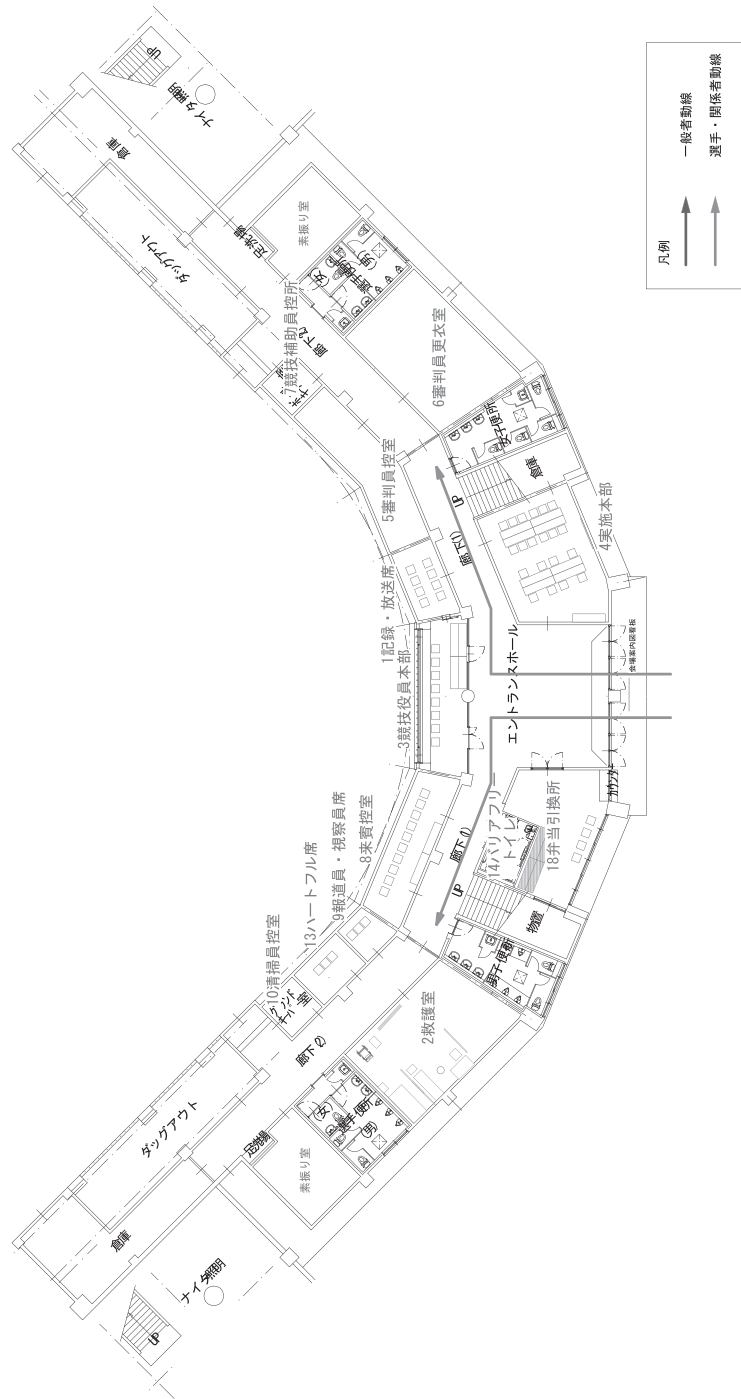
B 伊万里市国見台野球場



各会場配置図

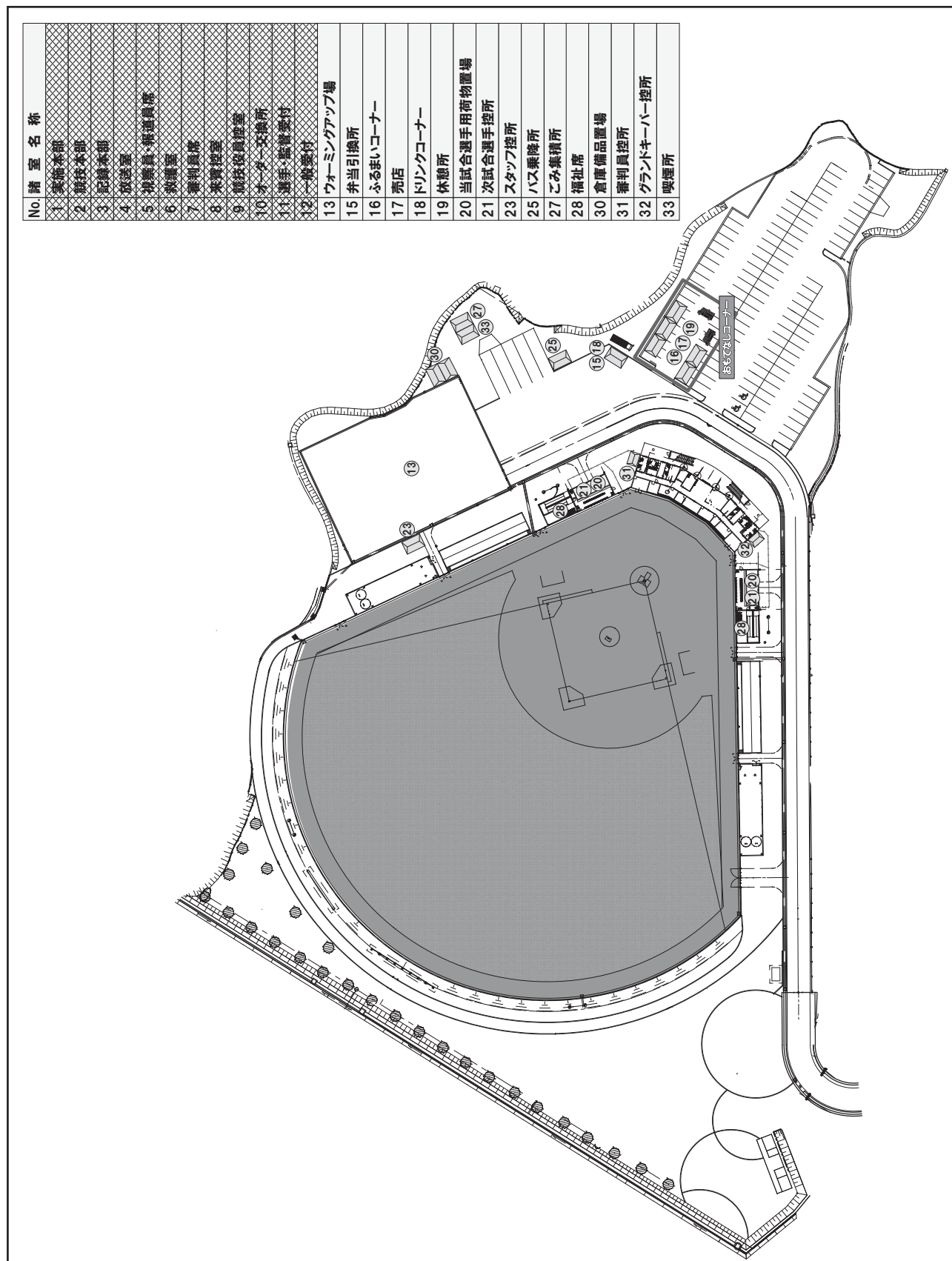
B 伊万里市国見台野球場

1	記録・放送席
2	救護室
3	競技役員本部
4	実施本部
5	審判員控室
6	審判員更衣室
7	競技補助員控所
8	来賓控室
9	報道員・視察員席
10	清掃員控室
11	選手控所
12	次試合選手待機所
13	ハートフル席
14	バリアフリートイレ
15	一般観覧席
16	総合案内・受付所
17	係員・補助員待機所
18	弁当引換所
19	ゴミ集積所
20	観客席入口
21	売店・ふるまいコーナー
22	試合後選手控所
23	喫煙所
24	一般休憩所
25	アップ場



各会場配置図

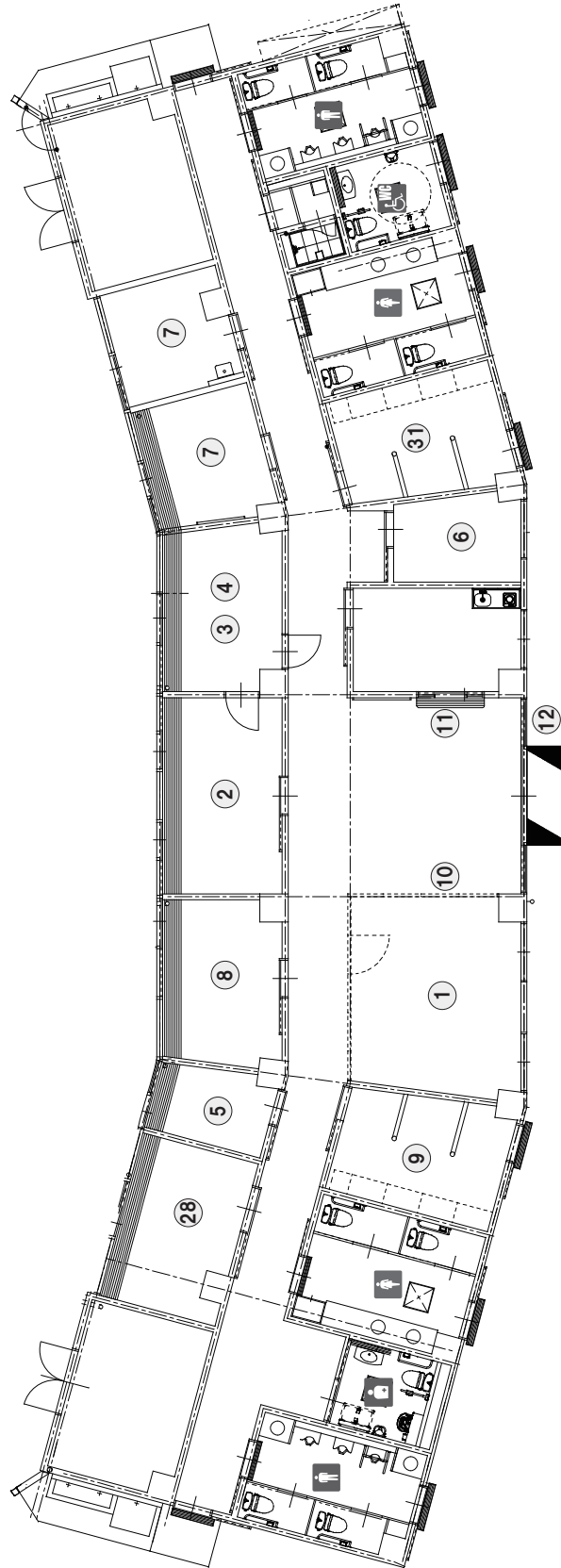
C ひぜしんスタジアム (武雄市民球場)



各会場配置図

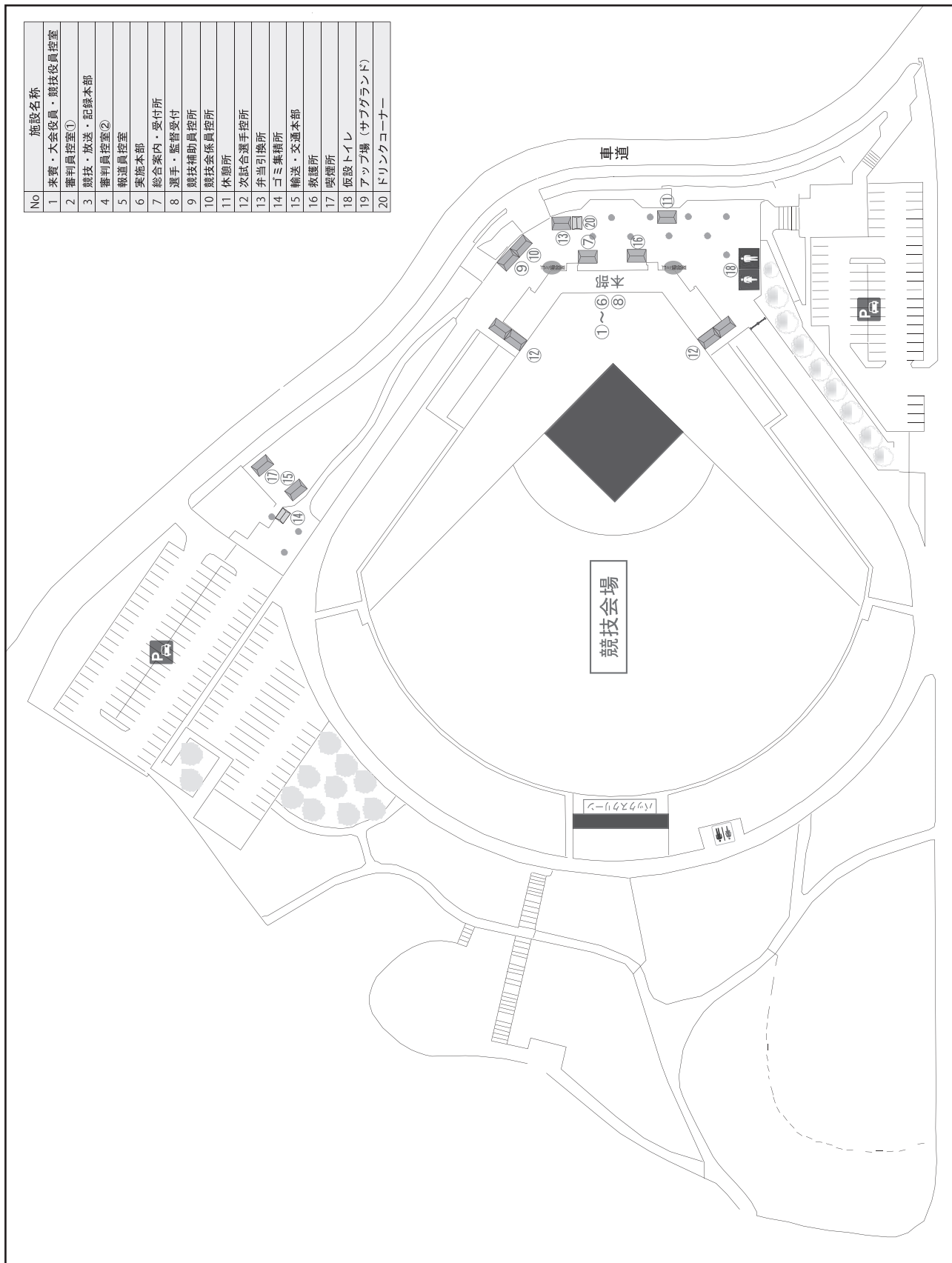
C ひぜしんスタジアム (武雄市民球場)

No.	諸室名称
1	実施本部
2	競技本部
3	記録本部
4	放送室
5	視察員・報道員席
6	救護室
7	審判員席
8	来賓控室
9	競技役員控室
10	オーター交換所
11	選手・監督受付
12	一般受付
13	ウォーミングアップ場
15	弁当引換所
16	ふるまい所
17	商店
18	ドリンクコーナー
19	休憩所
20	当試合選手用荷物置場
21	次試合選手控室
23	スタッフ控所
25	バースルーム
27	ゴミ集積所
28	福祉席
30	貴重物品置場
31	審判員控所
32	クラブハウス・バー控所
33	喫煙所



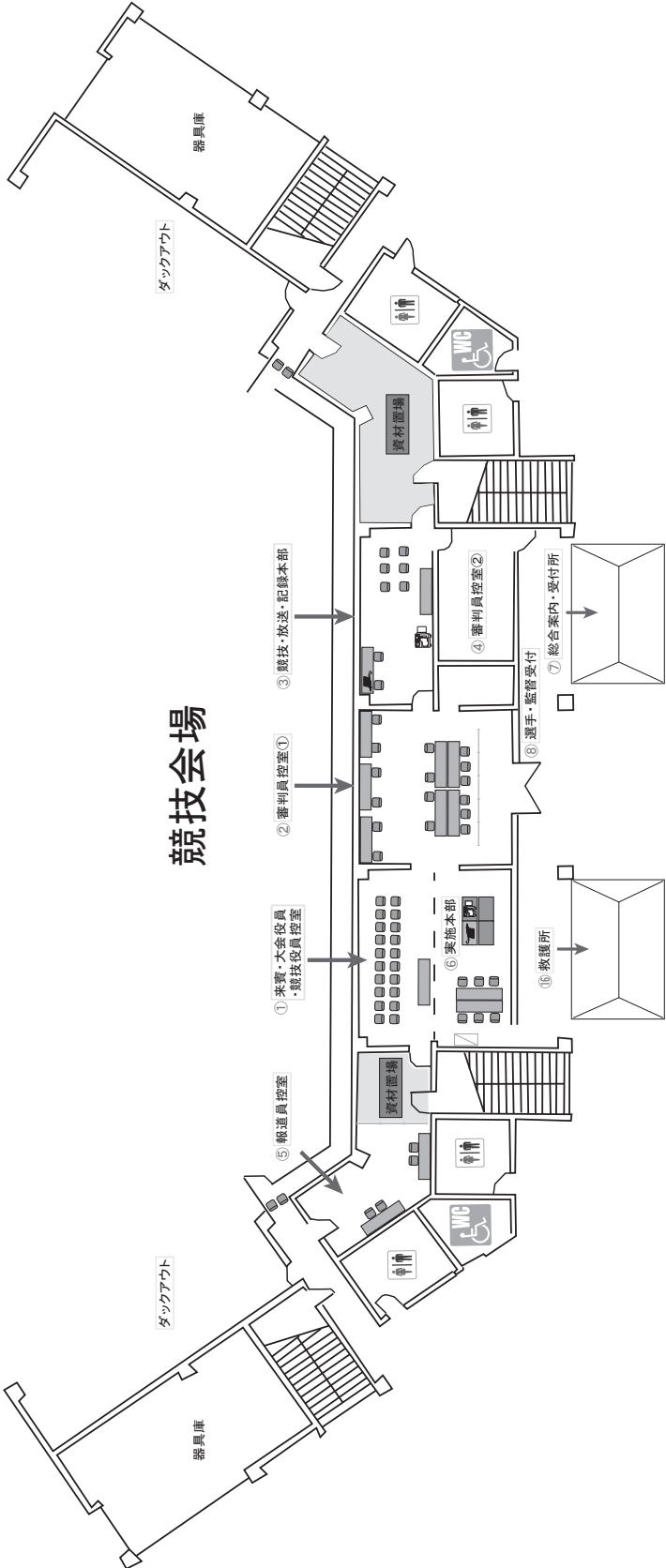
各会場配置図

D 鹿島市民球場



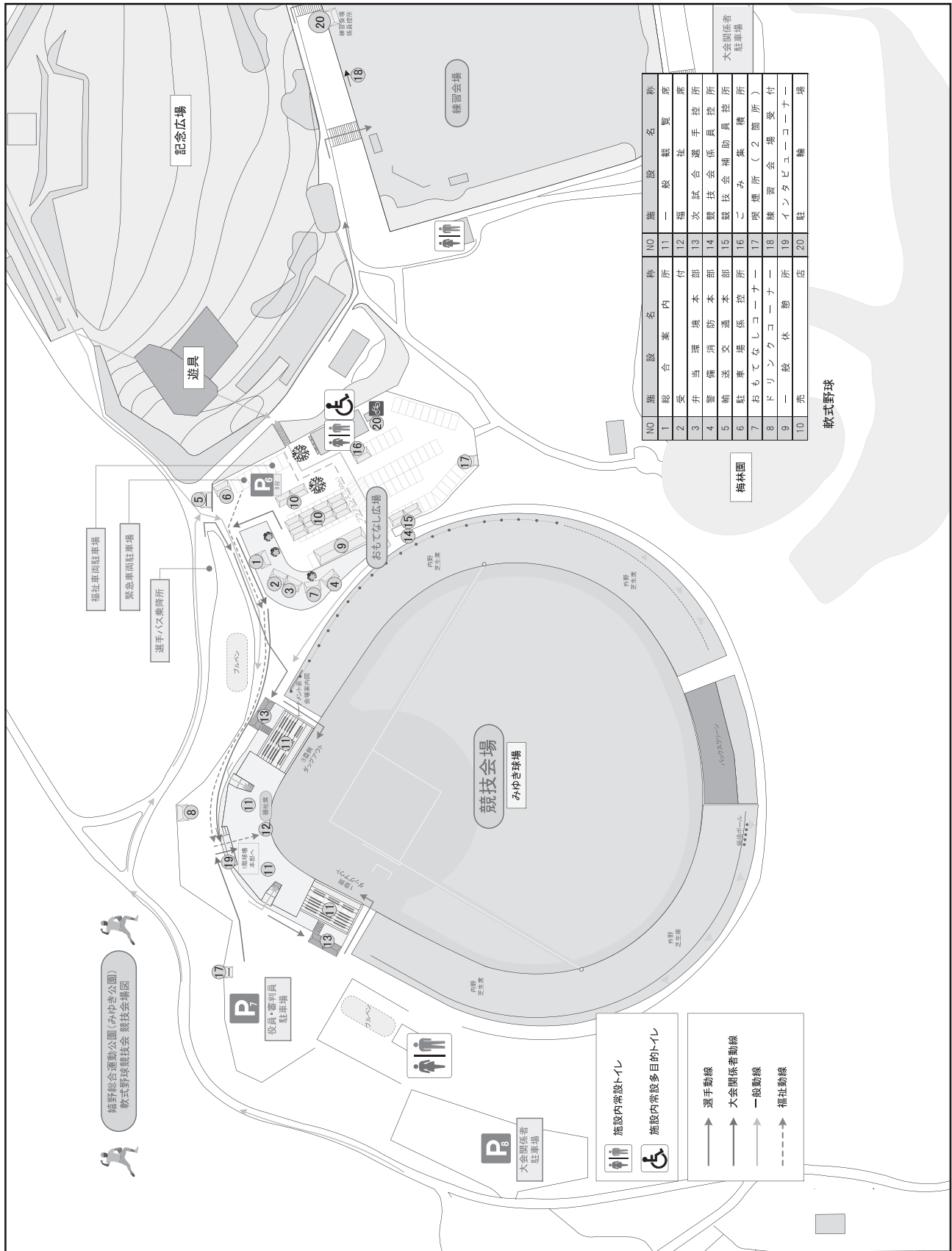
各会場配置図

D 鹿島市民球場

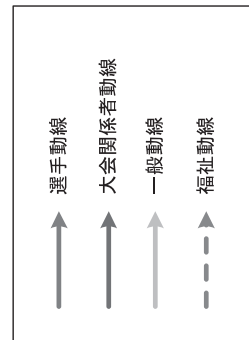


各会場配置図

E 嬉野総合運動公園 (みゆき公園) みゆき球場



E 嬉野総合運動公園 (みゆき公園) みゆき球場

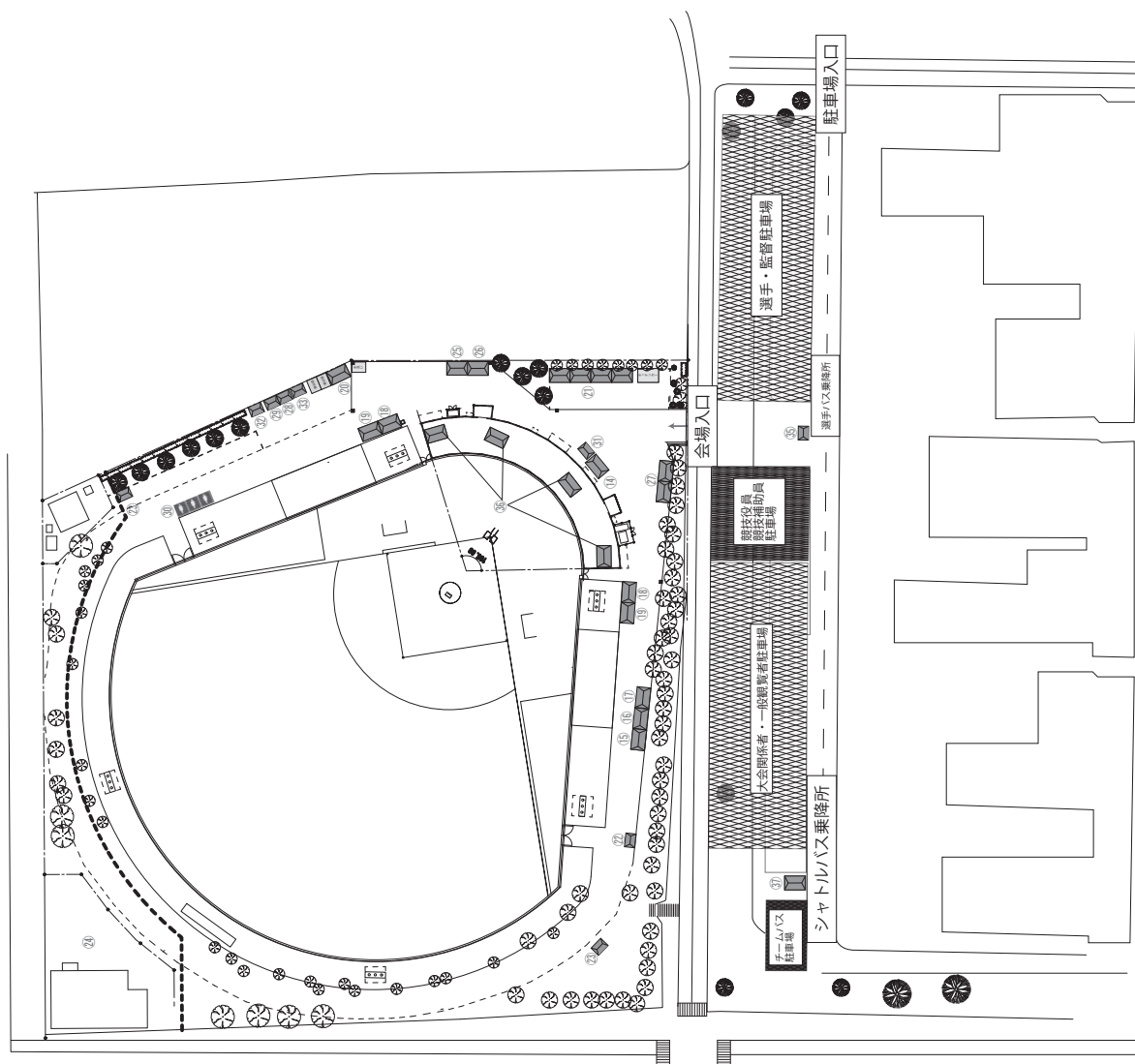


NO	施設	施設名	NO	施設	施設名	NO	施設	施設名	称
1	競技会	実業選手会	6	審判部	審判員	11	選手荷物運搬場	(1塁・3塁)	称
2	教室	実業選手会	7	来賓席	賓席	12	競技補助員	補助員	称
3	競技実業選手会	実業選手会	8	報道部	報道員	13	競技補助員待機所	(1塁・3塁)	称
4	放送室	実業選手会	9	大会役員室	大会役員	14	トシ	トシ	称
5	大会役員室	実業選手会	10	大会役員室	大会役員				

各会場配置図

F 有田赤坂球場

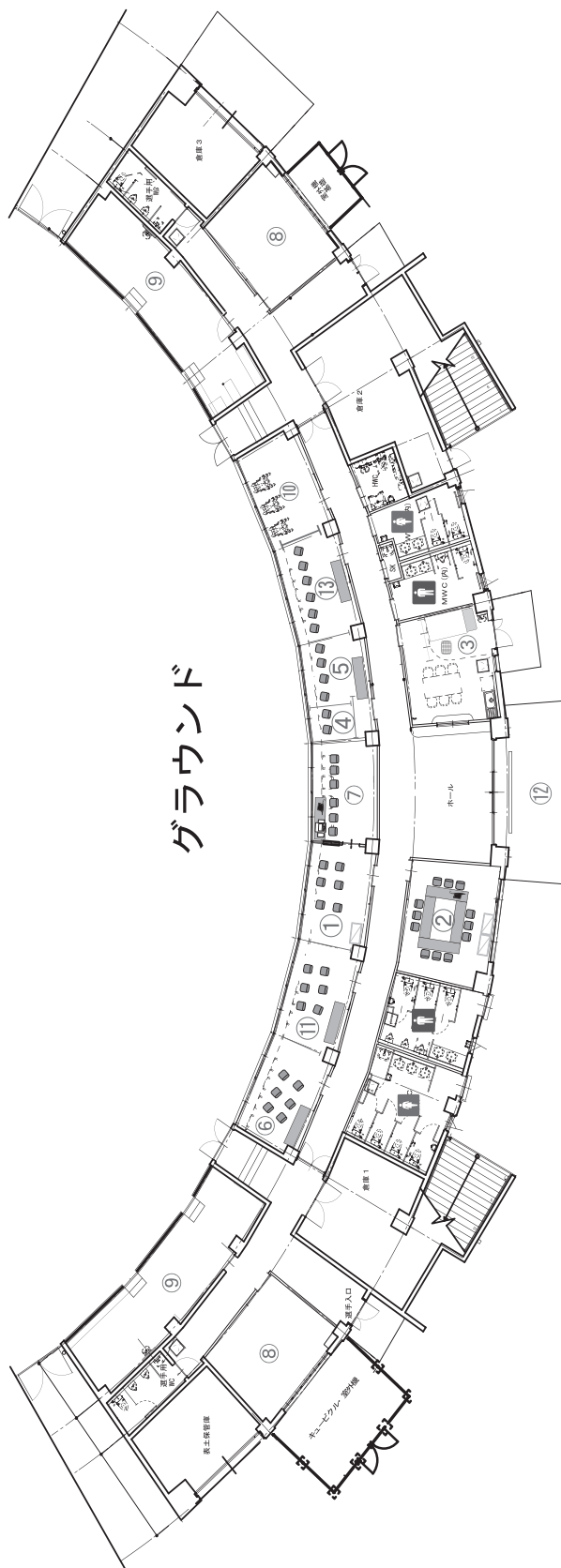
諸室名称	
14 総合案内所・受付所	
15 競技役員控所	
16 競技会係員控所	
17 競技会補助員控所	
18 第二試合選手控所	
19 第三試合選手控所	
20 弁当引換所	
21 売店	
22 ゴミ集積所	
23 喫煙所	
24 ウォーミングアップ場	
25 ふるまい所	
26 ドリンクコーナー	
27 休憩所	
28 輸送・交通本部	
29 消防・警備本部	
30 仮設トイレ	
31 動画配信室	
32 ベビールーム	
33 審判員控所	
34 練習会場	
35 駐車場	
36 観客席	
37 シャトルバス乗降所	



各会場配置図

F 有田赤坂球場

諸室名称	
1	競技本部
2	実施本部
3	救護室
4	動画配信
5	審判員室
6	来賓席
7	記録・放送室
8	更衣室
9	ダックアウト
10	福祉席
11	競技役員室
12	オーダー交換所
13	報道・視察員室



A large circle representing a softball field, with dashed lines forming an 'X' shape from the center to the edges, dividing the field into four quadrants.

軟式野球競技会 参加者名簿



SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

都道府県別参加人数一覧

No.	ブロック名	チーム数	都道府県	監督・選手数			総計
				監督		選手	
				専任	兼任		
1	北海道	1	北海道		(1)	16	16
2	東北	4	青森		(1)	16	16
3			秋田		(1)	16	16
4			山形		(1)	16	16
5			福島		(1)	16	16
6	関東	5	茨城		(1)	16	16
7			埼玉		(1)	16	16
8			千葉		(1)	16	16
9			東京		(1)	16	16
10			神奈川		(1)	16	16
11	北信越	3	長野		(1)	16	16
12			富山	1	()	15	16
13			石川		(1)	16	16
14			福井		(1)	16	16
15	東海	3	静岡		(1)	16	16
16			愛知		(1)	16	16
17			三重		(1)	16	16
18	近畿	4	京都		(1)	16	16
19			大阪		(1)	16	16
20			兵庫		(1)	16	16
21			奈良		(1)	16	16
22	中国	3	島根		(1)	16	16
23			岡山		(1)	16	16
24			広島	1	()	15	16
25	四国	2	香川		(1)	16	16
26			徳島		(1)	16	16
27	九州	5	長崎		(1)	16	16
28			熊本		(1)	16	16
29			大分		(1)	16	16
30			宮崎	1	()	15	16
31			沖縄		(1)	16	16
32	開催県	1	佐賀		(1)	16	16
合 計				3	29	509	512

監督・選手名簿

北海道	JA道央
-----	------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督 / 兼任	野宮 颯	ノミヤ ハヤテ	27	JA道央
2	10	内野手	本庄 芳考	ホンジョウ ヨシタカ	30	JA道央
3	1	内野手	山崎 勇史	ヤマザキ ユウシ	33	JA道央
4	2	外野手	小山 朝陽	コヤマ アサヒ	23	JA道央
5	3	内野手	麻下 拓朗	アサシタ タクロウ	28	JA道央
6	4	内野手	海藤 貴祥	カイドウ タカヒロ	26	JA道央
7	5	内野手	古屋 大樹	フルヤ ダイキ	32	JA道央
8	7	外野手	伊東 良馬	イトウ リョウマ	28	JA道央
9	11	内野手	茶畑 晃	チャバタケ アキラ	32	JA道央
10	13	内野手	森本 祐太	モリモト ユウタ	30	JA道央
11	16	投手	手代木 陸	テシロギ リク	22	JA道央
12	18	投手	小川 良	オガワ リョウ	32	JA道央
13	22	捕手	林 航大	ハヤシ コウダイ	25	JA道央
14	26	内野手	藤原 直樹	フジワラ ナオキ	30	JA道央
15	41	投手	飯田 瑛人	イイダ ヒデト	24	JA道央
16	42	外野手	増田 憂希	マスタ ユウキ	26	JA道央

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

青森県	オール青森
-----	-------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督 / 兼任	塩谷 勲	シオヤ イサオ	35	株式会社 プロクレアホールディングス
2	10	内野手	尾崎 真成	オザキ マナル	28	青い森信用金庫
3	1	内野手	工藤 飛馬	クドウ ヒュウマ	24	東奥信用金庫
4	5	外野手	横山 凌斗	ヨコヤマ リョウト	25	東奥信用金庫
5	8	内野手	島下 大	シマシタ マサル	28	青い森信用金庫
6	9	捕手	高谷 仁志	タカヤ ヒトシ	27	株式会社 プロクレアホールディングス
7	14	投手	長内 優一	オサナイ ユウイチ	24	東北容器工業株式会社
8	15	投手	五日市 駿貴	イツカイチ シュンキ	32	株式会社 プロクレアホールディングス
9	17	投手	下森 一晟	シタモリ イッセイ	29	五戸野球協会
10	18	投手	工藤 奨平	クドウ ショウヘイ	26	青い森信用金庫
11	19	内野手	市川 修斗	イチカワ シュウト	24	青い森信用金庫
12	20	投手	工藤 大地	クドウ リク	28	六ヶ所村スポーツ協会
13	23	外野手	三浦 悠太郎	ミウラ ユウタロウ	27	株式会社 プロクレアホールディングス
14	24	内野手	種市 義永	タネイチ ヨシト	23	東奥信用金庫
15	25	外野手	成田 拓也	ナリタ タクヤ	28	東奥信用金庫
16	27	捕手	福原 朱理	フクハラ シュリ	24	東奥信用金庫

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

秋田県	株式会社宮腰デジタルシステムズ
-----	-----------------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督 / 兼任	小柳 政彦	コヤナギ マサヒコ	33	株式会社 宮腰デジタルシステムズ
2	10	内野手	鈴木 健太	スズキ ケンタ	27	株式会社 宮腰デジタルシステムズ
3	0	内野手	佐藤 星太	サトウ セイタ	27	株式会社 宮腰デジタルシステムズ
4	2	捕手	千葉 天馬	チバ テンマ	27	株式会社 宮腰デジタルシステムズ
5	5	内野手	高橋 享輔	タカハシ キョウスケ	26	株式会社 宮腰デジタルシステムズ
6	6	内野手	高橋 夏南人	タカハシ カナト	24	猿田興業株式会社
7	7	外野手	佐藤 凜汰	サトウ リンタ	22	株式会社 宮腰デジタルシステムズ
8	9	内野手	小番 大輝	コツガイ ダイキ	32	全国農業協同組合連合会 秋田県本部
9	17	投手	山口 翔太	ヤマグチ ショウタ	30	全農物流株式会社
10	18	投手	松本 春輝	マツモト ハルキ	23	株式会社 宮腰デジタルシステムズ
11	19	投手	古屋 拓巳	フルヤ タクミ	24	猿田興業株式会社
12	22	捕手	加賀 竜太	カガ リュウタ	32	全国農業協同組合連合会 秋田県本部
13	23	外野手	伊藤 将志	イトウ マサシ	24	株式会社 宮腰デジタルシステムズ
14	25	外野手	加藤 真隆	カトウ マサタカ	27	全国農業協同組合連合会 秋田県本部
15	32	外野手	赤川 駿	アカガワ シュン	26	株式会社 宮腰デジタルシステムズ
16	39	内野手	若松 凜	ワカマツ リン	23	株式会社 宮腰デジタルシステムズ

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

山形県	公徳会佐藤病院
-----	---------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督 / 兼任	中村 大輔	ナカムラ ダイスケ	35	公徳会佐藤病院
2	10	外野手	谷口 聡	タニグチ サトシ	30	公徳会佐藤病院
3	0	内野手	伊藤 信弥	イトウ シンヤ	26	公徳会佐藤病院
4	2	捕手	高橋 翼	タカハシ ツバサ	24	公徳会佐藤病院
5	3	内野手	樋口 真大	ヒグチ マサヒロ	36	公徳会佐藤病院
6	4	内野手	武田 渉	タケダ ワタル	34	公徳会佐藤病院
7	6	外野手	大泉 真央	オオイズミ マオ	37	公徳会佐藤病院
8	8	外野手	村上 淳哉	ムラカミ ジュンヤ	24	公徳会佐藤病院
9	9	内野手	長内 秀介	オサナイ シュウスケ	36	公徳会佐藤病院
10	11	投手	後藤 功樹	ゴトウ イサキ	21	公徳会佐藤病院
11	13	投手	清水 駿	シミズ シュン	24	公徳会佐藤病院
12	16	投手	島貫 健太郎	シマヌキ ケンタロウ	22	公徳会佐藤病院
13	19	投手	丹野 拓海	タンノ タクミ	27	公徳会佐藤病院
14	22	捕手	市野 典秀	イチノ ノリヒデ	29	公徳会佐藤病院
15	24	外野手	平 五陸	タイラ ゴリク	33	公徳会佐藤病院
16	27	外野手	土田 拓弥	ツチダ タクヤ	29	公徳会佐藤病院

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

福島県	株式会社相双リテック
-----	------------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	佐藤 大輝	サトウ ダイキ	30	株式会社相双リテック
2	10	捕手	本田 幸輝	ホンダ コウキ	29	株式会社相双リテック
3	1	投手	渡邊 貴大	ワタナベ タカヒロ	30	株式会社相双リテック
4	2	外野手	青山 優太	アオヤマ ユウタ	22	株式会社相双リテック
5	3	内野手	小泉 拓	コイズミ タク	23	株式会社相双リテック
6	5	内野手	佐々木 俊輔	ササキ シュンスケ	22	株式会社相双リテック
7	6	内野手	南口 友貴	ミナミグチ ユウキ	24	株式会社相双リテック
8	7	外野手	北野 凱士	キタノ カイシ	22	株式会社相双リテック
9	9	内野手	辻本 那智	ツジモト ナチ	28	株式会社相双リテック
10	16	投手	小林 弘樹	コバヤシ ヒロキ	34	株式会社相双リテック
11	18	投手	竹田 葵	タケダ アオイ	23	株式会社相双リテック
12	19	捕手	播磨 雄大	ハリマ ユウダイ	22	株式会社相双リテック
13	21	投手	本馬 亮平	ホンマ リョウヘイ	26	株式会社相双リテック
14	24	外野手	木村 哲汰	キムラ テッタ	24	株式会社相双リテック
15	25	外野手	寺田 一貴	テラダ カズキ	31	株式会社相双リテック
16	27	捕手	成田 大輝	ナリタ ダイキ	23	株式会社相双リテック

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

茨城県	関彰商事株式会社
-----	----------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	豊島 賢人	トヨシマ ヨシヒト	30	株式会社常陽銀行
2	10	外野手	飯田 涼太	イイダ リョウタ	24	関彰商事株式会社
3	1	外野手	芹澤 祐馬	セリザワ ユウマ	33	関彰商事株式会社
4	2	捕手	提箸 琉希也	サゲハシ ルキヤ	22	関彰商事株式会社
5	3	内野手	石島 温太	イシジマ ハルタ	23	関彰商事株式会社
6	6	内野手	皆神 裕平	ミナカミ ユウヘイ	26	関彰商事株式会社
7	7	内野手	石井 達也	イシイ タツヤ	26	関彰商事株式会社
8	8	内野手	大崎 凌輔	オオサキ リョウスケ	23	関彰商事株式会社
9	9	内野手	石橋 利生	イシバシ リキ	29	関彰商事株式会社
10	11	投手	高崎 雄太	タカサキ ユウタ	28	株式会社常陽銀行
11	14	投手	瀧 功聖	タキ コウセイ	25	日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所
12	16	外野手	飯島 良太	イイジマ リョウタ	27	関彰商事株式会社
13	18	投手	矢萩 陽一朗	ヤハギ ヨウイチロウ	24	関彰商事株式会社
14	19	投手	前田 彬	マエダ アキラ	25	関彰商事株式会社
15	24	捕手	松本 航輝	マツモト コウキ	24	関彰商事株式会社
16	27	捕手	佐藤 史龍	サトウ シリュウ	29	株式会社常陽銀行

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

埼玉県	株式会社旭製作所
-----	----------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督 / 兼任	島田 太志	シマダ タイシ	37	株式会社旭製作所
2	10	捕手	清水 新	シミズ アラタ	27	株式会社旭製作所
3	1	外野手	原 光貴	ハラ ミツキ	24	株式会社旭製作所
4	2	外野手	古家 武	フルヤ タケル	23	株式会社旭製作所
5	3	内野手	樋口 勇次	ヒグチ ユウジ	26	株式会社旭製作所
6	4	内野手	阿部 鳳稀	アベ フウキ	23	株式会社旭製作所
7	5	内野手	伊藤 貴大	イトウ タカヒロ	33	株式会社旭製作所
8	6	内野手	狩野 拓人	カリノ タクト	27	株式会社旭製作所
9	7	内野手	東小橋川 大	アリコバシカワ ダイ	23	株式会社旭製作所
10	8	外野手	石井 大貴	イシイ タイキ	26	大陽ステンレススプリング株式会社
11	9	内野手	福井 駿	フクイ シュン	22	株式会社旭製作所
12	14	投手	高橋 勝海	タカハシ カツミ	27	株式会社旭製作所
13	16	投手	須佐見 将馬	スサミ ショウマ	28	株式会社旭製作所
14	19	投手	鈴木 友也	スズキ ユウヤ	27	埼玉県信用金庫
15	22	外野手	濱田 優弥	ハマダ ユウヤ	23	株式会社旭製作所
16	25	捕手	竹本 江希	タケモト コウキ	22	株式会社旭製作所

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

千葉県	昱 株式会社
-----	--------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	岡本 拓哉	オカモト タクヤ	34	昱 株式会社
2	10	外野手	藤井 一輝	フジイ カズキ	30	昱 株式会社
3	1	外野手	安田 寿明	ヤスダ トシアキ	27	昱 株式会社
4	3	内野手	廣岡 翔太	ヒロオカ ショウタ	30	昱 株式会社
5	5	内野手	森光 勇星	モリミツ ユウセイ	27	昱 株式会社
6	6	内野手	西田 崇晃	ニシダ タカアキ	32	昱 株式会社
7	7	外野手	森本 玲委也	モリモト レイヤ	24	昱 株式会社
8	9	外野手	竹谷 翔吾	タケタニ ショウゴ	26	昱 株式会社
9	13	投手	中川 翔	ナカガワ ショウ	32	昱 株式会社
10	15	投手	丸山 雄大	マルヤマ ユウダイ	32	昱 株式会社
11	18	投手	高井 ジュリアン	タカイ ジュリアン	27	昱 株式会社
12	21	投手	沖垣 泰史	オキガキ タイシ	30	昱 株式会社
13	25	外野手	坂本 司	サカモト ツカサ	23	昱 株式会社
14	26	内野手	毛利 友騎	モウリ ユウキ	21	昱 株式会社
15	27	捕手	久保田 勇眞	クボタ ユウマ	31	昱 株式会社
16	36	内野手	久保田 碧人	クボタ アオト	24	昱 株式会社

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

東京都	キャプティ
-----	-------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	阿部 雄二	アベ ユウジ	30	キャプティ
2	10	外野手	加藤 元気	カトウ ゲンキ	25	キャプティ
3	2	捕手	関根 淳	セキネ ジュン	34	キャプティ
4	3	内野手	岩石 秀喜	イワイシ ヒデキ	27	キャプティ
5	5	内野手	内田 遼汰	ウチダ リョウタ	29	キャプティ
6	6	外野手	木村 瑠惟	キムラ ルイ	26	株式会社スリーボン
7	7	内野手	森 竣亮	モリ シュンスケ	24	キャプティ
8	8	外野手	山本 瞬	ヤマモト シュン	28	キャプティ
9	9	外野手	伊藤 佳史	イトウ ヨシフミ	26	キャプティ
10	13	捕手	高橋 建心	タカハシ ケンシン	22	キャプティ
11	15	投手	八幡 拓希	ヤワタ ヒロキ	24	キャプティ
12	16	投手	小曾根 圭吾	コソネ ケイゴ	29	キャプティ
13	18	投手	遠藤 稔	エンドウ ミノル	25	キャプティ
14	19	投手	森山 大成	モリヤマ タイセイ	28	キャプティ
15	22	捕手	高橋 遼	タカハシ リョウ	24	キャプティ
16	23	内野手	佐藤 輝太	サトウ コウダイ	25	キャプティ

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

神奈川県	日立Astemo(株)厚木工場
------	-----------------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督 / 兼任	見目 雅哉	ケンモク マサヤ	29	日立Astemo(株)厚木工場
2	10	内野手	清水 頌太	シミズ ショウタ	26	日立Astemo(株)厚木工場
3	1	外野手	大場 翔太	オオバ ショウタ	30	日立Astemo(株)厚木工場
4	3	外野手	長田 有司	オサダ ユウジ	26	日立Astemo(株)厚木工場
5	4	内野手	日原 真心	ヒハラ シン	20	日立Astemo(株)厚木工場
6	6	内野手	今田 典志	イマダ テンシ	28	日立Astemo(株)厚木工場
7	8	内野手	竹田 紀仁	タケダ ノリヒト	32	日立Astemo(株)厚木工場
8	9	外野手	小磯 和貴	コイソ カズキ	26	日立Astemo(株)厚木工場
9	11	投手	清水 彰仁	シミズ アキヒト	32	日立Astemo(株)厚木工場
10	13	内野手	鈴木 朝也	スズキ トモヤ	33	日立Astemo(株)厚木工場
11	14	内野手	橋本 友樹	ハシモト トモキ	30	日立Astemo(株)厚木工場
12	19	投手	土井 大輝	ドイ ヒロキ	26	日立Astemo(株)厚木工場
13	21	投手	北川 裕登	キタガワ ユウト	25	日立Astemo(株)厚木工場
14	22	捕手	堀尾 敬太	ホリオ ケイタ	27	日立Astemo(株)厚木工場
15	25	捕手	太田 良平	オオタ リョウヘイ	22	日立Astemo(株)厚木工場
16	26	外野手	竹原 優真	タケハラ ユウマ	29	日立Astemo(株)厚木工場

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

長野県	チームながの
-----	--------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督 / 兼任	堤 謙吾	ツツミ ケンゴ	36	セイコーエプソン株式会社
2	10	内野手	北澤 健二郎	キタザワ ケンジロウ	33	JA長野厚生連 長野松代総合病院
3	0	外野手	黒岩 広夢	クロイワ ヒロム	27	株式会社マルニシ
4	1	外野手	金澤 直樹	カナザワ ナオキ	36	JA長野厚生連 長野松代総合病院
5	5	内野手	坂巻 智大	サカマキ トモヒロ	29	JA長野厚生連 佐久総合病院
6	6	内野手	池田 秀弥	イケダ ヒデヤ	33	JA長野厚生連 長野松代総合病院
7	7	外野手	大熊 慎也	オオクマ シンヤ	30	JA長野厚生連 長野松代総合病院
8	8	内野手	川上 克也	カワカミ カツヤ	26	松本市役所
9	11	投手	三澤 直也	ミサワ ナオヤ	22	ルビコン株式会社
10	12	投手	原田 健太	ハラダ ケンタ	25	株式会社マナテック
11	15	外野手	今井 凜平	イマイ リンペイ	24	JA長野厚生連 長野松代総合病院
12	17	内野手	園田 大己	ソノタ ヒロキ	30	ルビコン株式会社
13	18	投手	八幡 宥喜	ヤハタ ユウキ	27	ルビコン株式会社
14	21	投手	宮島 右京	ミヤジマ ウキョウ	28	あずみ農業協同組合
15	22	捕手	大和久 竣矢	オオワク シュンヤ	23	ルビコン株式会社
16	27	捕手	徳光 拓馬	トクミツ タクマ	25	JA長野厚生連 長野松代総合病院

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

富山県	武内プレス工業株式会社
-----	-------------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 専任	河原 光	カワハラ ヒカル	35	武内プレス工業(株)
2	10	内野手	平石 誉	ヒライシ ホマレ	27	武内プレス工業(株)
3	1	外野手	黒田 俊斗	クロダ シュント	24	武内プレス工業(株)
4	2	外野手	干場 輝	ホシバ ヒカル	24	武内プレス工業(株)
5	6	内野手	菊地 康之介	キクチ コウノスケ	22	武内プレス工業(株)
6	7	内野手	放生 大地	ホウジョウ ダイチ	19	武内プレス工業(株)
7	8	内野手	影山 大輔	カゲヤマ ダイスケ	19	武内プレス工業(株)
8	9	内野手	成瀬 和希	ナリセ カズキ	18	武内プレス工業(株)
9	11	投手	笹岡 丈二	ササオカ ジョウジ	22	武内プレス工業(株)
10	12	捕手	横山 惇	ヨコヤマ アツシ	21	武内プレス工業(株)
11	17	投手	河野 哲平	カワノ テッペイ	24	武内プレス工業(株)
12	18	投手	須山 瑛史	スヤマ アキフミ	25	武内プレス工業(株)
13	22	投手	山本 利樹	ヤマモト トシキ	28	武内プレス工業(株)
14	24	外野手	福本 万真	フクモト カズマ	23	武内プレス工業(株)
15	25	外野手	藤岡 愛斗	フジオカ マナト	18	武内プレス工業(株)
16	27	捕手	布施 雄基	フセ ユウキ	34	武内プレス工業(株)

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

石川県	コマニー株式会社
-----	----------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	山岸 裕介	ヤマギシ ユウスケ	31	コマニー株式会社
2	10	外野手	石田 翔一	イシタ ショウイチ	27	コマニー株式会社
3	1	内野手	谷口 一平	タニグチ イッペイ	29	コマニー株式会社
4	2	内野手	中山 海斗	ナカヤマ カイト	26	コマニー株式会社
5	3	捕手	湯浅 健史	ユアサ ケンシ	19	小松マテーレ株式会社
6	5	内野手	土上 弘喜	ツチガミ コウキ	28	コマニー株式会社
7	6	内野手	中村 康汰	ナカムラ コウタ	25	小松マテーレ株式会社
8	7	内野手	宮本 湧公	ミヤモト ワク	25	コマニー株式会社
9	8	外野手	星場 皐聖	ホシバ レイセイ	23	コマニー株式会社
10	9	外野手	池上 泰斗	イケガミ タイト	25	コマニー株式会社
11	13	外野手	鯉田 啓介	ナマズタ ケイスケ	23	コマニー株式会社
12	14	投手	室田 祥吾	ムロダ ショウゴ	23	コマニー株式会社
13	18	投手	木村 幸四郎	キムラ コウシロウ	26	コマニー株式会社
14	20	投手	高田 竜星	タカタ リュウセイ	21	コマニー株式会社
15	21	投手	琴浦 翔	コトウラ カケル	25	コマニー株式会社
16	27	捕手	入谷 直希	イリタニ ナオキ	24	コマニー株式会社

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

福井県	セーレン株式会社
-----	----------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	佐野 憲一	サノ ケンイチ	39	セーレン株式会社
2	10	外野手	小柳 利貴	オヤナギ トシキ	27	セーレン株式会社
3	0	内野手	沢寄 一輝	サワザキ カズキ	22	セーレン株式会社
4	1	内野手	荒川 恭平	アラカワ キョウヘイ	30	セーレン株式会社
5	2	内野手	細川 雅生	ホソカワ マサキ	30	セーレン株式会社
6	3	内野手	三田 太基	ミタ タイキ	24	セーレン株式会社
7	5	内野手	西 和哉	ニシ カズヤ	30	セーレン株式会社
8	6	内野手	廣橋 敬大	ヒロハシ ケイダイ	26	セーレン株式会社
9	7	外野手	森下 壺斗	モリシタ イット	22	セーレン株式会社
10	8	外野手	佐藤 勇斗	サトウ ユウト	24	セーレン株式会社
11	14	投手	武盛 智樹	タケモリ トモキ	23	セーレン株式会社
12	17	投手	坂口 敦也	サカグチ アツヤ	22	セーレン株式会社
13	18	投手	宇野 貴也	ウノ タカヤ	26	セーレン株式会社
14	21	投手	小林 優大	コバヤシ ユウタ	27	セーレン株式会社
15	22	捕手	田中 宏樹	タナカ ヒロキ	29	セーレン株式会社
16	24	内野手	上坂 拓也	ウエサカ タクヤ	27	セーレン株式会社

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

静岡県	静岡ガス株式会社
-----	----------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	志田 卓也	シダ タクヤ	35	静岡ガス株式会社
2	10	投手	小井 敬宏	コイ タカヒロ	32	静岡ガス株式会社
3	2	捕手	内山 直哉	ウチヤマ ナオヤ	24	静岡ガス株式会社
4	3	内野手	堀 慶一郎	ホリ ケイイチロウ	25	静岡ガス株式会社
5	4	内野手	望月 章至	モチヅキ マサユキ	31	静岡ガス株式会社
6	5	内野手	横田 光輝	ヨコタ コウキ	26	静岡ガス株式会社
7	6	内野手	木村 聡司	キムラ サトシ	27	静岡ガス株式会社
8	7	外野手	榛村 大吾	シンムラ ダイゴ	23	静岡ガス株式会社
9	8	外野手	瀧本 聖也	タキモト セイヤ	35	静岡ガス株式会社
10	11	投手	安藤 晋作	アンドウ シンサク	30	静岡ガス株式会社
11	13	外野手	夏賀 貞伍	ナツガ テイゴ	22	静岡ガス株式会社
12	14	投手	落合 竜杜	オチアイ リュウト	25	静岡ガス株式会社
13	15	投手	鈴木 健介	スズキ ケンスケ	22	静岡ガス株式会社
14	21	投手	竹内 武司	タケウチ タケシ	28	静岡ガス株式会社
15	22	捕手	増田 来希	マスダ ライキ	26	静岡ガス株式会社
16	24	外野手	渡邊 洋平	ワタナベ ヨウヘイ	34	静岡ガス株式会社

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

愛知県	G T R ニ ッ セ イ
-----	---------------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督 / 兼任	廣田 修治	ヒロタ シュウジ	34	株式会社ニッセイ
2	10	外野手	原田 知希	ハラダ トモキ	26	株式会社ニッセイ
3	1	内野手	荒木 勇作	アラキ ユウサク	26	株式会社ニッセイ
4	3	内野手	濱元 大希	ハマモト ダイキ	26	株式会社ニッセイ
5	4	内野手	大平 夏輝	オオヒラ ナツキ	28	株式会社ニッセイ
6	6	内野手	鈴木 健太	スズキ ケンタ	23	株式会社ニッセイ
7	7	内野手	倉地 茂雄	クラチ シゲオ	31	株式会社ニッセイ
8	8	外野手	広瀬 将	ヒロセ マサル	25	株式会社ニッセイ
9	12	外野手	田中 雄也	タナカ ユウヤ	29	株式会社ニッセイ
10	13	外野手	高木 祥宏	タカギ ヨシヒロ	28	株式会社ニッセイ
11	14	投手	三浦 勝志	ミウラ カツシ	33	株式会社ニッセイ
12	15	投手	中島 蒼馬	ナカシマ ソウマ	24	株式会社ニッセイ
13	18	投手	縄田 渉	ナワダ ワタル	22	株式会社ニッセイ
14	22	捕手	大野 竜也	オオノ タツヤ	23	株式会社ニッセイ
15	25	外野手	板倉 駆	イタクラ カケル	22	株式会社ニッセイ
16	27	投手	森 祐輔	モリ ユウスケ	29	株式会社ニッセイ

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

三重県	レッドゴブリンズ
-----	----------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	野崎 新矢	ノザキ シンヤ	29	H o n d a 鈴鹿
2	10	内野手	石城 賢人	イシキ ケント	31	レッドゴブリンズ
3	0	内野手	妹背 達哉	イモセ タツヤ	31	レッドゴブリンズ
4	1	内野手	島村 諭史	シマムラ サトシ	30	レッドゴブリンズ
5	3	内野手	松下 祐人	マツシタ ユウト	24	H o n d a 鈴鹿
6	5	外野手	小林 大介	コバヤシ ダイスケ	23	N T N 桑名
7	6	内野手	松井 智啓	マツイ トモタカ	29	レッドゴブリンズ
8	8	外野手	吉川 滉貴	ヨシカワ コウキ	27	レッドゴブリンズ
9	9	外野手	木村 祐太	キムラ ユウタ	20	レッドゴブリンズ
10	12	捕手	中尾 健聖	ナカオ ケンセイ	30	J A みえきた
11	13	外野手	中尾 優斗	ナカオ ユウト	30	R ・ O ・ V
12	14	投手	佐野 涼太	サノ リョウタ	26	パナソニック四日市
13	15	外野手	岡部 直人	オカベ ナオト	30	N T N 桑名
14	17	投手	大須賀 健祐	オオスカ ケンスケ	23	J A みえきた
15	25	投手	水谷 優	ミズタニ ユウ	25	パナソニック四日市
16	26	投手	清水 大嗣	シミズ ダイシ	33	弾丸ボーイズ

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

京都府	佐川印刷株式会社
-----	----------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	吉村 颯	ヨシムラ ハヤテ	26	佐川印刷株式会社
2	10	外野手	遠藤 涼太	エンドウ リョウタ	28	佐川印刷株式会社
3	0	内野手	岡本 梧	オカモト オオキ	24	佐川印刷株式会社
4	1	内野手	袖森 太陽	ソデモリ タイヨウ	22	佐川印刷株式会社
5	3	外野手	肘井 飛雄馬	ヒジイ ヒュウマ	24	佐川印刷株式会社
6	5	内野手	西村 凜	ニシムラ リン	22	佐川印刷株式会社
7	7	外野手	神内 秦	カミウチ ジン	22	佐川印刷株式会社
8	12	捕手	久木崎 太郎	クキザキ タロウ	23	佐川印刷株式会社
9	13	投手	加統 湧貴	カトウ ユウキ	23	佐川印刷株式会社
10	15	投手	木村 匠	キムラ タクミ	28	佐川印刷株式会社
11	17	投手	原井 康成	ハライ ヤスノリ	27	佐川印刷株式会社
12	19	投手	亀本 幸誠	カメモト コウセイ	22	佐川印刷株式会社
13	24	内野手	千代 一輝	チシロ カズキ	25	佐川印刷株式会社
14	25	外野手	上林 達也	カンバヤシ タツヤ	32	佐川印刷株式会社
15	26	捕手	福丸 宗和	フクマル ムネカズ	23	佐川印刷株式会社
16	28	内野手	近藤 岳	コンドウ ガク	24	佐川印刷株式会社

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

大阪府	大阪シティ信用金庫
-----	-----------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	岡本 龍祐	オカモト リュウスケ	33	大阪シティ信用金庫
2	10	内野手	西郷 遼平	サイゴウ リョウヘイ	32	大阪シティ信用金庫
3	2	内野手	大原 伸也	オオハラ シンヤ	42	大阪シティ信用金庫
4	3	外野手	森本 聖也	モリモト セイヤ	22	大阪シティ信用金庫
5	4	外野手	森國 雄大	モリクニ ユウダイ	26	大阪シティ信用金庫
6	5	内野手	高橋 泉	タカハシ イズミ	27	大阪シティ信用金庫
7	6	内野手	上原 佑斗	ウエハラ ユウト	22	大阪シティ信用金庫
8	8	外野手	柴野 琉生	シバノ ルイキ	22	大阪シティ信用金庫
9	9	外野手	黒田 祐成	クロダ ユウセイ	29	大阪シティ信用金庫
10	11	捕手	小嵯 裕之	コザキ ヒロユキ	31	大阪シティ信用金庫
11	14	投手	大橋 直也	オオハシ ナオヤ	31	大阪シティ信用金庫
12	15	投手	上羽 一平	ウエバ イッペイ	25	大阪シティ信用金庫
13	17	投手	日下 直之	クサカ ナオユキ	28	大阪シティ信用金庫
14	18	投手	松岡 潤樹	マツオカ ジュンキ	29	大阪シティ信用金庫
15	21	投手	村居 尚磨	ムライ ショウマ	26	大阪シティ信用金庫
16	24	内野手	西林 幹貴	ニシバヤシ モトキ	27	大阪シティ信用金庫

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

兵庫県	住友電工伊丹
-----	--------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督 / 兼任	天満 雄基	テンマ ユウキ	34	住友電気工業株式会社
2	10	内野手	田中 健人	タナカ ケント	28	住友電気工業株式会社
3	3	外野手	中山 泰斗	ナカヤマ タイト	24	住友電気工業株式会社
4	5	外野手	山上 貴之	ヤマガミ タカユキ	27	住友電気工業株式会社
5	6	外野手	野島 惇登	ノジマ アツト	25	住友電気工業株式会社
6	7	内野手	松本 康希	マツモト コウキ	25	住友電気工業株式会社
7	8	内野手	藤森 涼一	フジモリ リョウイチ	23	住友電気工業株式会社
8	9	外野手	三浦 優	ミウラ スグル	22	住友電気工業株式会社
9	11	外野手	小島 遼太	コジマ リョウタ	22	住友電気工業株式会社
10	14	投手	萩田 達樹	ハギタ タツキ	32	住友電気工業株式会社
11	16	投手	吉田 龍ノ介	ヨシダ リュウノスケ	24	住友電気工業株式会社
12	19	外野手	多田 将也	タダ マサヤ	24	住友電気工業株式会社
13	20	投手	當麻 渾哉	トウマ ヒロヤ	26	住友電気工業株式会社
14	23	内野手	小椋 光翔	オグラ ヒカル	21	住友電気工業株式会社
15	24	捕手	片山 翔	カタヤマ ショウ	26	住友電気工業株式会社
16	26	外野手	中元 仁	ナカモト ジン	24	住友電気工業株式会社

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

奈良県	佐藤薬品工業株式会社
-----	------------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	内田 吉信	ウチダ ヨシノブ	25	佐藤薬品工業株式会社
2	10	外野手	中尾 友樹	ナカオ トモキ	27	佐藤薬品工業株式会社
3	0	外野手	大西 哲哉	オオニシ テツヤ	27	佐藤薬品工業株式会社
4	1	外野手	永山 礼人	ナガヤマ アヤト	34	佐藤薬品工業株式会社
5	3	内野手	奥野 敬仁	オクノ アツヒト	26	佐藤薬品工業株式会社
6	4	内野手	迫川 紗也	サコガワ シャアヤ	24	佐藤薬品工業株式会社
7	7	内野手	有田 球児	アリタ キュウジ	26	佐藤薬品工業株式会社
8	8	内野手	國枝 正嗣	クニエダ マサツグ	24	佐藤薬品工業株式会社
9	9	外野手	山尾 拓摩	ヤマオ タクマ	24	佐藤薬品工業株式会社
10	11	投手	齋藤 広晃	サイトウ ヒロアキ	25	佐藤薬品工業株式会社
11	13	投手	位田 遼介	インデン リョウスケ	23	佐藤薬品工業株式会社
12	15	投手	坂口 大誠	サカグチ タイセイ	26	佐藤薬品工業株式会社
13	17	投手	田畑 孔怜充	タバタ クレア	25	佐藤薬品工業株式会社
14	19	捕手	佐倉 康生	サクラ コウセイ	22	佐藤薬品工業株式会社
15	22	内野手	松内 涼	マツウチ リョウ	31	佐藤薬品工業株式会社
16	24	内野手	廣田 健生	ヒロタ ケンセイ	22	佐藤薬品工業株式会社

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

島根県	株式会社山陰合同銀行
-----	------------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	沼田 勇気	ヌマタ ユウキ	38	(株) 山陰合同銀行
2	10	捕手	板倉 和樹	イタクラ カズキ	26	(株) 山陰合同銀行
3	0	内野手	川上 透	カワカミ トオル	37	(株) 山陰合同銀行
4	1	外野手	柳楽 啓太	ナギラ ケイタ	26	(株) 山陰合同銀行
5	2	内野手	永見 寿章	ナガミ トシアキ	32	(株) 山陰合同銀行
6	4	内野手	佐伯 勇哉	サエキ ユウヤ	26	(株) 山陰合同銀行
7	6	内野手	中村 正明	ナカムラ マサアキ	29	(株) 山陰合同銀行
8	7	外野手	高橋 昌伸	タカハシ マサノブ	22	(株) 山陰合同銀行
9	8	内野手	持田 健太	モチダ ケンタ	34	(株) 山陰合同銀行
10	9	外野手	長岡 亮太	ナガオカ リョウタ	24	(株) 山陰合同銀行
11	15	外野手	松浦 諒太郎	マツウラ リョウタロウ	23	(株) 山陰合同銀行
12	17	投手	平木 良典	ヒラギ ヨシノリ	33	(株) 山陰合同銀行
13	18	投手	坂越 隆真	サカゴシ リュウシン	23	(株) 山陰合同銀行
14	19	投手	山本 脩平	ヤマモト シュウヘイ	24	(株) 山陰合同銀行
15	21	投手	曾田 優作	ソタ ユウサク	29	(株) ごうぎんクレジット
16	27	内野手	新田 泰山	ニッタ ヒロタカ	26	(株) 山陰合同銀行

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

岡山県	NTN岡山
-----	-------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	萩原 克哉	ハギワラ カツヤ	31	ENEOS (株) 水島製油所
2	10	外野手	岩本 温稀	イワモト アツキ	24	NTN岡山
3	0	内野手	森國 智	モリクニ サトル	28	NTN岡山
4	1	内野手	中西 大地	ナカニシ ダイチ	30	NTN岡山
5	2	捕手	加藤 楓稀	カトウ フウキ	24	NTN岡山
6	6	外野手	和氣 常恭	ワケ ツネヤス	30	NTN岡山
7	7	内野手	池田 卓也	イケダ タクヤ	26	NTN岡山
8	9	外野手	市原 翔馬	イチハラ ショウマ	29	品川リフラクトリーズ株式会社
9	11	外野手	乙倉 崇佑	オトクラ シュウスケ	29	NTN岡山
10	16	投手	金光 健太郎	カナミツ ケンタロウ	22	NTN岡山
11	17	捕手	弓取 航大	ユミトリ コウダイ	22	岡山ガス
12	18	投手	熊谷 渉	クマガイ ワタル	23	NTN岡山
13	21	投手	大原 丈児	オオハラ タケル	23	NTN岡山
14	23	内野手	小郷 勝也	オゴウ カツヤ	27	岡山ガス (株)
15	24	内野手	三宅 隆翔	ミヤケ リュウヒ	23	NTN岡山
16	25	外野手	石川 陸	イシカワ リク	21	ENEOS (株) 水島製油所

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

広島県	広島日野自動車株式会社
-----	-------------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 専任	本田 琢也	ホンダ タクヤ	31	広島日野自動車株式会社
2	10	外野手	谷本 直斗	タニモト ナオト	27	広島日野自動車株式会社
3	1	外野手	佐古 翔大	サコ ショウダイ	24	広島日野自動車株式会社
4	2	内野手	河村 篤宏	カワムラ アツヒロ	29	広島日野自動車株式会社
5	3	外野手	名越 流星	ナゴシ リュウセイ	22	広島日野自動車株式会社
6	5	内野手	北川 航生	キタガワ コウキ	22	広島日野自動車株式会社
7	6	外野手	河内 恭英	カワチ キョウエイ	23	広島日野自動車株式会社
8	7	内野手	原谷 賢太	ハラタニ ケンタ	26	広島日野自動車株式会社
9	9	内野手	大山 涼	オオヤマ リョウ	25	広島日野自動車株式会社
10	11	投手	竹邊 聖悟	タケベ セイゴ	23	広島日野自動車株式会社
11	13	内野手	吉永 尚矢	ヨシナガ ナオヤ	25	広島ガス株式会社
12	17	投手	浴本 一樹	エキモト カズキ	23	広島日野自動車株式会社
13	18	投手	古屋 諒磨	フルヤ リョウマ	21	独立行政法人造幣局広島支局
14	21	投手	澤 諒磨	サワ リョウマ	29	広島日野自動車株式会社
15	24	外野手	小寺 一輝	コデラ カズキ	27	広島日野自動車株式会社
16	25	捕手	長谷川 和輝	ハセガワ カズキ	26	広島日野自動車株式会社

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

香川県	四国明治株式会社
-----	----------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	大村 弘二	オオムラ コウジ	44	四国明治株式会社
2	10	外野手	美馬 勇佑	ミマ ユウスケ	32	四国明治株式会社
3	0	内野手	安西 将揮	アンザイ ショウキ	26	四国明治株式会社
4	1	外野手	腰前 隼規	コシマエ トシキ	26	四国明治株式会社
5	2	捕手	尾崎 勇志	オザキ ユウシ	20	四国明治株式会社
6	3	捕手	小野 和也	オノ カズヤ	37	三菱マテリアル直島製錬所
7	4	内野手	赤澤 慎吾	アカザワ シンゴ	29	四国明治株式会社
8	6	内野手	片山 稔之	カタヤマ トシユキ	27	香川県軟式野球連盟
9	7	外野手	田中 将伍	タナカ ショウゴ	24	四国明治株式会社
10	8	内野手	長尾 和真	ナガオ カズマ	21	四国明治株式会社
11	9	外野手	川西 翔太	カワニシ ショウタ	32	四国明治株式会社
12	11	投手	大前 輝明	オオマエ テルアキ	23	株式会社アムロン
13	17	投手	西岡 杜斗	ニシオカ モリト	31	南海プライウッド株式会社
14	18	投手	山田 涼太	ヤマダ リョウタ	25	四国明治株式会社
15	23	内野手	市原 栞汰	イチハラ カンタ	21	株式会社アムロン
16	24	外野手	野崎 隼斗	ノザキ ハヤト	20	四国明治株式会社

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

徳島県	喜多機械産業株式会社
-----	------------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	新田 一夫	ニッタ カズオ	52	(有)新田電設
2	10	内野手	長友 真二	ナガトモ シンジ	26	(株)ジェイテクト
3	2	内野手	井河 直也	イカワ ナオヤ	25	(有)新田電設
4	3	投手	森田 遊也	モリタ ユウヤ	22	パブリックベースボールクラブ徳島
5	8	投手	浦田 誓成	ウラタ チカナリ	33	徳島県立中央病院
6	11	外野手	植田 聖也	ウエタ セイヤ	25	聖也急便
7	12	外野手	吉村 旬平	ヨシムラ シュンペイ	32	(有)新田電設
8	13	内野手	小林 誉幸	コバヤシ モトヒロ	36	富田製薬(株)
9	14	外野手	高木 和弥	タカギ カズヤ	31	(株)エイト日本技術開発
10	15	捕手	野口 春輝	ノグチ ハルキ	19	パブリックベースボールクラブ徳島
11	17	投手	河野 章休	カワノ タカヤス	31	徳島県警察
12	18	投手	中野 飛騎	ナカノ シブキ	25	喜多機械産業(株)
13	20	内野手	大下 竜輝	オオシタ リュウキ	23	日亜化学工業(株)
14	21	投手	吉本 尚生	ヨシモト マサキ	27	(株)シンテック
15	23	外野手	手束 海斗	テズカ カイト	25	(株)尾形建築
16	25	捕手	武岡 大聖	タケオカ タイセイ	25	中華そばもりしょう

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

佐賀県	オール佐賀
-----	-------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	古賀 翔也	コガ ショウヤ	32	医療法人ひらまつ病院
2	10	内野手	中島 慎悟	ナカシマ シンゴ	30	JAさが
3	1	内野手	水野 大成	ミズノ タイセイ	25	医療法人ひらまつ病院
4	2	外野手	稗田 龍之助	ヒエダ リュウノスケ	26	医療法人松籟会
5	3	内野手	川副 雄一	カワソエ ユウイチ	32	医療法人ひらまつ病院
6	6	内野手	前田 大樹	マエダ タイジュ	26	医療法人松籟会
7	8	捕手	赤峰 魁賢	アカミネ カイト	24	SBS三愛ロジスティックス株式会社
8	9	内野手	横岳 大樹	ヨコダケ ダイキ	30	医療法人ひらまつ病院
9	11	投手	朝日 秀磨	アサヒ シュウマ	28	株式会社佐賀銀行
10	14	投手	梅崎 潤平	ウメザキ ジュンペイ	30	医療法人ひらまつ病院
11	15	外野手	大嶋 諒悟	オオシマ リョウゴ	31	医療法人ひらまつ病院
12	18	投手	山口 将太	ヤマグチ ショウタ	30	SBS三愛ロジスティックス株式会社
13	21	投手	大原 健人	オオハラ ケント	26	医療法人ひらまつ病院
14	22	捕手	大坪 達希	オオツボ タツキ	21	医療法人ひらまつ病院
15	23	内野手	稲本 侑星	イナモト ユウセイ	23	SBS三愛ロジスティックス株式会社
16	25	外野手	松隈 亮	マツクマ リョウ	22	株式会社佐賀銀行

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

長崎県	株式会社十八親和銀行
-----	------------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	磯 祐一郎	イソ ユウイチロウ	33	株式会社十八親和銀行
2	10	投手	森内 麟太郎	モリウチ リンタロウ	28	株式会社十八親和銀行
3	2	外野手	八戸 壘	ヤエ ルイ	23	株式会社十八親和銀行
4	7	内野手	有田 旺司	アリタ オウジ	23	株式会社十八親和銀行
5	9	内野手	高井 航平	タカイ コウヘイ	32	株式会社十八親和銀行
6	12	外野手	西郷 龍太郎	サイゴウ リュウタロウ	35	株式会社十八親和銀行
7	13	投手	栗山 和高	クリヤマ カズタカ	33	株式会社十八親和銀行
8	14	外野手	北田 亮佑	キタダ リョウスケ	35	株式会社十八親和銀行
9	16	外野手	水野 航洋	ミズノ コウヨウ	23	株式会社サニクリーン九州
10	18	投手	中田 哲平	ナカタ テッペイ	22	株式会社十八親和銀行
11	19	投手	鳥越 大地	トリゴエ ダイチ	28	株式会社十八親和銀行
12	22	捕手	高坂 幸靖	タカサカ ユキヤス	32	株式会社十八親和銀行
13	24	内野手	大竹 紘人	オオタケ ヒロト	30	株式会社十八親和銀行
14	25	内野手	山口 優大	ヤマグチ ユウダイ	30	株式会社十八親和銀行
15	26	捕手	奥田 楓	オクダ カエデ	28	株式会社サニクリーン九州
16	27	外野手	貫 亮介	ヌキ リョウスケ	28	株式会社十八親和銀行

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

熊本県	H o n d a 熊本
-----	--------------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	重村 一誠	シゲムラ イッセイ	39	熊本赤十字病院
2	10	外野手	熊丸 武志	クママル タケシ	40	本田技研工業㈱熊本製作所
3	1	内野手	犬童 伸幸	イヌドウ ノブユキ	40	本田技研工業㈱熊本製作所
4	2	捕手	蓑田 圭介	ミノダ ケイスケ	34	本田技研工業㈱熊本製作所
5	3	内野手	白石 勇太	シライシ ユウタ	34	本田技研工業㈱熊本製作所
6	4	内野手	藤江 恭輔	フジエ キョウスケ	29	熊本赤十字病院
7	5	外野手	菅沼 賢一	スガヌマ ケンイチ	30	本田技研工業㈱熊本製作所
8	6	外野手	若林 孝太	ワカバヤシ コウタ	31	本田技研工業㈱熊本製作所
9	7	外野手	山下 行則	ヤマシタ ユキノリ	22	熊本赤十字病院
10	8	内野手	馬場 竜成	ババ リュウセイ	28	本田技研工業㈱熊本製作所
11	9	外野手	砂川 卓也	スナガワ タクヤ	38	本田技研工業㈱熊本製作所
12	11	内野手	山本 雅也	ヤマモト マサヤ	24	本田技研工業㈱熊本製作所
13	12	投手	鹿沼 圭佑	カヌマ ケイスケ	35	本田技研工業㈱熊本製作所
14	13	投手	岡崎 集	オカザキ ツドイ	35	本田技研工業㈱熊本製作所
15	19	投手	杉尾 拓郎	スギオ タクロウ	37	重光産業株式会社
16	20	投手	菊江 龍	キクエ トオル	31	本田技研工業㈱熊本製作所

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

大分県	オール大分
-----	-------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	武田 靖弘	タケダ ヤスヒロ	36	株式会社大分銀行
2	10	内野手	乙津 颯一郎	オトヅ ソウイチロウ	28	株式会社大分銀行
3	1	外野手	高野 翔平	タカノ ショウヘイ	31	株式会社大分銀行
4	3	内野手	幸 達郎	ユキ タツオ	26	株式会社大分銀行
5	5	内野手	佐藤 陸	サトウ リク	25	株式会社大分銀行
6	7	内野手	中野 準也	ナカノ ジュンヤ	28	大分サニクリーン
7	8	内野手	森本 金太郎	モリモト キンタロウ	24	株式会社大分銀行
8	11	投手	日高 翔太	ヒタカ ショウタ	22	J X金属製錬株式会社 佐賀製錬所
9	13	内野手	佐藤 旭	サトウ アサヒ	34	株式会社大分銀行
10	14	外野手	阪井 太一	サカイ タイチ	27	株式会社大分銀行
11	15	投手	松原 毅	マツバラ タケシ	26	ENEOS株式会社大分製油所
12	18	投手	岩尾 大輝	イワオ ダイキ	22	株式会社大分銀行
13	19	投手	高野 正斗	タカノ マサト	27	株式会社大分銀行
14	21	外野手	田中 誓哉	タナカ セイヤ	22	鶴崎海陸運輸株式会社
15	23	捕手	今宮 悠斗	イマミヤ ハルト	22	ENEOS株式会社大分製油所
16	27	捕手	宮崎 雄太	ミヤザキ ユウタ	26	株式会社大分銀行

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

宮崎県	医療法人建悠会吉田病院
-----	-------------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 専任	桃園 大輔	モモゾノ ダイスケ	41	医療法人建悠会吉田病院
2	10	内野手	松田 拓也	マツダ タクヤ	36	医療法人建悠会吉田病院
3	1	内野手	河内 大樹	コウチ ダイキ	32	医療法人建悠会吉田病院
4	2	内野手	松原 諒汰	マツバラ リョウタ	23	医療法人建悠会吉田病院
5	3	外野手	横山 翔平	ヨコヤマ ショウヘイ	31	医療法人建悠会吉田病院
6	6	内野手	西杵比野 雄斗	ニシムクヒノ ユウト	29	医療法人建悠会吉田病院
7	8	外野手	黒原 尚輝	クロハラ ナオキ	28	(株)サニクリーン九州
8	9	外野手	村中 敦郎	ムラナカ アツロウ	29	医療法人建悠会吉田病院
9	11	投手	石原 圭人	イシハラ ケイト	22	医療法人建悠会吉田病院
10	13	内野手	一宮 健人	イチミヤ ケント	23	医療法人建悠会吉田病院
11	14	投手	近藤 悠太	コンドウ ユウタ	34	(株)サニクリーン九州
12	16	外野手	甲斐 英輔	カイ エイスケ	18	医療法人建悠会吉田病院
13	21	投手	百合園 豪	ユリゾノ ゴウ	36	百合園機械製作所
14	22	捕手	松井 功太	マツイ コウタ	30	医療法人建悠会吉田病院
15	23	外野手	川崎 裕文	カワサキ ヒロフミ	29	医療法人建悠会吉田病院
16	24	投手	土田 悠暉	ツチダ ユウキ	26	医療法人建悠会吉田病院

※2024/4/1付け年齢

監督・選手名簿

沖縄県	沖縄選抜
-----	------

No.	背番号	位置	氏名	フリガナ	年齢	所属
1	30	監督/ 兼任	松島 辰成	マツシマ タツナリ	34	丸正印刷株式会社
2	10	捕手	下地 佳貴	シモジ ヨシキ	28	株式会社沖縄装美工業
3	1	外野手	知念 大河	チネン タイガ	25	一般社団法人ベースボール沖縄
4	2	内野手	新垣 保樹	アラカキ ヤスキ	28	社会医療法人友愛会 豊見城中央病院
5	4	内野手	仲与志 亮輔	ナカヨシ リョウスケ	24	すけ産業
6	7	内野手	松川 剛大	マツカワ ゴウタ	25	株式会社沖縄ダイケン
7	8	投手	銘苅 瑞輝	メカル ミズキ	26	株式会社フロンティアゆい
8	9	投手	安慶名 健吾	アゲナ ケンゴ	33	琉球通信工事株式会社
9	11	投手	喜友名 真士	キユウナ マサシ	30	シンコー沖縄株式会社
10	17	投手	比嘉 和之	ヒガ カズユキ	31	株式会社沖縄銀行
11	18	投手	新里 祐太	シンザト ユウタ	28	NPO法人那覇市体育協会
12	21	内野手	神谷 隆也	カミヤ タカヤ	26	日本郵便株式会社那覇中央郵便局 第一集配営業部
13	22	外野手	知念 真司	チネン シンジ	30	株式会社 エナジックインターナショナル
14	23	外野手	ネブレットジョデシイ 瑠華	ネブレットジョデシイ ルカ	27	株式会社オキチク商事
15	24	外野手	上間 雄成	ウエマ ユウジョウ	31	伊江村役場
16	25	捕手	上間 智晴	ウエマ トモハル	32	株式会社ソリューション琉球

※2024/4/1付け年齢

軟式野球競技会
軟式野球競技の案内



SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

軟式野球競技の沿革

明治5年アメリカから伝わった野球は明治、大正を経てようやく盛んになり、大正4年開催された朝日新聞社の第1回全国中等学校優勝野球大会と、その後になって開催された毎日新聞社の春の全国選抜中学校野球大会などが、全国の青少年に関心と刺激を与え少年の間で非常な勢いで盛んになった。この頃、硬式野球を行うまでに至らない少年たちはテニスボールなどによって野球を楽しんだが、軽くてスピード感が伴わないなどの欠陥があり、その後できたスポンジボールも打撃にたえず破損度が高いため次第にうすれてしまった。大正8年糸井浅次郎、鈴鹿栄両氏は少年に適し硬式のように危険がなく、しかも少年たちに野球の指導が容易にできるボールにしたい着想から研究努力した結果、現在使用されているボールが誕生し、少年野球の普及とともに一般大衆スポーツとしても急速に発展してきたのである。

昭和16年第2次世界大戦の勃発により一時中絶状態となったが、終戦を迎えた昭和20年に軟式野球愛好者たちが全国各地で軟式野球の復興に立ち上がり、昭和21年全日本軟式野球連盟を創立。同時に(財)日本体育協会(現公益財団法人日本スポーツ協会)に加盟し、占領下の混とんたる世情と物資欠乏のさ中、第1回全日本軟式野球大会(のちの天皇賜杯全日本軟式野球大会)が16チームの参加によって京都において開催された。この大会は敗戦の痛手から立ち上がろうとする国民1人1人の心に潤いを与え建設的意欲をもちたてたものというべく有意義な大会であった。なお、本大会は第1回国民体育大会軟式野球競技会と兼ねて開催された。翌年より国体とは別個開催し、全日本軟式野球大会は各都道府県代表各1チームの参加で行われるようになり、昭和23年に天皇杯が下賜され、これを契機として軟式野球は発展の一途をたどり、昭和28年には文部省(現文部科学省)に財団法人認可を受け、確固たる組織のもと現在の全日本軟式野球連盟傘下チーム数は社会人チーム約20,000、少年チーム約6,500、学童チーム約10,000、大学協会、専門学校、還暦連盟、中体連の約100万人の競技人口である。

また、ボールにも改良が加えられ中空でない軟式ボールが誕生し、これを「準硬式」と呼び昭和25年から東西両日本において、それぞれ大会が開催された。昭和32年からすべての軟式野球人に全国大会に出場できる希望をあたえることによって、軟式野球の底辺拡大に大きな成果をもたらすことができるという目的で、B・C級を対象とした全国大会である高松宮賜杯全日本軟式野球大会(B級を一部、C級を二部と呼称)が開催された。天皇賜杯全日本軟式野球大会と本大会は現在も毎年一回全国各地で開催されている。昭和25年より東西両日本において開催されていた準硬式野球大会は全国的大会開催の要望によって昭和39年第15回大会をもって発展的解消し、昭和40年より常陸宮賜杯全日本準硬式野球大会として実施された。昭和45年には少年野球が組織化され、少年一部(高校生年齢層のクラブチーム)、少年二部(中学生年齢層のクラブチーム)、少年学童部(小学生年齢層のクラブチーム)の3部門にわかれ、全国各地でそれぞれ少年野球大会が開催されている他昭和50年からは少年二部による全日本少年軟式野球大会が開催された。昭和52年、使用球場が硬式野球と同じ扱いのためチームの練習会場、予選大会会場の確保などに困難をきたし、常陸宮賜杯全日本準硬式野球大会は第13回大会をもって中止した。昭和54年よりB・C級を対象とした東・西日本軟式野球大会(B級を一部、C級を二部と呼称)を開催。昭和56年、昭和50年から開催していた少年二部による全日本少年軟式野球大会に変わり学童部による全日本学童軟式野球大会が実施され、これにより学童の野球が非常に盛んになった。昭和59年度より少年二部の大会が復活し、新たに第1回全日本少年軟式野球大会として開催されることとなった。昭和63年、国民体育大会の軟式野球競技は一般社会人(成年の部)と少年一部(少年の部)が行われていたが、同年第43回京都国体より少年の部が廃止され、新たに成年一部、成年二部となった。また、学童大会は各都道府県代表のフルエントリーとし、高松宮賜杯全日本軟式野球大会を一部、二部分離して開催することとなった。平成元年、JOCに加盟。また、同年第44回北海道国体から成年一部、成年二部に加え壮年の部が創設され、別に規程された順位決定方法による合計点で天皇杯順位が決定されることとなった。平成6年より少年二部を少年と改称。平成7年、創立50周年を機に高円宮憲仁親王殿下を名誉総裁にお迎えし、平成9年第17回全日本学童軟式野球大会より高円宮賜杯が下賜された。Aクラスの大会として平成9年より西日本選手権、平成10年より東日本選手権大会が新設された。平成11年度第54回熊本国体より種別の呼称を一般A(従来の一部)、一般B(従来の一部)、成年(従来の一部)と変更した。平成14年11月21日高円宮殿下のご逝去により、平成15年1月21日第二代の名誉総裁として憲仁親王妃久子殿下にご就任いただいた。平成17年より成年層の全国大会として日本スポーツマスターズに参加した。平成20年、国体改革2003により同年大分国体から成年男子の一種別開催となった。また、同年の第25回大会より全日本少年野球大会に文部科学大臣杯が授与された。平成21年、平成2年第10回大会より茨城県水戸市で開催してきた高円宮賜杯全日本学童大会の開催地を第29回大会より東京都へ移した。平成22年より青少年育成及びジュニア強化を目的に少年部の新規大会として文部科学大臣杯全日本少年春季軟式野球大会を静岡県にて開催することとなった。

また、国の法人制度改革に伴い、移行認定を受けて平成24年1月4日、公益財団法人全日本軟式野球連盟として登記、新たなスタートを切った。平成25年4月、アマチュア野球の統括団体である一般財団法人全日本野球協会の設立に伴い加盟登録し、野球界のすそ野を支える団体として他団体との連携協力を図り事業運営を行うこととなった。

平成25年より女子野球の普及を目的に女子小学生を対象としたNPBガールズトーナメントを一般社団法人日本野球機構との共催により開催することとなった。侍ジャパン女子日本代表チームの国際大会での活躍により女子学童球児の目標設定が具体化されます。また、女子野球の普及推進が求められている。平成28年より、女子中学生を対象とした全日本中学女子軟式野球大会を京都府にて開催することとなり、小学生から一般まで女子選手にとって各ステージにおける全国大会の場が整備された。

また、平成28年12月、2年に1度開催されるアジア野球連盟主催の第9回U-12アジア選手権大会において、全国の小学生登録選手で編成したU-12侍ジャパン日本代表が初優勝を達成した。

平成29年より、当該年度の東西選手権大会優勝チームおよび天皇賜杯大会の優秀チームを対象に軟式野球の普及振興、競技力向上を目的としたスポニチ杯全日本軟式野球大会を開催することとなった。

平成30年より、50歳以上のシニア層を対象とした全日本シニア軟式野球大会を岡山県で開催することとなった。

競 技 の 見 方

軟式野球競技は、ボールの材質の違いを除けば、硬式野球競技と同じルールで行われます。

現在、全日本軟式野球連盟へ登録された競技人口は100万人ですが、更に多くの人々が軟式野球競技を楽しんでいることと思います。

軟式野球競技会は、成年男子の一種別で実施されています。

【成年男子】

国民スポーツ大会軟式野球競技会は天皇賜杯全日本軟式野球大会（年に一度開催される国内最高峰の軟式野球競技会）と並んで、全国のトップクラスのチームが一堂に会する競技会です。

本大会に出場する開催地の佐賀県代表チーム以外は、都道府県、ブロック予選を勝ち抜いて出場権を得るため、都道府県代表枠のある天皇賜杯大会よりも本大会出場は厳しいものとなっています。尚、出場するチームの選手は平成18年4月1日までに生まれた者です。

競 技 成 績 採 点 方 法

総合成績（天皇杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。

1. 競技得点

天皇杯対象種別	競技得点
成年男子	1位64点、2位56点、3位48点、4位40点、5位32点、6位24点、7位16点、8位8点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。 なお、得点については、次の順位のを加え、当該都道府県で等分する。

2. 参加得点

大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

栄 光 の 跡

[歴代優勝チーム]

回数	年度	開催地	一般軟式の部優勝チーム		一般準硬式の部優勝チーム	
1	昭和21年	京都府 大阪府 奈良県	岐阜県庁	岐阜県		
2	昭和22年	石川県	岐阜県庁	岐阜県		
3	昭和23年	福岡県	常磐産業 丸物物産 ※決勝雨天で不行	香川県 岐阜県		
4	昭和24年	東京都	富士製菓	愛知県		
5	昭和25年	愛媛県	伊予鉄道	愛媛県		
6	昭和26年	広島県	青森県庁	青森県		
7	昭和27年	宮城県 福島県 山形県	全生野	兵庫県		
8	昭和28年	愛媛県 香川県 徳島県 高知県	川崎市水道部	神奈川県		
9	昭和29年	北海道	鐘紡防府工場	山口県	日本専売公社徳島地方局	徳島県
10	昭和30年	神奈川県	大阪拘置所	大阪府	東北学院大学	宮城県
11	昭和31年	兵庫県	大孫起毛	愛知県	同志社大学	京都府
12	昭和32年	静岡県	商友クラブ	京都府	栗林商会	北海道
13	昭和33年	富山県	電々公社京都	京都府	井関農機	愛媛県
14	昭和34年	東京都	日本専売公社高崎地方局	群馬県	立正佼成球団	東京都
15	昭和35年	熊本県	西部ガス小倉支店	福岡県	山陽特殊製鋼 KK	兵庫県
16	昭和36年	秋田県	名古屋相互銀行	愛知県	小野田セメント八幡工場	福岡県
17	昭和37年	岡山県	名古屋相互銀行	愛知県	P L 東京	東京都
18	昭和38年	山口県	日本ジャスパー	宮崎県	協和発酵工業 KK 防府工場	山口県
19	昭和39年	新潟県	名古屋精糖	愛知県	株式会社河合楽器製作所	静岡県
20	昭和40年	岐阜県	千葉相互銀行	千葉県	鹿児島ダイハツ	鹿児島県
21	昭和41年	大分県	名古屋精糖	愛知県	丸善石油	千葉県
22	昭和42年	埼玉県	諏訪精工舎	長野県	本田技研	埼玉県
23	昭和43年	福井県	金沢電話局	石川県	洞海産業	福岡県
24	昭和44年	長崎県	厚木自動車部品 KK	神奈川県	名古屋相互銀行	愛知県
25	昭和45年	岩手県	千葉相互銀行	千葉県		岩手県
26	昭和46年	和歌山県	玉村運輸倉庫 KK	大阪府	丸善石油下津製油所	和歌山県
27	昭和47年	鹿児島県	ライト工業 KK	東京都	鹿児島相互信用金庫	鹿児島県
28	昭和48年	千葉県	ライト工業 KK	東京都	鷺宮製作所	埼玉県
29	昭和49年		ライト工業 KK	東京都	鷺宮製作所	埼玉県
30	昭和50年	三重県	新町役場 武内プレス工業 KK ※決勝雨天で不行	群馬県 富山県	豊和工場	愛知県
31	昭和51年	佐賀県	ライト工業 KK	東京都	伊万里少年軟式野球クラブ	佐賀県
32	昭和52年	青森県	ライト工業 KK	東京都	三沢木崎野メッツ	青森県
33	昭和53年	長野県	帝通三協クラブ	長野県	三沢木崎野メッツ	青森県
34	昭和54年	宮崎県	専売鹿児島 チノン 千葉相互銀行 セントラル硝子宇部ソーダ工場野球部 ※決勝雨天で不行	鹿児島県 長野県 千葉県 山口県	千歳球友クラブ 日本冶金クラブ 松山クラブ 伊万里少年軟式野球クラブ ※決勝雨天で不行	北海道 神奈川県 愛媛県 佐賀県
35	昭和55年	栃木県	岐阜日野自動車(株)	岐阜県	日本冶金クラブ	神奈川県

回数	年度	開催地	一般軟式の部優勝チーム		少年の部優勝チーム	
36	昭和56年	滋賀県	大津市役所	滋賀県	総社クラブ	岡山県
37	昭和57年	島根県	長野厚生連佐久総合病院	長野県	浜田クラブ	島根県
38	昭和58年	群馬県	長野厚生連佐久総合病院	長野県	茅野クラブ 桜江クラブ ※15回打ち切り両チーム優勝	長野県 島根県
39	昭和59年	奈良県	佐藤薬品工業株式会社	奈良県	総社クラブ	岡山県
40	昭和60年	鳥取県	三洋電機鳥取	鳥取県	緑が丘クラブ	鳥取県
41	昭和61年	山梨県	日本電気山梨工場	山梨県	都留かいじクラブ	山梨県
42	昭和62年	沖縄県	沖縄県経済連	沖縄県	茅野クラブ	長野県

回数	年度	開催地	成年1部優勝チーム		成年2部優勝チーム	
43	昭和63年	京都府	サンクス株式会社	愛知県	大阪市信用金庫	大阪府
44	平成元年	北海道	[一般] サンクス株式会社 [壮年] 苫小牧市役所クラブ	愛知県 北海道	日精工場(株)	愛知県
45	平成2年	福岡県	[一般] 大阪市信用金庫 [壮年] 西高佛の里クラブ	大阪府 大分県	(株)西日本銀行	福岡県
46	平成3年	石川県	[一般] (株)京葉銀行 [壮年] 金沢野球クラブ	千葉県 石川県	福島印刷(株)	石川県
47	平成4年	山形県	[一般] 日本電気(株)山梨工場 [壮年] コオール駒ヶ根	山梨県 長野県	香寺クラブ	兵庫県
48	平成5年	香川県 徳島県	[一般] 徳島すだちクラブ [壮年] 徳島フォーティー	徳島県 徳島県	香川オリーブ野球クラブ	香川県
49	平成6年	愛知県	[一般] 三洋電機(株)洲本 [壮年] オール京都	兵庫県 京都府	大森石油	愛知県
50	平成7年	福島県	[一般] 大阪市信用金庫 [壮年] オール福島	大阪府 福島県	サンワード貿易	北海道
51	平成8年	広島県	[一般] 大阪市信用金庫 [壮年] 静岡クラブ	大阪府 静岡県	南豊田病院	愛知県
52	平成9年	大阪府	[一般] 三洋電機(株)洲本 [壮年] 三田尻病院クラブ	兵庫県 山口県	鹿児島相互信用金庫	鹿児島県
53	平成10年	神奈川県	[一般] 太陽信用金庫 [壮年] 川崎クラブ	東京都 神奈川県	湘南信用金庫	神奈川県

回数	年度	開催地	一般A		一般B		成年	
54	平成11年	熊本県	テルウェル九州	熊本県	本田技研熊本	熊本県	ポット・ベリー	熊本県
55	平成12年	富山県	(株)京葉銀行	千葉県	江守商事(株)	福井県	川崎クラブ	神奈川県
56	平成13年	宮城県	静岡ガス	静岡県	北陸流通(株)	富山県	山口県選抜	山口県
57	平成14年	高知県	佐川急便中京	愛知県	J A北いしかり	北海道	佐賀クラブ	佐賀県
58	平成15年	静岡県	大森石油	愛知県	ホンダ浜松	静岡県	苫小牧市役所クラブ	北海道
59	平成16年	埼玉県	青樹会病院	滋賀県	濃飛西濃運輸(株)	岐阜県	オール千葉	千葉県
60	平成17年	岡山県	三木クラブ	香川県	筑波病院		山口クラブ	山口県
61	平成18年	兵庫県	兵庫選抜	兵庫県	博愛病院	大分県	兵庫選抜	兵庫県
62	平成19年	秋田県	鳥取三洋電機	鳥取県	スーパードラゴンズ	京都府	山口県選抜	山口県

回数	年度	開催地	成年男子	
63	平成20年	大分県	株式会社 京葉銀行	千葉県
64	平成21年	新潟県	日亜鋼業株式会社	兵庫県
65	平成22年	千葉県	松戸市役所 佐川印刷株式会社	千葉県 京都府
66	平成23年	山口県	株式会社 ニッセイ	愛知県
67	平成24年	岐阜県	株式会社 ニッセイ	愛知県
68	平成25年	東京都	大阪市信用金庫	大阪府
69	平成26年	長崎県	旭鋼管工業株式会社	埼玉県
70	平成27年	和歌山県	パイオニア株式会社	埼玉県
71	平成28年	岩手県	日立オートモティブシステムズ(株)厚木事業所	神奈川県
72	平成29年	愛媛県	医療法人 和合病院	愛知県
73	平成30年	福井県	大阪シティ信用金庫	大阪府
74	令和元年		医療法人 和合病院	愛知県
75	令和2年		大会中止	
76	令和3年		大会中止	
77	令和4年	栃木県	沖縄選抜	沖縄県
特別	令和5年	鹿児島県	医療法人 和合病院	愛知県

[第 76 回 大 会]

2021年（令和 3 年）に開催される予定であった第76回国民体育大会「三重とわか国体」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。

【第77回大会】

会期：2022年10月7日(金)～10月10日(月)

会場：栃木県＝宇都宮市・小山市・日光市・矢板市・益子町

【成年男子】

住友電工伊丹(兵庫)	1	6	12回	0	1	17 株式会社みちのく銀行(青森)
株式会社Z E A L(東京)	2	7	7回	1	2	18 日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所(茨城)
コマニー株式会社(石川)	3	11	7回	1	4	19 R E D S T A R S(滋賀)
六花亭(北海道)	4	2		4	8	20 オール三重(三重)
鹿児島トランスポート(鹿児島)	5	5		5	1	21 株式会社十八親和銀行(長崎)
三井金属竹原(広島)	6	0		5	5	22 高知家オールスターズ(高知)
J A 全農あきた(秋田)	7	5	7回	1	3	23 岡山ガス(株)(岡山)
福岡サニクリーン(福岡)	8	14		1	11	24 特定医療法人浩洋会田中病院(宮崎)
日本通運四国(香川)	9	2		10回	15	25 医療法人和合病院(愛知)
佐藤薬品工業株式会社(奈良)	10	4	16回	2	0	26 宮城第一信用金庫(宮城)
武内プレス工業株式会社(富山)	11	2		4	1	27 ミータス(山口)
栃木選抜(栃木)	12	0		1	3	28 関東西濃運輸(群馬)
J A さが(佐賀)	13	7	10回	0	6	29 沖縄選抜(沖縄)
株式会社相双リテック(福島)	14	11		3	4	30 日立Astemo(株)厚木工場(神奈川)
株式会社山陰合同銀行(島根)	15	10		0	3	31 アイアイベースボールクラブ(京都)
大陽ステンレススプリング 株式会社(埼玉)	16	11		8	6	32 チームながの(長野)

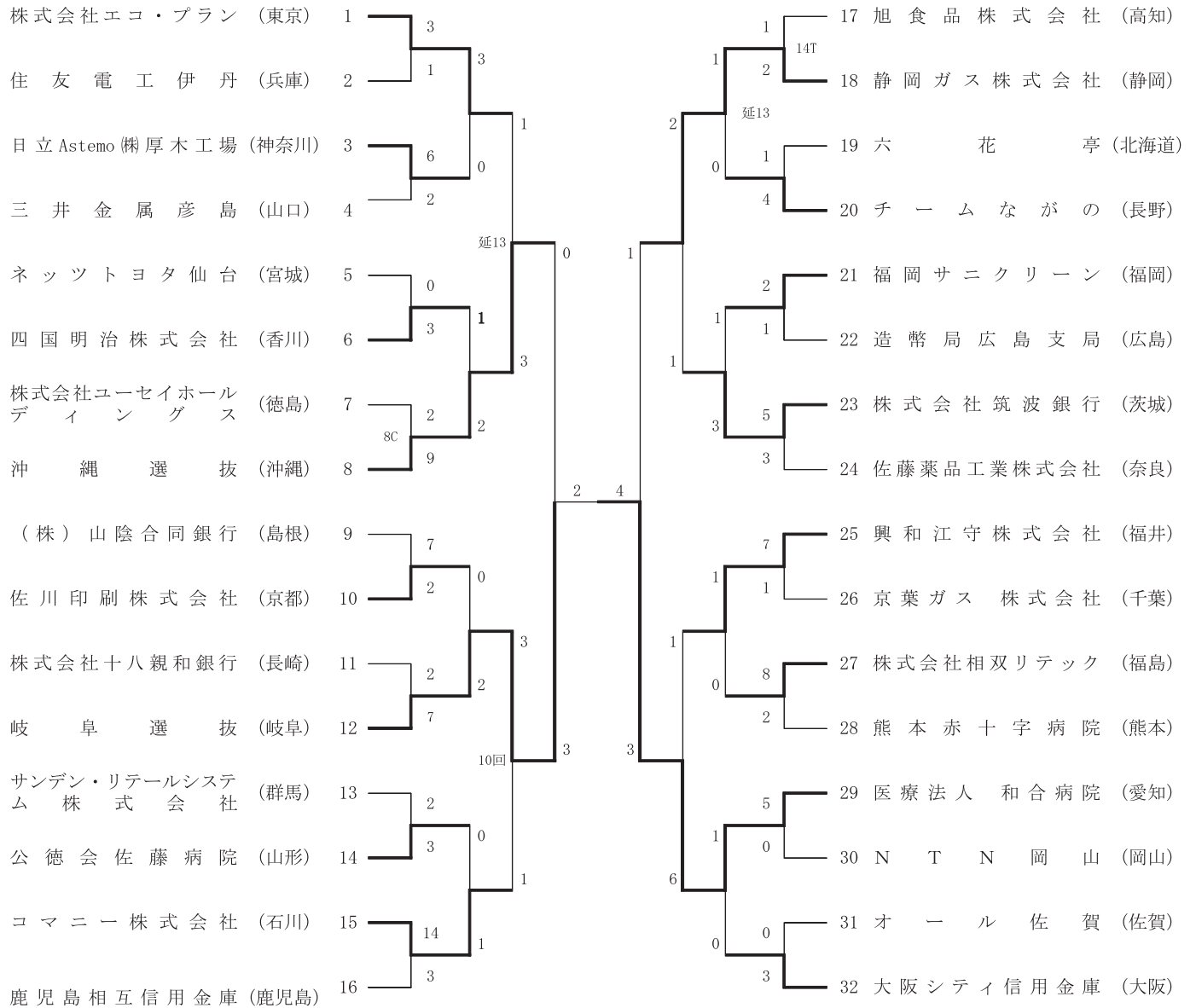
総合成績(天皇杯得点)			
1 位	沖縄県		74点
2 位	福岡県		66点
3 位	三重県		58点
4 位	奈良県		50点
5 位	群馬県		42点
6 位	石川県		34点
7 位	長崎県		26点
8 位	福島県		18点

【特別大会】

期日：2023年10月13日（金）～10月16日（月）

会場：鹿児島県＝鹿児島市・日置市・薩摩川内市・出水市

【成年男子】



総合成績（天皇杯得点）			
1 位	愛 知 県	74点	
2 位	岐 阜 県	66点	
3 位	静 岡 県	58点	
4 位	沖 縄 県	50点	
5 位	東 京 都	42点	
6 位	福 井 県	34点	
7 位	石 川 県	26点	
8 位	茨 城 県	18点	

A large light gray circle representing a softball field, with dashed lines forming a diamond shape inside.

軟式野球競技会 関係機関連絡先



SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

競技会関係連絡先一覧

◆競技会場

	競 技 会 場 名	電話番号	所 在 地
A	SHOWAハンバーガースタジアム唐津（唐津市野球場）	0955-73-1023	〒847-0083 唐津市和多田大土井1番1号
B	伊万里市国見台野球場	0955-23-2632	〒848-0032 伊万里市二里町大里甲2153番地1
C	ひぜしんスタジアム（武雄市民球場）	0954-28-9850 (ケープルワンスポーツパーク事務所)	〒840-8570 武雄市東川登町大字永野7927番地
D	鹿島市民球場	0954-63-6734	〒849-1311 鹿島市大字高津原2441
E	嬉野総合運動公園（みゆき公園）みゆき球場	0954-42-0099 (嬉野市スポーツ協会)	〒843-0301 嬉野市嬉野町大字下宿甲2834番地
F	有田赤坂球場	0955-25-8003	〒844-0024 西松浦郡有田町赤坂丙2351-164

※大会会期中以外は各市町実行委員会事務局へご連絡ください。

◆監督会議会場

会 場 名	電話番号	F A X 番号	所 在 地
唐津シーサイドホテル	0955-75-3300	0955-75-1885	〒847-0017 唐津市東唐津4-182

◆実行委員会事務局

事 務 局 名	電話番号	F A X 番号	所 在 地
S A G A 2 0 2 4 国スポ・全障スポ唐津市 実行委員会事務局	0955-53-7176	0955-75-2289	〒847-0013 唐津市南城内1-1 大手口センタービル5階
S A G A 2 0 2 4 伊万里市実行委員会事務局	0955-23-2198	0955-23-4943	〒848-0045 伊万里市松島町391番地1
S A G A 2 0 2 4 武雄市実行委員会事務局	0954-27-7091	0954-23-3816	〒843-8639 武雄市武雄町大字昭和12番地10
S A G A 2 0 2 4 鹿島市実行委員会事務局	0954-63-2125	0954-63-2313	〒849-1312 鹿島市大字納富分2643番地1
S A G A 2 0 2 4 国スポ・全障スポ嬉野市 実行委員会事務局	0954-27-7083	0954-27-7084	〒843-0301 嬉野市大字下宿甲3138番地(嬉野建設業協会2階)
S A G A 2 0 2 4 有田町実行委員会事務局	0955-43-2314	0955-42-6309	〒844-0018 西松浦郡有田町本町丙1002番地2

◆競技団体事務局

事 務 局 名	電話番号	F A X 番号	所 在 地
(公財) 全日本軟式野球連盟事務局	03-3404-8831	03-3479-2523	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目27番7号
佐賀県軟式野球連盟事務局	0952-77-0002	0952-77-0002	〒849-0926 佐賀県佐賀市若宮3-5-9

医療機関情報

佐賀県医療機関情報・救急医療情報システム 99さがネット

【HP】 <https://www.qq.pref.saga.jp>



佐賀県医療安全支援センター

※大会期間中は競技会場の救護所でもご案内いたしますので、お問合せください。
(大会会期中以外は各市町実行委員会事務局（前頁参照）へご連絡ください。)



挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



JSPPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。



Otsuka

大塚製薬



MIZUNO

三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』という社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



Japanese
Olympic
Committee



スポーツ「く」 WINNER COCO BIG
この活動は、スポーツ振興くじ助成金を受けて実施しています

『スポハラ』根絶に向けた取り組み



JSPO

Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、

みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りょうかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください



スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



JSPO事業についてはこちら»»»JSPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」



『スポハラ』根絶に向けた取組み



JSPPO

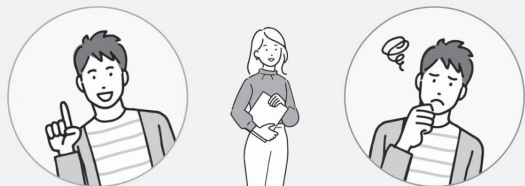
Japan Sport Association

グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

グッドコーチを目指して

グッドコーチなら？ /

バッドコーチなら？ /



ケーススタディから考える

ケーススタディから考える

グッドコーチング

グッドプレーヤーのさらなる育成をめざして

Workbook

SPORT
JSPPO OFFICIAL LICENSEE

JSPPO グッドコーチ



スポーツ現場におけるハラスメント防止動画の公開

暴力

差別

セクシュアル
ハラスメント

パワーハラスメント

暴言

性的マイノリティを取り巻く問題

JSPPO ハラスメント防止



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

＜過去開催した研修会等の動画公開＞



＜ポスター・ロゴ等広報ツール＞



「NO！スポハラ」活動特設サイトにて公開中！

アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。

今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

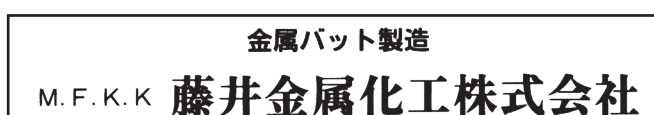
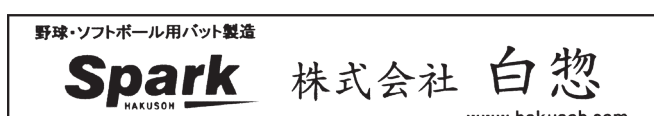
フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

2024 年度 公益財団法人 全日本軟式野球連盟公認メーカー 日本軟式野球用具商工会



私たちは軟式野球を通じて皆さまを応援しています。

memo

This image shows a full page of a document template designed for handwritten notes or answers. It features approximately 28 evenly spaced horizontal dotted lines across the entire width of the page, providing a guide for letter height and placement. The background is plain white, and there are no margins, headers, or footers visible.

SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

SAGA 2024 国ス ポ 会場地

全障ス ポ



玄海町

- 相撲

大町町

- 銃剣道
- ウォーキング

小城市

- バレーボール
- ハンドボール
- ソフトボール
- バレーボール 精神

伊万里市

- 水泳(オープンウォータースイミング)
- ホッケー
- バレーボール(ビーチバレーボール)
- 軟式野球
- フライングディスク 身体 知的

基山町

- 卓球
 - パワーリフティング
 - 草スキー
 - 卓球 身体 知的 精神
 - 卓球バレー
- ※サウンドデールテニスを含む

みやき町

- バレーボール
- ソフトボール

多久市

- 弓道
- スポーツクライミング

江北町

- ソフトボール
- 3B体操

有田町

- ウェイトリフティング
- 軟式野球
- 皿かぶり競走

唐津市

- バスケットボール
- セーリング
- ソフトテニス
- 軟式野球
- バドミントン
- トライアスロン
- 綱引
- スケートボード
- 滝登り
- ユニカール
- バスケットボール 知的
- 車いすバスケットボール 身体
- パラサーフィン

嬉野市

- レスリング
- 軟式野球
- なぎなた
- 武術太極拳
- スポーツチャンバラ
- ボッチャ 身体
- 電動車椅子サッカー

鹿島市

- 軟式野球
- アーチェリー
- グラウンド・ゴルフ
- さわやかグラウンド・ゴルフ
- パッコー
- アーチェリー 身体

太良町

- ソフトボール
- マリンスポーツ
- ソフトボール 知的

白石町

- ソフトボール
- ソフトバレーボール
- グランドソフトボール 身体

武雄市

- 自転車(トラックレース)
- 軟式野球
- ゴルフ
- エアロビック
- スポーツウエルネス吹矢
- チャレンジ・ザ・ゲーム
- スポーツウエルネス吹矢

佐賀市

- 陸上競技
- 水泳(競泳、飛込、水球、アーティスティックスイミング)
- サッカー
- テニス
- ローイング
- バレーボール
- 体操(競技、新体操、トランポリン)
- フェンシング
- 柔道
- ライフル射撃(25m)
- ラグビーフットボール
- カヌー(スプリント)
- クレ射撃
- ボウリング

上峰町

- ソフトボール
- クッパ
- シャッフルボード
- フットソフトボール 知的
- ふうせんバレーボール

吉野ヶ里町

- バレーボール
- ハンドボール
- アジャタ

鳥栖市

- サッカー
- バレーボール
- 空手道
- 高等学校野球(軟式)
- ゲートボール
- 室内ベタンク
- スポGOMI
- ラージGOMI卓球
- バレーボール 知的
- サッカー 知的

高等学校野球(硬式)

- バウンドテニス
- 合気道
- スカットボール
- パークゴルフ
- ビリヤード
- ラダーゲッター
- ロープ・ジャンプ・X
- 陸上競技 身体 知的
- 水泳 身体 知的
- ボウリング 知的
- バレーボール 身体
- ウォーキングフットボール
- ソーシャルフットボール



- 国ス ポ 正式競技
- 国ス ポ デモンstrationsスポーツ
- 国ス ポ 特別競技
- 全障ス ポ 正式競技
- 国ス ポ 公開競技
- 全障ス ポ オープン競技

県外開催

- 自転車…… 大分県日田市
- ライフル射撃…… 大分県由布市(50m、10m、ビームライフル、ビームピストル)
- 馬術…… 兵庫県三木市
- カヌー(スラローム、ワイルドウォーター)…… 鹿児島県湧水町

SAGA 2024 国スポ 全障スポ

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

【SAGA2024国スポ・全障スポ 大会HP】

<http://saga2024.com>



【国スポチャンネル】

<https://japangamestv.japan-sports.or.jp/>



【競技結果速報】インターネット・携帯サイト

■ PC・スマホ

<https://kirokukensaku.net/5NS24/index.html>



■ フィーチャーホン

<http://kirokukensaku.net/5NS24/mob/index.html>



■開設期間 令和6年8月26日（月）～12月13日（金）

【国スポの観覧・観戦に関するお問い合わせ】

SAGA2024実行委員会事務局
コールセンター 0120-95-6439

■ご案内時間 9月～10月毎日9:00～18:00